前田VI遺跡

東善住宅団地拡張造成事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

1999

前橋市埋蔵文化財発掘調査団

序

前橋市は、雄大な裾野をひいてそびえる赤城山を北方に望み、利根川が豊かな水を湛え貫流する「水と緑と詩のまち」の県都であります。

自然環境、歴史・文化遺産の保護、社会教育施設・社会福祉施設の建設、商工農業基盤整備などに取り組んでいます。

今、28万余りの市民を擁し、住み良い街づくりを目指し市街地の再開発事業、区画整理事業、工業団地、住宅団地等の造成事業が進められています。

古代文化の栄えたこの地は、今から3万年ほど前の旧石器時代から人々が暮らし、その足跡が悠久の時の流れを刻んでいます。とりわけ本遺跡周辺には、朝倉、広瀬古墳群があり金冠塚古墳や国指定史跡の八幡山古墳などが点在し、当時の繁栄をかいま見ることが出来ます。平成2年に実施した、前橋工業団地造成組合の住宅団地造成事業に伴う埋蔵文化財発掘調査以来、5次の発掘調査により次々と貴重な資料が検出されています。今回の発掘調査は、平成11年度東善住宅団地拡張造成事業に先立って行われたものであります。調査では、平安時代の住居跡66軒や浅間山降下(1108年)B軽石で埋まった水田跡2箇所、平安時代から中・近世・近代以降にかけての溝跡75条や土坑3基、柱穴12基など検出されました。特に調査区の中央付近より検出した浅間山B軽石で埋まった大溝やその両側に位置する平安時代の住居跡、水田跡などは当時、この地域に大集落跡があったことを窺わせる資料と思われます。最後に、この調査報告書を刊行するに当たり、関係各機関並びに本遺跡周辺地域の方々の御理解と御協力に対し厚く御礼申し上げます。

平成12年3月

前橋市埋蔵文化財発掘調査団

団長　渡辺勝利

例　言

1　本報告書は、平成11年度東善住宅団地拡張造成事業にさきがけて実施した前田(マエダ)VI(ロクイ)遺跡(イセキ)の発掘調査報告書である。

2　遺跡の所在地　群馬県前橋市中内町(ダンマケンマエバシシナカウチマチ)155-1番地外

3　調査は、前橋市埋蔵文化財発掘調査団（団長　渡辺勝利）の指導のもとに委託者、前橋工業団地造成組合（管理者　小寺弘之）の委託を受け、スナガ環境測設株式会社（代表取締役　須永眞弘）が実施した。

調査担当者　山口宗男・齋木一敏・吉沢　貴（前橋市埋蔵文化財発掘調査団）
　　荻野博巳（スナガ環境測設株式会社）

調　査　員　板垣　宏（スナガ環境測設株式会社）

4　発掘調査期間　平成11年11月18日～平成12年３月15日

整理期間　平成11年11月18日～平成12年３月15日

5　調査面積　4,900㎡

6　出土遺物は前橋市教育委員会が保管する。

7　測量・調査計画…須永眞弘、調査助言…金子正人、測量…板垣宏・権田友寿・山口和宏・小見修一・岡本敬一、土壌観察指導…須永薫子、安全管理…上村一視、重機オペレーター…都丸保男、作業事務…柴崎信江が担当した。

8　本書は、調査団指導のもと、スナガ環境測設株式会社が作成に当たり、原稿執筆…荻野博巳、編集・校正…須永眞弘・金子正人、実測図の整理他…権田友寿・岡本敬一、遺物実測…権田友寿、遺物洗浄・注記・接合…須永豊・神津芳夫・柴崎信江、写真整理・内業事務…須永豊・柴崎信江が担当した。

9　発掘調査に参加した方々（敬称略）

阿久沢民江　飯島勝亥　飯島いし　石川サワ子　内山恵美子　内山　康　内山みさを　金子和子
久保田とよ　桑島英彰　小暮幸子　斉藤まき子　櫻井　弘　下田明美　須田隆治　関根時太
関根義雄　角田朱美　都丸藤子　中川住一　中村新太郎　奈良岩雄　榛沢伊勢次　伏嶋経夫
伏嶋みさを　細野進太郎　諸田文雄　鷲野利恵　渡辺永造　渡辺国治

凡　例

1　遺跡の略称は、11G42である。

2　遺構名の略称　住居跡…H、溝跡…W、土坑…D、柱穴…P。実測図中の記号　P…土器片、S…石。

3　実測図の縮尺　遺跡全体平面図　1/500、水田　1/40、1/100、住居跡　1/60、カマド　1/30、溝跡　1/60、1/80、1/100、1/500、土坑　1/60、柱穴　1/60、遺物実測図　1/1、1/2、1/3、1/4を使用。

4　挿入図は、国土地理院発行の５万分の１「前橋・高崎」を使用した。

5　各遺跡の位置の基準は、国土地理院三角点及び水準点と照合済。基準点A区A－0グリッド地点　第IX系座標値　X 37840.000m、Y －63080.000m、水準点 BM.…77.00m、等高線 5㎝（一部水田２㎝）、グリッド４m間隔

6　土層断面の土色名及び土器類の色調名は『新版標準土色帖』（農林省農林水産技術会議事務局　監修　財団法人　日本色彩研究所 色票監修）による。

7　須恵器の断面…　施釉部分…　黒色処理…　煤付着…　を使用。

8　各遺構の面積は平面図をもとに座標面積計算より算出した。

目　次

序……i
例　言……iii
凡　例……iii
目　次……iv
Ⅰ　調査に至る経緯……1
Ⅱ　遺跡の位置と歴史的環境……1
　1．遺跡の立地……1
　2．歴史的環境……1
Ⅲ　調査の経過……4
　1．調査方針……4
　2．調査経過……4
Ⅳ　層　序……5
Ⅴ　検出された遺構と遺物……6
　1．概　観……6
　2．平安時代の住居跡……6
　3．As-B軽石層下水田跡……17
　4．溝跡（平安時代・中世・近世・近代以降）……18
　5．土　坑……22
　6．柱　穴……22
Ⅵ　ま と め……23

挿　図

第1図　周辺遺跡図（S＝1：50,000）……2
第2図　遺跡位置図（S＝1：2,500）……3
第3図　発掘調査経過図……4
第4図　各調査区深掘り土層断面図……5
第5図　H-1・2号住居跡、カマド実測図……30
第6図　H-3・4号住居跡、カマド実測図……31
第7図　H-5～7号住居跡、カマド、
　W-4実測図……32
第8図　H-6～8号住居跡、カマド実測図……33
第9図　H-9・10号住居跡、カマド実測図……34
第10図　H-11・12号住居跡、カマド、
　W-32・37実測図……35
第11図　H-13・14号住居跡、カマド、
　W-37・38実測図……36
第12図　H-14～16号住居跡、カマド実測図……37
第13図　H-16～18号住居跡、カマド実測図……38
第14図　H-18・19号住居跡、カマド実測図……39
第15図　H-20・21号住居跡、カマド実測図……40
第16図　H-22号住居跡、カマド実測図……41
第17図　H-23・24・54号住居跡、カマド実測図…42
第18図　H-25～27・54号住居跡、カマド実測図…43
第19図　H-27～30号住居跡、カマド、
　W-41・50・51実測図……44
第20図　H-31～33号住居跡、カマド実測図……45
第21図　H-33～36・38・55号住居跡、
　カマド実測図……46
第22図　H-35～37・51号住居跡、カマド実測図…47
第23図　H-35・36・38～40号住居跡、
　カマド実測図……48
第24図　H-40～42号住居跡、カマド実測図……49
第25図　H-41～44号住居跡、カマド実測図……50
第26図　H-44～46号住居跡、カマド、
　W-61実測図……51
第27図　H-47・48号住居跡、カマド実測図……52
第28図　H-49・50号住居跡、カマド実測図……53
第29図　H-51～53・56号住居跡、カマド実測図…54

第30図　H-53・56・57号住居跡、カマド実測図 …55
第31図　H-58・59号住居跡、カマド、
W-49～51実測図 ……56
第32図　H-60・61号住居跡、カマド実測図 ……57
第33図　H-62～64号住居跡、カマド、
W-47・50・51実測図 ……58
第34図　H-64～66号住居跡、カマド、
W-64・65実測図 ……59
第35図　W-1・2・4・6、
W-3-1・3-2・5-1断面図……60
第36図　W-7・9、W-5-2・8-1・8-2・
10-2断面図 ……61
第37図　W-11～19・21～23断面図 ……62
第38図　W-24～34・36・37断面図 ……63
第39図　W-38～53断面図 ……64
第40図　W-54～71断面図 ……65
第41図　As-B軽石層下水田跡実測図 ……66
第42図　As-B軽石層下水田跡実測図 ……67
第43図　D-1～3、P-1～4、W-1・68実測図…68
第44図　P-5～12実測図 ……69
第45図　D-1～3、P-1～12断面図……70
第46図　縄文時代の石鏃、平安時代の遺物……71
第47図　平安時代の遺物……72
第48図　平安時代の遺物、鉄製品、砥石……73
第49図　平安時代の遺物……74
第50図　平安時代の遺物、鉄製品……75
第51図　平安時代の遺物、石製品……76
第52図　平安時代の遺物、鉄製品……77
第53図　平安時代の遺物……78
第54図　古墳時代・平安時代の遺物、石製品、古銭 …79
付　図　前田VI遺跡・前田V遺跡・調査区
全体平面図・遺構検出状況関連図

表

水田跡計測表……18
畦畔計測表……18
溝計測表……19～21
土坑計測表……22
柱穴計測表……22
出土遺物観察表……25～29

写真図版

図版1　調査区現況（北東から撮影）、調査前現況（北から撮影）、A・D調査区全景（北東から撮影）、B・C・E調査区全景（北西から撮影）、A・B調査区全景（東から撮影）、A・B調査区全景（東から撮影）、D・E調査区全景（東から撮影）、A・B調査区全景（東から撮影）
図版2　A・D調査区全景（北から撮影）、B・D調査区全景（北から撮影）、B調査区全景（東から撮影）、B・E調査区全景（北から撮影）、B・E調査区全景（北から撮影）、B・C調査区全景（西から撮影）、H-1号住居跡全景（北から撮影）、H-1号住居跡遺物出土状況
図版3　H-2号住居跡全景（西から撮影）、H-3号住居跡全景（西から撮影）、H-3号住居跡カマド全景（北から撮影）、H-4号住居跡全景（西から撮影）、H-5号住居跡完掘（北から撮影）、H-6・7号住居跡全景（西から撮影）、H-6・7号住居跡遺物出土状況（西から撮影）、H-8号住居跡全景（西から撮影）
図版4　H-9号住居跡全景（西から撮影）、H-9号住居跡炭化物出土状況（西から撮影）、H-10号住居跡全景（西から撮影）、H-11号住居跡全景（西から撮影）、H-12号住居跡全景（西から撮影）、H-13号住居跡全景（西から撮影）、H-14号住居跡全景（西から撮影）、H-15号住居跡全景（西から撮影）
図版5　H-16号住居跡全景（西から撮影）、H-16・17・18号住居跡全景（西から撮影）、H-19号住居跡全景（西から撮影）、H-20・21号住居跡全景（西から撮影）、H-21号住居跡遺物出土状況、H-22号住居跡全景（西から撮影）、H-22号住居跡左・右カマド全景（西から撮影）、H-23号住居跡全景（西から撮影）
図版6　H-23号住居跡カマド遺物出土状況（西から撮影）、H-24・54号住居跡全景（西から撮影）、H-24・54号住居跡カマド全景（西から撮影）、H-25号住居跡全景（西から撮影）、H-26号住居跡全景（西から撮影）、H-27号住居跡全景（西から撮影）、H-27号住居跡カマド遺物出土状況（西から撮影）、H-27号住居跡P

－1遺物出土状況
図版7　H-28号住居跡全景(西から撮影)、H-29号住居跡全景(西から撮影)、H-30号住居跡全景(西から撮影)、H-31号住居跡全景(西から撮影)、H-32号住居跡全景(西から撮影)、H-33号住居跡全景(西から撮影)、H-34・55号住居跡全景（西から撮影)、H-35・36・38号住居跡全景（西から撮影)
図版8　H-37・51号住居跡全景（西から撮影)、H-39・40号住居跡全景（西から撮影)、H-41・42号住居跡全景（西から撮影)、H-41号住居跡遺物出土状況、H-43号住居跡全景(西から撮影)、H-44号住居跡全景(西から撮影)、H-45・46号住居跡全景（西から撮影)、H-46号住居跡D－1遺物出土状況
図版9　H-47号住居跡全景（西から撮影)、H-48号住居跡全景（西から撮影)、H-48号住居跡遺物出土状況、H-49号住居跡全景（西から撮影)、H-50号住居跡全景（西から撮影)、H-52号住居跡遺物出土状況（西から撮影)、H-53・56号住居跡全景（北から撮影)、H-57号住居跡遺物出土状況（西から撮影)
図版10　H-58号住居跡全景(西から撮影)、H-59号住居跡全景(西から撮影)、H-60号住居跡全景(西から撮影)、H-61号住居跡全景(西から撮影)、H-62号住居跡全景(西から撮影)、H-63号住居跡全景(西から撮影)、H-63号住居跡遺物出土状況、H-64号住居跡全景（西から撮影)
図版11　H-64号住居跡カマド全景（西から撮影)、H-65号住居跡全景（西から撮影)、H-66号住居跡全景（西から撮影)、D区As-B水田・畦畔全景（東から撮影)、B区As-B水田・畦畔全景（西から撮影)、W-1号溝全景（東から撮影)、W-2号溝全景（東から撮影)、W-3－1号溝東壁セクション（西から撮影)、
図版12　W-3－2号溝全景（北から撮影)、W-4号溝全景（北西から撮影)、W-5－1号溝全景（南東から撮影)、W-5－2、W-10－2号溝全景（南東から撮影)、W-6号溝全景（東から撮影)、W-7号溝全景（西から撮影)、W-8－1号溝全景（北西から撮影)、W-8－2、W-71号溝全景（北から撮影)
図版13　W-9号溝全景（北から撮影)、W-10－1号溝全景（南から撮影)、W-11号溝全景（南から撮影)、W-12号溝全景（南から撮影)、W-13号溝全景（西から撮影)、W-14～18号溝全景（北西から撮影)、W-19号溝全景（北西から撮影)、W-20号溝全景（南東から撮影)
図版14　W-21号溝全景(北から撮影)、W-22号溝全景(東から撮影)、W-23号溝全景(西から撮影)、W-24～27・36号溝全景（西から撮影)、W-28・33号溝全景（西から撮影)、W-29号溝全景（西から撮影)、W-30・31号溝全景（南西から撮影)、W-32号溝全景（南東から撮影)
図版15　W-34号溝全景（北西から撮影)、W-35号溝全景（北西から撮影)、W-37号溝全景（南東から撮影)、W-38号溝全景（南東から撮影)、W-39号溝全景（南から撮影)、W-40号溝全景（南から撮影)、W-41・42号溝全景（北から撮影)、W-43号溝全景（北から撮影)
図版16　W-44号溝全景（南から撮影)、W-45号溝全景（南から撮影)、W-46号溝全景（東から撮影)、W-47号溝全景（南から撮影)、W-48・49号溝全景（南から撮影)、W-50・51号溝全景（西から撮影)、W-52号溝全景（西から撮影)、W-53号溝全景（南東から撮影)
図版17　W-54号溝全景（南から撮影)、W-55～59号溝全景（東から撮影)、W-60・61号溝全景（北から撮影)、W-62・63号溝全景（北から撮影)、W-64号溝全景（北から撮影)、W-65号溝全景（北から撮影)、W-66号溝全景（北から撮影)、W-67号溝全景（北から撮影)
図版18　W-68号溝、D－2全景（南から撮影)、W-69号溝全景（北西から撮影)、W-70号溝全景（東から撮影)、E区D－1全景、A区D－3全景、B区P－1・2全景、B区P－3全景、B区P－4全景、
図版19　B区P－5～8全景（南から撮影)、B区P－9～12全景（北から撮影)、D区深掘り状況、B区グリッド遺物出土状況、作業風景（南から撮影)、作業風景（表土掘削)、調査区埋戻し終了全景、第五中学校2年生職場体験学習風景
図版20～28　遺物写真
（縄文時代の石鏃、古墳時代・平安時代の遺物、鉄製品、石製品、他）

I　調査に至る経緯

前橋市は「豊かですばらしい社会を築く街づくり」の施策の一つとして、工業団地及び住宅団地の造成事業を進めている。この一環として前橋工業団地造成組合施工の平成11年度東善住宅団地拡張造成事業の実施あたり、埋蔵文化財の有無について事前協議が前橋市教育委員会にあり、市教育委員会では平成２年度に実施した「前田遺跡」で、平安時代の住居跡等が検出されていることから遺跡の包蔵地であると判断し、試掘調査を実施した。その結果、遺構等を検出したので工事の実施に先立って道路建設部分についての埋蔵文化財発掘調査を実施し、記録保存する事となった。発掘調査は、前橋工業団地造成組合と前橋市埋蔵文化財発掘調査団（以下「調査団」という）との間で委託契約を締結し、調査と整理及び報告書刊行等の実務は、調査団から委託を受けたスナガ環境測設株式会社が実施した。なお、調査団では、南東部に隣接する約1,430㎡について「前田Ⅴ遺跡」として調査を実施した。

II　遺跡の位置と歴史的環境

１．遺跡の立地

本遺跡は、前橋市の中心市街地から東南へ約８㎞の中内町内にあり、主要地方道高崎・駒形線の東善町の交差点を玉村町方面に200m程進んだ所を、更に東へ100m行った南側にある。遺跡の400m程南には、北関東自動車道が建設され、また、東方約500mには一級河川芳川が南流し、西側に位置する藤川と共に南部農耕地帯の重要な河川となっている。周辺地域は、主要地方道も整備された昨今、通運、運輸、倉庫などの大企業の社屋も立ち並び、市街化が進むにつれ遺跡の周辺は住宅街へとして進化している。

芳川の右岸に沿ったこの地域は前橋台地の先端地域に位置している。この組織構造は火山泥流堆積物（前橋泥流堆積物）と火山灰シルト粘土質（水成上部ローム層）により形成された緩傾斜の洪積台地である。台地の北東縁は利根川の旧流路に当たり、幅３㎞前後で帯状の沖積低地が北西から南東へ広がる広瀬川低地帯である。赤城山南麓西端斜面と榛名山麓東斜面先端の合端を流れる利根川は前橋台地の北側に沿った附近を流路としていたが室町時代の応永34年の大洪水などにより現在の県庁の西を流れる現利根川として遺跡の南方3.1㎞地点を南東流し、広瀬川、端気川、藤川、芳川などの河川が合流している。

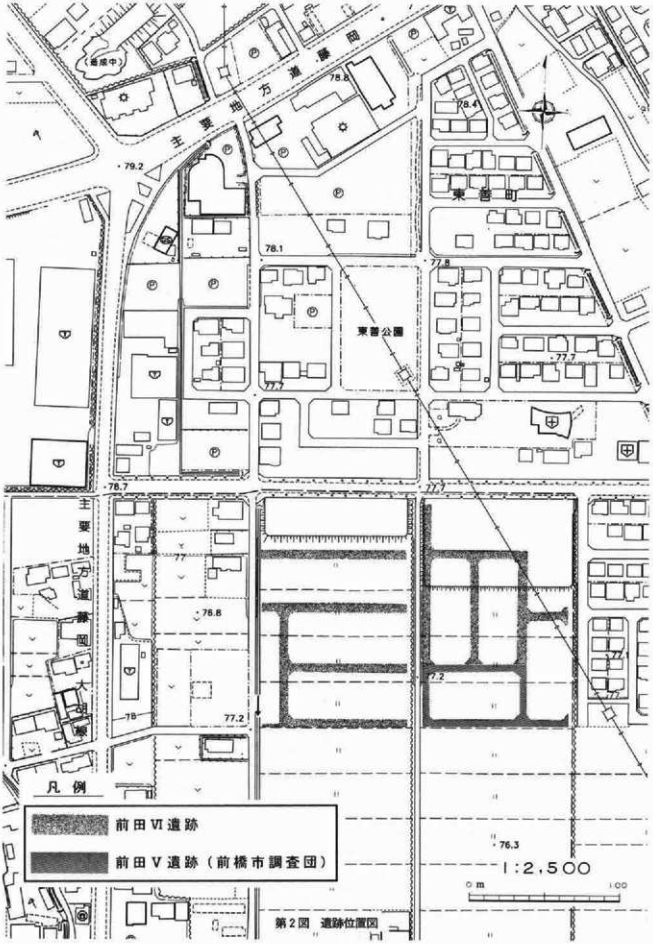
２．歴史的環境

本遺跡の所在する前橋台地上は、水成ローム層が厚く堆積し一面が湿地性の環境であったとされている。そのため旧石器時代から縄文時代・弥生時代にかけては人々の生活に適さなかった場所と思われ、人跡はないとされていた。しかしながら、平成６年の調査では、巻島川端遺跡において縄文時代草創期後半の撚糸文土器片の検出があり、同じく徳丸仲田遺跡でも微隆起縄文土器の破片や尖頭器が出土し、この点に関しての再考が迫られてきている。巻島川端遺跡では、弥生時代後半の遺跡も確認されている。古墳時代前期では、東毛の利根川流域の赤城山南麓地域に見られる樽・赤井戸系土器の弥生時代とは異なる外来の文化が入ってくる石田川式土器を使用し、生活基盤を農業生産に移行した集団が、本遺跡周辺の前橋台地上にも見られるようになる。住居跡が検出した後関団地遺跡・東田遺跡など微高地縁辺部に位置し、後背湿地を開発している。また、西横手遺跡・公田池尻遺跡は、浅間Ｃ軽石で埋没した水田である。古墳時代後期では榛名山起因の大噴火が２回あり、Hr-FA や Hr-FP 降下堆積物などで覆われた小区画水田の検出が相次ぎ報告され、この時期の水田の様子など解明されつつある。また、鉄製品の普及や農業技術の進歩により耕地や集落の拡大も人口増加と共に著しくなる。小区画水田は、公田東遺跡・横手湯田遺跡などに検出されている。集落跡では、後関団地遺跡・後関Ⅱ遺跡・川曲遺跡・坊山遺跡などで、微高地縁辺部に立地している。また、前橋台地の東端付近の広瀬川低地帯と呼ばれる広瀬川右岸の低い崖の上には市内でも有数の古墳が出現する。４世紀後半築造の八幡山古墳（前方後方墳）、三角縁神獣鏡を出土した前橋天神山古墳（前方後円墳）、６世紀前半の亀塚山古墳（帆立貝式古墳）、６世紀後半の金冠塚古墳（前方後円墳）、７世紀の経塚古墳（円墳）などと文珠山古墳（円墳）などに代表される古墳があり、朝倉・広瀬古墳群の文

化を支えた地域との関連が窺える。律令期に入ると元総社町に国府が造営され、その南東に位置する遺跡地周辺は穀倉地帯としての役割を持つようになる。浅間B軽石（1108年降下）に埋没した水田跡には、条里制地割が想定される公田東遺跡・公田池尻遺跡などがあげられ、宮地中田遺跡では、東西と南北に走行する坪境畦畔も検出されている。また、西田遺跡では大畦畔や道路状遺構も検出されている。奈良・平安時代の集落跡では、後閑団地遺跡・後閑Ⅱ遺跡・神人村Ⅱ遺跡・柄田添遺跡などあり、平安時代では、前田遺跡・前田Ⅱ遺跡・西善尺司Ⅱ遺跡がある。中世以降では、中世末期、築城様式を持つ宿阿内城内遺跡がある。本遺跡周辺の調査事例が増えるにしたがって各時代にわたり人々の生活の痕跡が多く存在する地域といえる。

1 前田Ⅵ遺跡　2 前田遺跡　3 前田Ⅱ遺跡　4 文珠山古墳　5 金冠塚古墳　6 亀塚山古墳　7 前橋天神山古墳
8 坊山遺跡　9 八幡山古墳　10 後閑団地遺跡　11 後閑Ⅱ遺跡　12 勝島川端遺跡　13 公田東遺跡　14 公田池尻遺跡
15 宿阿内城内遺跡　16 川曲遺跡　17 東田遺跡　18 宮地中田遺跡　19 西横手遺跡　20 横手湯田遺跡　21 西田遺跡
22 徳丸仲田遺跡　23 西善尺司Ⅱ遺跡　24 昼塚古墳　25 柄田添遺跡　26 神人村Ⅱ遺跡

第1図　周辺遺跡図



（通成中）
主要地方道藤岡
78.8
78.4
79.2
東善町
78.1
77.8
東善公園
77.7
77.7
78.7
77.7
主要地方道藤岡・大胡線
77
78.8
77.1
77.2
77.2
78
77.2
凡例
前田Ⅵ遺跡
前田Ⅴ遺跡（前橋市調査団）
76.3
1:2,500
0 m
100

第2図　遺跡位置図

Ⅲ　調査の経過

1．調査方針

調査対象範囲が、住宅団地拡張造成地の道路建設部分のため、全体が細長く広い形状から調査区の設定は公共座標に基づき100m×100mの大グリッドを組んでA区～E区まで大別し、その中を4m毎に小グリッドを設定した。東西方向に延びる、緯線に直交する経線を算用数字（1、2、3、……）で、南北方向に延びる、経線に直交する緯線をアルファベット（A、B、C、……）で付称し、グリッドの呼称は北西隅の名称を利用した。また水準は公共水準点に基づき調査区内に測設した。

図面作成は、1/10、1/20、1/40、1/100、1/500の縮尺を使用し、平板、遣り方による細部測量で作図を行った。遺物は、遺構グリッド単位で層位毎に取納し、遺物分布平面図・遺物台帳に記載し付番処理して取納した。また、遺構・遺物等の写真撮影（白黒・カラー・リバーサルフィルム）も行った。

2．調査経過

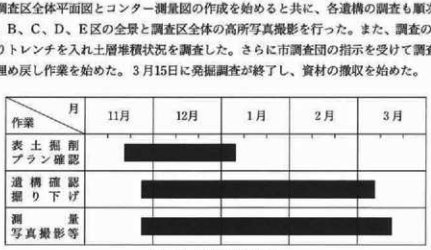
発掘調査は平成11年11月より現場事務所の設置や発掘調査用具の搬入などの準備を行い、11月18日より現地にて立会、調査範囲等の指示を受け作業に入る。また、道路に面している部分や調査範囲に安全対策用のトラロープを張り安全に務めた。調査は指示に従って調査区内を南北に走る道路を挟んだ東側から実施した。11月19日よりB区南側から重機（バックフォー）を使い表土掘削を実施した。その結果、住居跡、溝跡、As-B軽石堆積範囲を検出した。11月25日から遺構の発掘を開始する（住居跡、溝跡、As-B軽石堆積範囲）。また、調査区内にグリッド杭、ベンチ杭を設定し、測量作業に入る。その後、遺構発掘も順調に進み、As-B軽石堆積範囲から水田面、畦畔が検出され、住居跡からはカマド、土坑、柱穴等を検出した。また、各遺構についても測量、写真撮影、遺物取あげなどを行った。

西側調査区は、12月4日より、D・E調査区の南側から重機による表土掘削に入り、北側のA・B区へ進めた。12月6日からは、D・E区のジョレン精査も始めて、並行して遺構確認調査も実施した。

12月15日には、住居跡、溝跡、As-B軽石堆積範囲も検出され、発掘作業も進めた。また、グリッド杭やベンチ杭も設定した。12月24日からは、各遺構の測量や写真撮影などにも入る。年明けは、平成12年1月4日より作業に入り、1月6日には各調査区の表土掘削も終了した。検出した遺構は、住居跡、溝跡、As-B水田、畦畔、土坑、柱穴などがあり、特に住居跡は東側調査区に比べて軒数が多く、重複した住居跡も複数検出した。2月に入り、寒い日や北風の吹く日が多くなったが、天候に恵まれ各遺構の調査も順調に進んだ。住居跡の調査では、カマド、土坑、柱穴等が多く検出され、それに伴って遺物の数も多く、図面作成や写真撮影、遺物取りあげなどの記録に追われる毎日であった。2月16日には前橋市立第五中学校の2年生11名、引率教師1名、教育委員会より担当者1名が職場体験学習に来跡し、住居跡の発掘を体験した。

3月8日より調査区全体平面図とコンター測量図の作成を始めると共に、各遺構の調査も順次終了した。

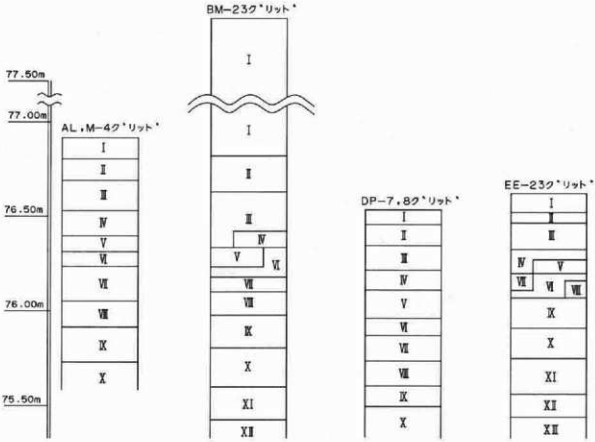
3月13日、A、B、C、D、E区の全景と調査区全体の高所写真撮影を行った。また、調査の終了したA、B、D、E区に深掘りトレンチを入れ土層堆積状況を調査した。さらに市調査団の指示を受けて調査の終了したE区より重機による埋め戻し作業を始めた。3月15日に発掘調査が終了し、資材の撤収を始めた。



第3図　発掘調査経過図

Ⅳ 層　序

層序は、A・B・D・E区内にそれぞれ入れた深掘り土層断面をもとに模式的に断面図を作成し、それについての土層説明を下記に掲載した。



第４図　各調査区深掘り土層断面図

深掘り　土層注記（AL・M−４グリッド内）

Ⅰ．灰黄褐色土層　粘性なく、締まりややあり、軽石、小礫３～４㎜を所々に含む
Ⅱ．灰黄褐色土層　粘性なく、締まりややあり、細砂、小礫を含む
Ⅲ．黒褐色土層　粘性なく、締まりあり、As−C軽石２～３㎜を１％以下含む（住居跡確認面）
Ⅳ．黒褐色土層　粘性ややあり、締まりあり、As−C軽石２～３㎜を所々に含み、わずかに小礫を含む
Ⅴ．黒褐色土層　明黄褐色砂質土を所々に含み、わずかに白色軽石粒と小礫を含む
Ⅵ．明黄褐色砂層　黒褐色土ブロックを所々に含む
Ⅶ．明黄褐色砂層　わずかに小礫２～３㎜を含む
Ⅷ．明黄褐色砂礫層　細砂を多く含み、粗砂、小礫を含む
Ⅸ．明黄褐色砂礫層　Ⅷ層よりも小礫３～５㎜を多く含み、酸化を帯びている
Ⅹ．黄橙色細砂粗砂層　酸化を帯びている

深掘り　土層注記（BM−23グリッド内）

Ⅰ．鈍い黄褐色土層　細砂、小礫、石を含む
Ⅱ．灰黄褐色砂質土層　軽石を含み、小礫を所々に含む
Ⅲ．灰黄褐色砂質土層　軽石２～３㎜を１％含み、小石を所々に含む
Ⅳ．As−B軽石層　酸化を帯びている
Ⅴ．鈍い黄褐色土層　As−B軽石をブロック状に含む
Ⅵ．暗褐色土層　締まりあり、As−C軽石１～３㎜を１％含む（As−B水田層）
Ⅶ．黒褐色土層　粘性ややあり、締まりあり、As−C軽石１～３㎜を１％以上含む
Ⅷ．鈍い黄褐色粘質土層　As−C軽石１～２㎜を所々に含む
Ⅸ．黄褐色粘質土層　軽石粒を所々に含む
Ⅹ．鈍い黄褐色粘質土層
Ⅺ．浅黄褐色粘土層
Ⅻ．浅黄褐色粘土層　Ⅺ層より粘性が弱い

深掘り　土層注記（DP-7・8グリッド内）

Ⅰ．灰黄褐色土層　（現耕作土）
Ⅱ．As-B軽石層
Ⅲ．暗褐色土層　粘性、締まりあり、軽石粒を含む（As-B水田層）
Ⅳ．黒褐色土層　粘性、締まりあり、As-C軽石1～2㎜を1％以下含む
Ⅴ．灰褐色粘質土層　軽石粒と明黄褐色砂質土粒を含む
Ⅵ．灰褐色粘質土層　白色軽石と小礫3～5㎜を所々に含む
Ⅶ．灰褐色粘質土層　As-C軽石2～3㎜と小礫0.5～1㎝、明黄褐色砂質土を含む
Ⅷ．灰褐色粘質土層　Ⅶ層より軽石粒、小礫、明黄褐色砂質土を多く含む
Ⅸ．灰褐色砂質土層　軽石、小礫をわずかに含み、細砂を多く含む
Ⅹ．灰褐色砂質土層　小礫を含み、細砂を多く含む　酸化を帯びている

深掘り　土層注記（EE-23グリッド内）

Ⅰ．灰黄褐色土層　粘性なく、締まりややあり、細砂、軽石、小礫を含む
Ⅱ．灰黄褐色土層　粘性なく、締まりややあり、細砂を含む
Ⅲ．灰黄褐色土層　粘性なく、締まりややあり、細砂、小礫を含む
Ⅳ．鈍い黄橙色土層　締まりあり、細砂を含み、Hr-FP 2～5㎜を所々に含む
Ⅴ．鈍い黄橙色土層　締まりあり、As-B軽石を含む
Ⅵ．暗褐色土層　As-C軽石1～2㎜を1％以下含む（遺構確認面）
Ⅶ．鈍い黄褐色砂層　軽石粒を含む
Ⅷ．黒褐色土層　As-C軽石粒1～2㎜を所々に含む
Ⅸ．黒褐色土層　締まりあり、As-C軽石2～3㎜を1％含む
Ⅹ．黒褐色土層　締まりあり、As-C軽石2～3㎜と明黄褐色砂質土粒を含む
Ⅺ．明黄褐色細砂粗砂層
Ⅻ．鈍い黄橙色砂礫層
XIII．鈍い黄橙色砂礫層　Ⅻ層より小礫を多く含む

本文中に使用した略号は以下の通りである。
・As-C軽石：4世紀降下浅間山起因の軽石層　・Hr-FA：6世紀初頭降下榛名山起因の火山灰層
・As-B軽石：1108年降下浅間山起因の軽石層　・Hr-FP：6世紀中葉降下榛名山起因の軽石層

Ⅴ　検出された遺構と遺物

1．概　　観

本遺跡は、住宅団地の道路建設予定地に当たる部分の調査であり遺構構造やその分布状況の把握には限定されたものがあった。また、土地改良工事による整地痕が遺構確認面まで達している部分も多くあった。検出した遺構は、平安時代住居跡66軒、水田跡2箇所、平安時代・中世・近世・近代以降の溝跡75条やAs-B水田範囲内と住居跡、溝跡検出面で柱穴、土坑等が検出された。遺物は、調査区全体で須恵器、土師器、土錘、紡錘車、砥石、鉄製品など総数26,862点検出した。土器類のほとんどは小片のものが大半をしめていた。

2．平安時代の住居跡

H-1号住居跡〔第5図、図版2〕　　註）（　）は、推定及び検出値を表す。

位置 BM-6・7～BN-6グリッド **形状** 方形を呈す。 **規模** 長軸3.50m、短軸2.85m、確認面から床面までの壁高10～29cm。 **面積** 9.01㎡ **長軸方向** N-35°-W **床面** 明黄褐色土層の地山を掘り込んで整地し床面としている。 **土坑** カマドの左袖側に検出、D-1長径113cm、短径75cm、深さ21cmの楕円形で位置的に貯蔵穴と思われる。 **カマド** 南東壁の中央やや西寄りに位置する。主軸方向 N-145°-Eで、全長98cm、最大幅69cm、焚口部幅40cm。左袖付近に構築材の自然石を検出した。黄色粘土の使用もわずかに見られた。 **遺物** 総数674点を検出した。図示した遺物は、№1～5、石錘、坏、土錘などがある。

H-2号住居跡〔第5図、図版3〕

位置 BH・I-6グリッド **形状** 西側が調査区外のため不明。 **規模** 部分検出のため不明、確認面から床面までの壁高13cm。 **面積**（0.59㎡） **長軸方向** 不明。 **床面** 明黄褐色土層面を整地し床面としている。 **柱穴、土坑** 検出されなかった。 **カマド** 北東壁に位置する。主軸方向 N-44°-Eで、全長（63cm）、幅（55cm）、焚口部幅一部調査区外で不明。 **遺物** 総数14点を検出した。図示した遺物は、カ№1、坏などがある。

H-3号住居跡〔第6図、図版3〕

位置 BK-7～BL-7・8グリッド **形状** ほぼ長方形を呈す。 **規模** 長軸3.34m、短軸2.70m、確認面から床面までの壁高24～25cm。 **面積** 8.28m² **長軸方向** N-33°-W **床面** As-C軽石を含む黒褐色土層面を整地して床面としている。 **柱穴、土坑** 検出されなかった。 **カマド** 北東壁の中央やや南東寄りに位置する。主軸方向 N-63°-Eで、全長96cm、最大幅83cm、焚口部幅40cm、両袖石と崩れ落ちた天井石が検出された。 **遺物** 総数636点を検出した。図示した遺物は、№1～6、坏、高台付境、蓋、壺、小型台付甕（脚部）などがある。

H-4号住居跡〔第6図、図版3〕

位置 BL-8・9～BM-8・9グリッド **形状** ほぼ方形を呈す。 **規模** 長軸3.00m、短軸2.64m、確認面から床面までの壁高10～12cm。 **面積** 7.30m² **長軸方向** N-1°-E **床面** 暗褐色土層を整地して床面としている。 **柱穴、土坑** 検出されなかった。 **カマド** 東壁の中央やや南寄りに位置する。主軸方向 N-88°-Eで、全長105cm、最大幅80cm、焚口部幅42cm。 **遺物** 総数171点を検出したが小片の遺物がほとんどである。

H-5号住居跡〔第7図、図版3〕

位置 BM-7・8グリッド **形状** 南側が調査区外のため不明。 **規模** 長軸2.30m、短軸（1.56m）、確認面から床面までの壁高8～10cm。 **面積** 1.81m² **長軸方向** 不明。 **床面** 暗褐色土層を整地して床面としている。 **柱穴、土坑、カマド** 検出されなかった。 **遺物** 総数35点を検出した。

H-6号住居跡〔第7・8図、図版3〕

位置 BP-6グリッド **重複** H-7号住居跡と北壁側で重複し切られている。 **形状**（方形）と思われる。 **規模** 長軸（2.60m）、短軸（1.93m）、確認面から床面までの壁高5～6cm。 **面積** 4.02m² **長軸方向**（N-91°-E）**床面** 明黄褐色土層の地山を掘り込んで整地し床面としている。 **柱穴** 南東コーナーに検出、P-1長径34cm、短径28cm、深さ8cmの楕円形。 **土坑** カマドの右袖側と南西側に検出した。D-1は、長径56cm、短径43cm、深さ11cmの楕円形、D-2長径96cm、短径76cm、深さ18cmの不定形。 **カマド** 東壁の中央付近に位置する。主軸方向 N-86°-Eで、全長93cm。 **遺物** 総数81点を検出した。図示した遺物は、№1～2、カ№1、坏、灯明皿、高台付境などがある。

H-7号住居跡〔第7・8図、図版3〕

位置 BO・P-6グリッド **重複** 北壁側でW-4に掘り込まれ南壁側でH-6号住居跡の北壁側を掘り込んでいる。新旧関係は、W-4より古くH-6号住居跡より新しいと思われる。 **形状**（長方形）と思われる。 **規模** 長軸（2.94m）、短軸（2.44m）、確認面から床面までの壁高8～12cm。 **面積**（6.03m²） **長軸方向**（N-70°-E）**床面** 明黄褐色土層の地山を掘り込んで整地し床面としている。 **柱穴** 北東側にP-1長径30cm、短径30cm、深さ12cmのほぼ円形、南壁側にP-2長径50cm、短径39cm、深さ10cmの楕円形、P-3長径40cm、短径35cm、深さ14cmの楕円形を検出した。 **カマド** 東壁の中央やや南寄りに位置する。主軸方向 N-91°-Eで、全長60cm、最大幅80cm、焚口部幅42cm。 **遺物** 総数138点を検出した。図示した遺物は、№1～3、高台付境、坏などがある。

H-8号住居跡〔第8図、図版3〕

位置 ED・E-6グリッド **形状**（方形）と思われる。 **規模** 長軸3.70m、短軸1.52m以上、確認面から床面までの壁高12～14cm。 **面積**（3.93m²） **長軸方向**（N-7°-E）**床面** 褐色土層の堅緻な床面である。 **土坑** 南東壁側に検出した。D-1長径112cm、短径（55cm）、深さ37cmの楕円形。 **カマド** 東壁の中央やや南寄りに位置する。主軸方向 N-122°-Eで、全長60cm、最大幅75cm、焚口部幅55cm。 **遺物** 総数196点を検出した。図示した遺物は、№1～2、高台付境、坏などがある。

H-9号住居跡〔第9図、図版4〕

位置 BU・V-15グリッド **形状** 部分検出のため不明。 **規模** 長軸（3.00m）、短軸（2.24m）、確認面から床面までの壁高10cm。 **面積**（3.89m²） **長軸方向** 部分検出のため不明。 **床面** 全体に焼土、炭化物が検出され焼失住居跡と考えられる。 **柱穴、土坑** 検出されなかった。 **カマド** 東壁側が調査区外のため不明。 **遺物** 総数76点を検出した。図示した遺物は、№1、高台付境などがある。

H-10号住居跡〔第9図、図版4〕

位置 BX-22～BY-22・23グリッド **形状** （長方形）と思われる。 **規模** 長軸3.22m、短軸（2.56m）、確認面から床面までの壁高8～12cm。 **面積** （7.78㎡） **長軸方向** N-1°-W **床面** 土地改良時の機械振が残りカクランされている。 **柱穴、土坑** 検出されなかった。 **カマド** 東壁の中央やや南寄りに位置する。主軸方向 N-93°-Eで、全長140cm、最大幅108cm、焚口部幅45cm。 **遺物** 総数119点を検出したが小片の遺物がほとんどである。

H-11号住居跡〔第10図、図版4〕

位置 AL-21・22～AM-21グリッド **重複** W-32と重複し住居跡床面が南北方向に掘り込まれている。また一部北壁側は、調査区外にある。新旧関係は、W-32が新しいと思われる。 **形状** 方形と思われる。 **規模** 長軸（3.36m）、短軸3.11m、確認面から床面までの壁高4～12cm。 **面積** 9.66㎡ **長軸方向** N-25°-W **床面** 明黄褐色砂質土層の地山を掘り込んで整地し床面としている。 **柱穴** 北壁側に検出した。P-1は、長径40cm、短径40cm、深さ12.5cmのほぼ円形、P-2長径31cm、短径29cm、深さ9cmのほぼ円形。 **カマド** 検出されなかった。 **遺物** 総数61点を検出した。

H-12号住居跡〔第10図、図版4〕

位置 AL-20・21～AM-21グリッド **重複** W-37と重複し住居跡西側を切られている。新旧関係は、W-37が新しいと思われる。 **形状** 方形と思われる。 **規模** 長軸2.70m、短軸（1.88m）、確認面から床面までの壁高5～9cm。 **面積** 4.25㎡ **長軸方向** （N-23°-W） **床面** 明黄褐色砂質土層の地山を掘り込んで整地し床面としている。 **柱穴** 住居跡の中央付近にP-1、2北壁側にP-3を検出した。P-1は、長径42cm、短径30cm、深さ12cmの楕円形、P-2長径40cm、短径32cm、深さ11cmの楕円形、P-3長径34cm、短径30cm、深さ7cmの楕円形。 **カマド** 東壁の中央やや南寄りに位置する。主軸方向 N-74°-Eで全長72cm、最大幅58cm、焚口部幅41cm。 **遺物** 総数53点を検出した。図示した遺物は、№1、高台付埦などがある。

H-13号住居跡〔第11図、図版4〕

位置 AL-19・20グリッド **重複** W-37と重複し東壁側を切られている。新旧関係は、W-37が新しいと思われる。 **形状**（方形）と思われる。 **規模** 長軸3.07m、短軸（2.23m）、確認面から床面までの壁高25～30cm。 **面積** 6.66㎡ **長軸方向** （N-91°-E） **床面** 鈍い黄褐色土層を整地し床面としている。 **土坑** D-1～D-4まで検出した。D-1は、南東壁隅に位置し長径62cm、短径44cm、深さ19cmの楕円形でカマドの右側にあり、遺物も検出されていることから貯蔵穴と思われる。D-2長径115cm、短径65cm、深さ10cmの楕円形、D-3長径90cm、短径70cm、深さ12cmの楕円形、D-4長径48cm、短径36cm、深さ10cmの楕円形で位置的に柱穴と考えられる。 **カマド** 東壁の中央やや南寄りに位置し一部溝に切られている。主軸方向 N-60°-Eで全長（68cm）、最大幅87cm、焚口部幅30cm右袖に自然石を使用している。 **遺物** 総数71点を検出した。図示した遺物は、D-1№1、高台付埦などがある。

H-14号住居跡〔第11・12図、図版4〕

位置 AL-17・18グリッド **重複** W-38と重複し住居跡を掘り込んでいる。新旧関係は、W-38が新しいと思われる。 **形状** 長方形を呈す。 **規模** 長軸3.52m、短軸（2.29m）、確認面から床面までの壁高15～18cm。 **面積**（8.13㎡） **長軸方向** （N-89°-E） **床面** 黄褐色土層を整地し堅緻な床面となっている。 **柱穴** 東壁側と西壁側に合計4箇所検出した。P-1は、長径40cm、短径32cm、深さ10cmの楕円形、P-2長径38cm、短径37cm、深さ11cmのほぼ円形、P-3長径39cm、短径38cm、深さ17cmのほぼ円形、P-4長径24cm、短径19cm、深さ8cmの楕円形。 **カマド** 東壁の中央に位置する。主軸方向 N-90°-Eで全長70cm、最大幅65cm、焚口部幅55cm。 **遺物** 総数119点を検出したが小片の遺物がほとんどである。

H-15号住居跡〔第12図、図版4〕

位置 AL-17・18～AM-17・18グリッド **形状** 方形を呈す。 **規模** 長軸2.22m、短軸2.20m、確認面から床面までの壁高7～12cm。 **面積**（4.87㎡） **長軸方向** N-115°-E **床面** 鈍い黄褐色土層の堅緻な床面でほぼ平坦である。 **柱穴** 南東隅と北東側に合計2箇所検出した。P-1は、長径32cm、短径30cm、深さ16cmのほぼ円形、P-2長径24cm、短径20cm、深さ17cmのほぼ円形。 **カマド** 東壁の中央やや南寄りに位置する。主軸方向 N-115°-Eで全長62

cm、最大幅70cm、焚口部幅38cm。カマドの構築材に使用したと思われる自然石４個が検出された。**遺物** 総数193点を検出した。図示した遺物は、№１、カ№１、高台付境などがある。

H-16号住居跡〔第12・13図、図版５〕

位置 AL-14・15グリッド **形状** （長方形）と思われる。**規模** 長軸2.70m、短軸（1.10m）、確認面から床面までの壁高30cm。**面積**（3.11㎡）**長軸方向**（N-92°-E）**床面** 鈍い黄褐色土層を整地して床面としている。**柱穴** カマド右側に検出した。P-１長径30cm、短径26cm、深さ７cmの楕円形。**カマド** 東壁側に位置し北側半分は調査区外のため全体は不明。**遺物** 総数120点を検出した。図示した遺物は、№１、坏などがある。

H-17号住居跡〔第13図、図版５〕

位置 AL-14・15～AM-14・15グリッド **重複** H-18号住居跡と重複し西壁側が切られている。新旧関係は、H-18号住居跡が新しいと思われる。**形状**（長方形）と思われる。**規模** 長軸3.60m、短軸2.50m、確認面から床面までの壁高17～20cm。**面積** 8.38㎡ **長軸方向** N-93°-E **床面** 褐色土層を整地した堅緻な床面である。**柱穴** 東壁側の両隅に位置しP-１は、長径34cm、短径33cm、深さ12cmのほぼ円形、P-２長径40cm、短径39cm、深さ20cmのほぼ円形。**カマド** 東壁側の中央に位置する。主軸方向 N-89°-Eで全長54cm、焚口部幅50cm。**遺物** 総数301点を検出した。図示した遺物は、№１～２、カ№１～２、高台付境、高台付壺、羽釜などがある。

H-18号住居跡〔第13・14図、図版５〕

位置 AL-13・14～AM-13・14グリッド **形状**（方形）と思われる。**重複** H-17号住居跡と重複し西壁側が切られている。新旧関係はH-17号住居跡が古いと思われる。**規模** 長軸4.53m、短軸（3.70m）、確認面から床面までの壁高22～25cm。**面積** 15.70㎡ **長軸方向**（N-87°-E）**床面** 灰黄褐色土層の堅緻な床面である。**柱穴、土坑** 検出されなかった。**カマド** 東壁側のほぼ中央に位置する。主軸方向 N-92°-Eで全長72cm、焚口部幅74cm。**遺物** 総数888点を検出した。図示した遺物は、№１～２、高台付境などがある。

H-19号住居跡〔第14図、図版５〕

位置 AL-11・12グリッド **形状**（長方形）と思われる。北壁側は、調査区外にある。**規模** 長軸3.42m、短軸（1.50m）、確認面から床面までの壁高29～32cm。**面積**（5.00㎡）**長軸方向**（N-88°-E）**床面** 褐色土層の平坦な床面である。**柱穴** 南壁側と南西隅に合計２箇所検出した。P-１は、長径34cm、短径33cm、深さ13cmのほぼ円形、P-２長径25cm、短径24cm、深さ10cmのほぼ円形。**土坑** 南東隅に検出した。D-１長径103cm、短径55cm、深さ47cmの楕円形。**カマド** 北側は調査区外のため不明であるが、東壁のほぼ中央に位置すると推定される。主軸方向 N-86°-Eで全長50cm。**遺物** 総数442検出した。図示した遺物は、№１～２、D-１№１、高台付境、甕などがある。

H-20号住居跡〔第15図、図版５〕

位置 AL-11・12～AM-11・12グリッド **重複** H-21号住居跡と重複し西壁側が切られている。新旧関係は、H-21号住居跡が新しいと思われる。**形状**（長方形）と思われる。**規模** 長軸（3.08m）、短軸2.90m、確認面から床面までの壁高25cm。**面積** 9.14㎡ **長軸方向**（N-５°-E）**床面** 暗褐色土層の堅緻な床面である。**柱穴** カマド付近に検出した。P-１長径30cm、短径30cm、深さ26cmの円形。**カマド** 東壁に位置する。主軸方向 N-83°-Eで全長90cm、最大幅102cm、焚口部幅46cm、右袖に安山岩質の石が使用されている。**遺物** 総数867点を検出した。図示した遺物は、№１～２、カ№１、P-１№１、一括、耳皿、高台付境（灰釉）などがある。

H-21号住居跡〔第15図、図版５〕

位置 AM-11グリッド **重複** H-20号住居跡と東壁側で重複している。新旧関係は、本住居跡が新しいと思われる。また南壁側は、調査区外にある。**形状**（方形）と思われる。**規模** 長軸（3.00m）、短軸（1.85m）、確認面から床面までの壁高34～40cm。**面積** 4.92㎡ 長軸方向（N-88°-E）**床面** 鈍い黄褐色土層を整地した堅緻な床面である。**土坑** 西壁よりに２箇所検出した。D-１は、長径50cm、短径47cm、深さ10cmのほぼ円形、D-２長径92cm、短径71cm、深さ20cmの楕円形。**カマド** 東壁の中央付近にわずか焼土、炭化物が検出されたが不明である。**遺物** 総数682点を検出した。図示した遺物は、№１～３、土錘、砥石、三脚器と思われるものの脚部などがある。

H-22号住居跡〔第16図、図版５〕

位置 AL-７・８～AM-８グリッド **形状** 方形を呈す。 **規模** 長軸2.85m、短軸2.75m、確認面から床面までの壁高23～26cm。 **面積** 8.32㎡ **長軸方向** N-３°-W **床面** 暗褐色土層を整地した堅緻な床面である。 **柱穴** 南東隅のカマド前に検出した。P-１長径52cm、短径42cm、深さ10cmの楕円形。 **土坑** 北東側と中央付近に２箇所検出した。D-１は、長径85cm、短径68cm、深さ14cmの楕円形、D-２長径97cm、短径96cm、深さ15cmのほぼ円形。 **カマド** 東壁の中央やや南より①（左側カマド）と南東隅②（右側カマド）の２基を検出した。カマド①主軸方向 N-85°-E で全長55cm、焚口部幅51cm、燃焼部中央に支脚石が残存する。カマド②主軸方向 N-124°-E で全長87cm、焚口部幅53cm、燃焼部には袖石や天井石などの構築石が残存している。またカマド①、②の残存状況から作り替えが考えられ、カマド②の方が焼土、灰などの使用痕がよく残り①よりも新しいカマドと思われる。 **遺物** 総数863点を検出した。図示した遺物は、№１、右カ№１、坏、甕などがある。

H-23号住居跡〔第17図、図版５・６〕

位置 BU-０～BV-０グリッド **形状** 方形を呈す。 **規模** 長軸2.50m、短軸2.48m、確認面から床面までの壁高８～13cm。 **面積** (5.93㎡) **長軸方向** N-91°-E **床面** 明黄褐色を含む褐色土層を整地し床面としている。 **柱穴** 東壁側に検出した。P-１長径34cm、短径32cm、深さ28cmのほぼ円形。 **カマド** 東壁側の中央南寄りに位置する。主軸方向 N-85°-E で全長85cm、最大幅100cm、焚口部幅42cm、左袖石が残存する。 **遺物** 総数47点を検出した。図示した遺物は、№１、カ№１、高台付境、羽釜などがある。

H-24号住居跡〔第17図、図版６〕

位置 BU-24・25グリッド **重複** H-54号住居跡と重複し掘り込まれている。新旧関係は、H-54号住居跡が新しいと思われる。 **形状** （方形）と思われる。北側は、調査区外にある。 **規模** 長軸3.42m、短軸（2.65m）、確認面から床面までの壁高22～24cm。 **面積** 8.96㎡ **長軸方向** (N-89°-E) **床面** 褐色土層の堅緻な床面である。 **柱穴、土坑** 検出されなかった。 **カマド** 東壁の中央南寄りに位置する。主軸方向 N-75°-E で全長98cm、最大幅80cm、焚口部幅48cm、煙道部に２石検出したが構築物か不明。 **遺物** 総数８点を検出した。

H-25号住居跡〔第18図、図版６〕

位置 AV-24グリッド **形状** 南側が調査区外のため不明。 **規模** 長軸3.02m、短軸（1.20m）、確認面から床面までの壁高10～20cm。 **面積** (3.61㎡) **長軸方向** (N-88°-E) **床面** 褐色土層の平坦な床面である。 **柱穴** 西壁側に検出した。P-１長径30cm、短径27cm、深さ15cmのほぼ円形。 **カマド** 調査区外にあると思われる。 **遺物** 総数27点を検出した。図示した遺物は、№１、坏などがある。

H-26号住居跡〔第18図、図版６〕

位置 AU-23・24グリッド **形状** （長方形）と思われる。 **規模** 長軸（2.70m）、短軸2.46m、確認面から床面までの壁高11～16cm。 **面積** (6.29㎡) **長軸方向** N-４°-E **床面** 鈍い黄褐色土層の平坦な床面である。 **柱穴、土坑、カマド** 検出されなかった。 **遺物** 総数60点を検出した。

H-27号住居跡〔第18・19図、図版６〕

位置 AU-22・23～AV-22・23グリッド **形状** （方形）と思われる。 **規模** 長軸3.68m、短軸3.37m、確認面から床面までの壁高10～12cm。 **面積** (11.31㎡) **長軸方向** N-68°-E **床面** 鈍い黄褐色土層の堅緻な床面でほぼ平坦である。 **柱穴** 東側に２箇所検出した。P-１は、長径42cm、短径42cm、深さ27cmの円形、P-２長径46cm、短径42cm、深さ14cmの円形。 **カマド** 東壁側の南寄りに位置する。主軸方向 N-91°-E で全長100cm、最大幅53cm、焚口部幅32cm、焚口部にはカマド構築材の石が重なって検出された。 **遺物** 総数158点を検出した。図示した遺物は、カ№１、P-１№１、羽釜、土釜などがある。

H-28号住居跡〔第19図、図版７〕

位置 AT-21～AU-21グリッド **重複** W-41と重複し掘り込まれている。新旧関係はW-41が新しい。 **形状** 北側が調査区外にあるため不明。 **規模** 長軸2.53m、短軸(1.30m)、確認面から床面までの壁高15～17cm。 **面積** (3.

03㎡) **長軸方向** (N-91°-E) **床面** 褐色土層の平坦で堅緻な床面である。 **柱穴、土坑、カマド** 検出されなかった。 **遺物** 総数91点を検出した。

H-29号住居跡 〔第19図、図版7〕

位置 DF-15～DF-16グリッド **重複** W-50、51と重複し掘り込まれている。新旧関係はW-50、51が新しいと思われる。 **形状** (方形) と思われる。北側が一部調査区外となっている。 **規模** 長軸2.32m、短軸 (1.90m)、確認面から床面までの壁高13～15cm。 **面積** (3.75㎡) **長軸方向** (N-105°-E) **床面** 鈍い黄褐色土層の堅緻な床面である。 **柱穴、土坑** 検出されなかった。 **カマド** 東壁側中央南寄りに位置する。主軸方向 N-118°-E、全長50cm、焚口部幅(40cm)、W-51によって掘り込まれ、残存状態はよくない。 **遺物** 総数175点を検出したが小片の遺物がほとんどである。

H-30号住居跡 〔第19図、図版7〕

位置 AU-20～AV-20グリッド **形状** (方形) と思われる。南壁側は調査区外となっている。 **規模** 長軸2.68m、短軸 (2.10m)、確認面から床面までの壁高19～23cm。 **面積** (5.32㎡) **長軸方向** (N-89°-E) **床面** 褐色土層の堅緻な床面である。 **柱穴** 北東隅と西壁側に検出した。P-1は、長径30cm、短径25cm、深さ24cmの楕円形、P-2長径30cm、短径22cm、深さ20cmの楕円形。 **土坑** 東壁側に検出した。D-1長径51cm短径50cm、深さ38cmの円形である。 **カマド** 検出されなかった。 **遺物** 総数199点を検出した。図示した遺物は、№1、D-1№1、土錘、坏などがある。

H-31号住居跡 〔第20図、図版7〕

位置 AU-19グリッド **形状** (方形) と思われる。北側は調査区外である。 **規模** 長軸2.80m、短軸 (2.35m)、確認面から床面までの壁高20～27cm。 **面積** (6.15㎡) **長軸方向** (N-87°-E) **床面** 暗褐色土層の堅緻な床面である。 **柱穴** 南西隅に検出した。P-1長径31cm、短径27cm、深さ13cmの楕円形である。 **土坑** 南東隅に検出した。D-1長径67cm、短径61cm、深さ20cmの楕円形である。 **カマド** 東壁側中央南寄りに位置する。主軸方向 N-106°-E、全長70cm、最大幅40cm、焚口部幅29cm。 **遺物** 総数520点を検出した。図示した遺物は、№1～2、一括、高台付埦、坏などがある。

H-32号住居跡 〔第20図、図版7〕

位置 AU-18・19～AV-18・19グリッド **形状** 長方形を呈す。 **規模** 長軸3.32m、短軸2.51m、確認面から床面までの壁高9～13cm。 **面積** (8.04㎡) **長軸方向** N-4°-W **床面** 鈍い黄褐色土層の堅緻な床面である。 **柱穴** 北東側に検出した。P-1長径36cm、短径30cm、深さ30cmの楕円形である。 **土坑** 南東隅に検出した。D-1長径67cm、短径61cm、深さ20cmの楕円形である。 **カマド** 東壁側中央南寄りに位置する。主軸方向 N-106°-E、全長70cm、最大幅40cm、焚口部幅29cm。 **遺物** 総数520点を検出した。図示した遺物は、№1～2、一括、高台付埦、坏などがある。

H-33号住居跡 〔第20・21図、図版7〕

位置 AU-16・17グリッド **形状** (長方形) と思われる。北壁側は調査区外となっている。 **規模** 長軸3.70m、短軸 (2.40m)、確認面から床面までの壁高12～18cm。 **面積** (8.32㎡) **長軸方向** (N-88°-E) **床面** 鈍い黄褐色土層の床面で焼土、炭化物の含入が見られる。 **柱穴** 南西隅に検出した。P-1長径31cm、短径30cm、深さ28cmの円形である。 **土坑** 住居跡中央と西壁側に検出した。D-1は、長径77cm、短径76cm、深さ20cmの円形、D-2長径111cm、短径93cm、深さ21cmの楕円形である。 **カマド** 東壁側中央に位置する。主軸方向 N-92°-E、全長75cm、焚口部幅62cm。 **遺物** 総数613点を検出した。図示した遺物は、カ№1～3、羽釜、坏などがある。

H-34号住居跡 〔第21図、図版7〕

位置 AU-15・16～AV-15・16グリッド **重複** 南壁側でH-55号住居跡と重複し、一部は調査区外にある。新旧関係はH-55号住居跡が新しいと思われる。 **形状** (方形) と思われる。 **規模** 長軸 (2.86m)、短軸 (2.40m)、確認面から床面までの壁高16～20cm。 **面積** (6.82㎡) **長軸方向** (N-4°-E) **床面** 明黄褐色土層を掘り込んで整地し床面としている。 **柱穴、土坑、カマド** 検出されなかった。 **遺物** 総数8点を検出した。

H-35号住居跡〔第21・22・23図、図版7〕

位置 AU-15グリッド **重複** H-36号住居跡と南壁側で重複している。新旧関係はH-36号住居跡が古いと思われる。 **形状** (長方形)と思われる。北壁側は調査区外となっている。 **規模** 長軸3.32m、短軸(1.90m)、確認面から床面までの壁高25～28cm。 **面積** (5.95㎡) **長軸方向** N-92°-E **床面** 鈍い黄褐色土層の堅緻な床面である。 **柱穴** 南西隅に検出した。P-1長径41cm、短径40cm、深さ13cmの円形である。 **土坑** 南東寄りに並んで検出した。D-1は、長径(76cm)、短径59cm、深さ21cmの楕円形、D-2長径(100cm)、短径75cm、深さ22cmの楕円形である。位置的に貯蔵穴と思われる。 **カマド** 東壁側中央やや南寄りに位置する。主軸方向 N-98°-E、全長66cm、最大幅55cm、焚口部幅42cm。 **遺物** 総数725点を検出した。図示した遺物は、№1、カ№1、D-2№1、羽釜、坏、高台付塊などがある。

H-36号住居跡〔第21・22・23図、図版7〕

位置 AU-14・15～AV-15グリッド **重複** 北壁側でH-35号住居跡、西壁側でH-38号住居跡と重複し掘り込まれている。新旧関係はH-35、H-38号住居跡よりも古いと思われる。 **形状** (方形)と思われる。 **規模** 長軸(2.95m)、短軸(2.92m)、確認面から床面までの壁高16～18cm。 **面積** (9.03㎡) **長軸方向** (N-2°-W) **床面** 明黄褐色砂質土層を整地し床面としている。堅緻な床面で焼土、灰などの分布が見られる。 **土坑** 南東隅に検出した。D-1長径88cm、短径78cm、深さ31cmの楕円形、位置的に貯蔵穴と思われる。 **カマド** 東壁側中央付近に位置すると思われる。主軸方向 N-89°-E、全長80cm、焚口部幅50cm。 **遺物** 総数46点を検出した。図示した遺物は、№1～2、D-1№1、一括、高台付塊、甕などがある。

H-37号住居跡〔第22図、図版8〕

位置 AU-4・5～AV-5グリッド **重複** H-51号住居跡と東壁側で重複している。検出状況はH-51号住居跡のカマド範囲を確認し掘り下げて範囲を広げ、床面にH-37号住居跡のカマド範囲が検出されたことで重複を確認した。新旧関係は検出状況やカマドの残存状況からH-37号住居跡を整地してH-51号住居跡が作られたと考えられることからH-51号住居跡が新しいと思われる。 **形状** 長方形を呈する。 **規模** 長軸2.73m、短軸2.12m、確認面から床面までの壁高5～6cm。 **面積** (5.45㎡) **長軸方向** N-20°-W **床面** 明黄褐色土層の地山を整地し床面としている。 **柱穴** 南壁側に検出した。P-1は、長径34cm、短径33cm、深さ4cmの円形、P-2長径33cm、短径27cm、深さ14cmの楕円形である。 **カマド** 東壁側中央やや南寄りに位置する。主軸方向 N-76°-E、全長64cm、焚口部幅65cm、焚口部には横築石と思われる2個の石が残っていた。 **遺物** 総数39点を検出した。

H-38号住居跡〔第21・23図、図版7〕

位置 AU-14・15～AV-14・15グリッド **重複** H-36号住居跡と東壁側で重複し掘り込んでいる。新旧関係ついては、H-36号住居跡が古いと思われる。 **形状** 長方形を呈する。 **規模** 長軸3.35m、短軸2.70m、確認面から床面までの壁高20～25cm。 **面積** (8.40㎡) **長軸方向** N-92°-E **床面** 鈍い黄褐色土層の堅緻な床面である。 **柱穴、土坑** 検出されなかった。 **カマド** 東壁側中央南寄りに位置する。主軸方向 N-88°-E、全長80cm、焚口部幅40cmを測る。 **遺物** 総数463点を検出したが小片の遺物がほとんどである。

H-39号住居跡〔第23図、図版8〕

位置 AU-12・13～AV-12・13グリッド **重複** 西壁側でH-40号住居跡と重複する。新旧関係は掘り込まれていることから本住居跡が古いと思われる。 **形状** (長方形)と思われる。 **規模** 長軸(4.22m)、短軸3.24m、確認面から床面までの壁高15～18cm。 **面積** (13.68㎡) **長軸方向** (N-89°-E) **床面** 鈍い黄褐色土層の堅緻な床面である。 **土坑** 南東隅に検出した。D-1長径142cm、短径75cm、深さ46cmの楕円形、位置的に貯蔵穴と思われる。 **カマド** 東壁側中央やや南寄りに位置する。主軸方向 N-91°-E、全長69cm、焚口部幅82cm、右側の袖石が残っていた。 **遺物** 総数267点を検出した。図示した遺物は、№1、カ№1、D-1№1～2、高台付塊、甕、小型甕などがある。

H-40号住居跡〔第23・24図、図版8〕

位置 AU-12・13グリッド **重複** 東壁側でH-39号住居跡と重複する。新旧関係はH-39号住居跡が古いと思われ

る。 **形状** 方形を呈す。 **規模** 長軸2.94m、短軸2.92m、確認面から床面までの壁高20～30cm。 **面積** (8.25㎡) **長軸方向** N-74°-E **床面** 鈍い黄褐色土層の堅緻な床面である。 **柱穴** 北壁側に検出した。P-1長径52cm、短径46cm、深さ6cmの楕円形。 **カマド** 東壁側中央南寄りに位置する。主軸方向 N-79°-E、全長90cm、焚口部幅42cm、焚口部に石が1個検出されている。構築石かは不明である。 **遺物** 総数604点を検出した。図示した遺物は、カNo.1、高台付塊などがある。

H-41号住居跡〔第24・25図、図版8〕

位置 AU-10・11～AV-10・11グリッド **重複** 西側でH-42号住居跡と重複する。残存状況からH-42号住居跡が新しいと思われる。 **形状** 南側が調査区外にあり、西側は重複のため不明。 **規模** 長軸(2.60m)、短軸(1.90m)、確認面から床面までの壁高10cm。 **面積** (4.44㎡) **長軸方向** (N-7°-W) **床面** 暗褐色土層の堅緻な床面である。 **柱穴、土坑** 検出されなかった。 **カマド** 東壁側中央付近に位置する。主軸方向 N-81°-E、全長83cm、焚口部幅45cm、残存状態が良くなかった。 **遺物** 総数52点を検出した。図示した遺物は、No.1、坏などがある。

H-42号住居跡〔第24・25図、図版8〕

位置 AU-10～AV-10・11グリッド **重複** H-41号住居跡と東壁側が重複し掘り込んでいる。新旧関係はH-42号住居跡が新しいと思われる。 **形状**（方形）と思われる。南壁側は調査区外にある。 **規模** 長軸2.80m、短軸(2.40m)、確認面から床面までの壁高20～22cm。 **面積** (6.58㎡) **長軸方向** N-86°-E **床面** 明黄褐色土層を整地して床面としている。 **柱穴** 北東隅と西壁側に検出した。P-1は、長径23cm、短径22cm、深さ7cmの円形、P-2長径53cm、短径42cm、深さ10cmの楕円形。 **土坑** 西壁側に検出した。D-1長径70cm、短径66cm、深さ24cmのほぼ円形である。 **カマド** 東壁側中央に位置する。主軸方向 N-78°-E、全長75cm、焚口部幅30cmを測る。 **遺物** 総数72点を検出した。

H-43号住居跡〔第25図、図版8〕

位置 AU-10グリッド **形状**（方形）と思われる。北壁側は調査区外にある。 **規模** 長軸3.20m、短軸(1.57m)、確認面から床面までの壁高15～20cm。 **面積** (5.25㎡) **長軸方向** N-86°-E **床面** 褐色土層の堅緻な床面である。 **柱穴** 南東隅に検出した。P-1長径40cm、短径35cm、深さ24cmの楕円形。 **土坑** 中央に検出した。D-1長径132cm、短径(80cm)、深さ15cmの楕円形である。 **カマド** 東壁側中央に位置し北壁側は一部調査区外にある。主軸方向 N-88°-E、全長102cm、焚口部幅(60cm)、カマドの構築石は3個残っていた。これは袖石、支脚石と思われる。 **遺物** 総数796点を検出した。図示した遺物は、No.1、カNo.1、D-1No.1～2、P-1No.1、坏、小型台付甕、高台付塊などがある。

H-44号住居跡〔第25・26図、図版8〕

位置 AU-9・10～AV-9・10グリッド **形状** 長方形を呈す。 **規模** 長軸3.62m、短軸3.11m、確認面から床面までの壁高16～22cm。 **面積** (10.94㎡) **長軸方向** N-5°-E **床面** 褐色土層の堅緻な床面である。 **柱穴** 北壁側に検出した。P-1は、長径35cm、短径34cm、深さ7cmの円形、P-2長径37cm、短径34cm、深さ7cmのほぼ円形。 **カマド** 東壁側中央やや南寄りに位置する。主軸方向 N-91°-E、全長57cm、焚口部幅71cm、右袖側に構築石が1個残っていた。 **遺物** 総数525点を検出した。図示した遺物は、No.1、一括、坏などがある。

H-45号住居跡〔第26図、図版8〕

位置 DO-24、EO-0～PP-24、E0-0グリッド **重複** 南壁側でH-46号住居跡と重複する。新旧関係はH-46号住居跡が掘り込まれていることから古いと思われる。 **形状**（長方形）と思われる。北壁側は一部調査区外にある。 **規模** 長軸(3.42m)、短軸2.61m、確認面から床面までの壁高26cm。 **面積** (8.58㎡) **長軸方向** N-6°-W **床面** 鈍い黄褐色土層で焼土、炭化物を含む堅緻な床面である。 **柱穴** 南西隅に検出した。P-1長径43cm、短径33cm、深さ13cmの楕円形。 **カマド** 東壁側中央付近に位置する。主軸方向 N-80°-E、全長109cm、焚口部幅69cmを測る。 **遺物** 総数1,592点を検出した。図示した遺物は、No.1、カNo.1～3、砥石、甕、坏などがある。

H-46号住居跡〔第26図、図版8〕

位置 EO-0～DP-24、EP-0グリッド **重複** 北西壁側でH-45号住居跡と重複する。新旧関係はH-46号住居跡が古いと思われる。また、南壁側は一部調査区外である。 **形状**（方形）と思われる。 **規模** 長軸（2.79m）、短軸2.65m、確認面から床面までの壁高27～30cm。 **面積**（6.69㎡） **長軸方向** N-2°-W **床面** 鈍い黄褐色土層の堅緻な床面である。 **柱穴** 西壁側に検出した。P-1長径36cm、短径33cm、深さ8cmのほぼ円形。 **土坑** 南壁側に検出した。一部調査区外となっている。D-1長径73cm、短径（65cm）、深さ12cmの楕円形である。 **カマド** 東壁側中央に位置する。主軸方向 N-70°-E、全長75cm、焚口部幅64cmを測る。 **遺物** 総数716点を検出した。図示した遺物は、№1～4、D-1№1、坏、高台付埦、碪石、紡錘車などがある。

H-47号住居跡〔第27図、図版9〕

位置 AU-7・8～AV-7・8グリッド **形状** 方形を呈す。 **規模** 長軸3.42m、短軸3.26m、確認面から床面までの壁高20～24cm。 **面積**（10.64㎡） **長軸方向** N-5°-W **床面** 褐色土層の堅緻な床面である。 **柱穴** 北西壁側に検出した。P-1長径36cm、短径34cm、深さ7cmのほぼ円形。 **土坑** カマド付近と北壁側に検出した。D-1は、長径74cm、短径73cm、深さ18cmの楕円形。D-2長径83cm、短径67cm、深さ47cmの楕円形である。 **カマド** 東壁側中央やや南寄りに位置する。主軸方向 N-100°-E、全長72cm、焚口部幅43cmを測る。両袖石が残っていた。 **遺物** 総数796点を検出した。図示した遺物は、カ№1、坏などがある。

H-48号住居跡〔第27図、図版9〕

位置 AV-7・8～AW-7・8グリッド **形状** 長方形を呈す。 **規模** 長軸3.10m、短軸2.35m、確認面から床面までの壁高16～17cm。 **面積**（7.22㎡） **長軸方向** N-4°-W **床面** 鈍い黄褐色土層を整地して床面としている。 **柱穴** カマドの右袖側と南西隅に3箇所検出した。P-1は、長径46cm、短径42cm、深さ20cmのほぼ円形、P-2長径31cm、短径28cm、深さ15cmのほぼ円形、P-3長径45cm、短径43cm、深さ14cmのほぼ円形。 **カマド** 東壁側中央やや南寄りに位置する。主軸方向 N-85°-E、全長71cm、焚口部幅40cmを測り、壁面には構築材と思われる石が残っていた。 **遺物** 総数239点を検出した。図示した遺物は、№1～4、D-1№1、高台付皿、埦、坏などがある。

H-49号住居跡〔第28図、図版9〕

位置 AV-6・7グリッド **形状** 長方形を呈し、南西側は一部調査区外である。 **規模** 長軸2.94m、短軸2.62m、確認面から床面までの壁高8～10cm。 **面積**（7.38㎡） **長軸方向** N-1°-W **床面** 鈍い黄褐色土層の堅緻な床面である。 **柱穴** 北西隅と南壁側に検出した。P-1は、長径50cm、短径49cm、深さ12cmの円形、P-2長径42cm、短径34cm、深さ18cmの楕円形。 **カマド** 東壁側南寄りに位置する。主軸方向 N-95°-E、全長64cm、焚口部幅50cmを測り、右袖側に構築材と思われる石が残っていた。 **遺物** 総数158点を検出した。図示した遺物は、№1、土錘などがある。

H-50号住居跡〔第28図、図版9〕

位置 AU-5・6～AV-5・6グリッド **形状** 方形を呈す。 **規模** 長軸3.20m、短軸2.20m、確認面から床面までの壁高10～14cm。 **面積**（6.55㎡） **長軸方向** N-3°-E **床面** 鈍い黄褐色土層の堅緻な床面である。 **柱穴** 北西、南西隅とカマド右袖付近に検出した。P-1は、長径44cm、短径42cm、深さ10cmのほぼ円形、P-2長径42cm、短径40cm、深さ16cmのほぼ円形、P-3長径42cm、短径38cm、深さ28cmの楕円形。 **カマド** 東壁側中央やや南寄りに位置する。主軸方向 N-83°-E、全長70cm、焚口部幅41cmを測る。 **遺物** 総数136点を検出した。図示した遺物は、№1、高台付埦などがある。

H-51号住居跡〔第22・29図、図版8〕

位置 AU-5グリッド **重複** H-37号住居跡と西壁側で重複する。新旧関係は検出状況からH-37号住居跡が古いと思われる。 **形状**（長方形）と思われる。北壁側は一部調査区外である。 **規模** 長軸（3.22m）、短軸3.10m、確認面から床面までの壁高10～14cm。 **面積**（8.38㎡） **長軸方向** N-5°-W **床面** 鈍い黄褐色土層を整地した床面である。 **柱穴、土坑** 検出されなかった。 **カマド** 東壁側中央付近に位置する。主軸方向 N-105°-E、全長67cm、焚口部幅42cmである。両袖石、支脚石の他にも構築石が残る。 **遺物** 総数138点を検出した。図示した遺物は、

№1、一括、高台付壺などがある。

H-52号住居跡〔第29図、図版9〕

位置 AW-8・9グリッド **形状** 方形を呈し、東壁側は一部調査区外である。 **規模** 長軸2.55m、短軸2.30m、確認面から床面までの壁高19～23cm。 **面積** (5.08㎡) **長軸方向** N-6°-W **床面** 鈍い黄褐色土層の平坦な床面である。 **柱穴、土坑** 検出されなかった。 **カマド** 東壁側の調査区外にあると思われる。 **遺物** 総数91点を検出した。図示した遺物は、№1、坏などがある。

H-53号住居跡〔第29・30図、図版9〕

位置 AW-8～AX-7・8グリッド **重複** 東壁側でH-56号住居跡と重複し掘り込まれている。新旧関係はH-56号住居跡が新しいと思われる。 **形状** (方形) と思われる。 **規模** 長軸3.49m、短軸3.00m、確認面から床面までの壁高26～27cm。 **面積** (11.37㎡) **長軸方向** N-3°-E **床面** 鈍い黄褐色土層のやや凹凸した床面である。 **柱穴、土坑** 検出されなかった。 **カマド** 南壁側の西寄りに位置する(南向きカマド)。主軸方向 E-100°-S、全長91cm、焚口部幅50cm、右袖石と支脚石が残り他に数点検出された。 **遺物** 総数152点を検出した。図示した遺物は、№1～3、高台付壺、甕などがある。

H-54号住居跡〔第17・18図、図版6〕

位置 AU-24・25グリッド **重複** H-24号住居跡と東壁側で重複する。新旧関係は残存状態などから、H-24号住居跡が古いと思われる。 **形状** (長方形) と思われる。北壁側は一部調査区外にあり不明である。 **規模** 長軸(3.26m)、短軸2.57m、確認面から床面までの壁高20～26cm。 **面積** (6.93㎡) **長軸方向** N-22°-W **床面** 鈍い黄褐色土層の平坦で堅緻な床面である。 **柱穴** 東壁、西壁側と中央付近に検出した。P-1は、長径45cm、短径40cm、深さ26cmの楕円形、P-2長径41cm、短径40cm、深さ25cmの円形、P-3長径48cm、短径41cm、深さ24cmの楕円形。 **カマド** 東壁側の南東隅に位置し一部H-24号住居跡カマドと重複する。主軸方向 N-82°-E、全長98cm、焚口部幅45cmを測る。両袖石と支脚石が残っていた。 **遺物** 総数87点を検出した。

H-55号住居跡〔第21図、図版7〕

位置 AV-15・16グリッド **重複** 北壁、西壁側でH-34号住居跡と重複する。新旧関係は残存状態などから、H-34号住居跡が古いと思われる。 **形状** 南壁側が調査区外のため不明。 **規模** 長軸3.02m、短軸(1.50m)、確認面から床面までの壁高20～25cm。 **面積** (3.21㎡) **長軸方向** (N-75°-E) **床面** 暗褐色土層の堅緻な床面である。 **柱穴** 北東隅に検出した。P-1長径35cm、短径34cm、深さ9cmの円形である。 **カマド** 調査区外にあると思われるが不明。 **遺物** 総数25点を検出した。

H-56号住居跡〔第29・30図、図版9〕

位置 AW-8～AX-8・9グリッド **重複** 北壁、西壁側でH-53号住居跡と重複する。新旧関係はH-53号住居跡を掘り込んでいるので、本住居跡が新しいと思われる。 **形状** 隅丸方形を呈す。 **規模** 長軸3.10m、短軸2.70m、確認面から床面までの壁高32～35cm。 **面積** (7.86㎡) **長軸方向** N-7°-W **床面** 鈍い黄褐色土層の平坦で堅緻な床面である。 **柱穴、土坑** 検出されなかった。 **カマド** 南東隅に検出された(コーナーカマド)。主軸方向 E-28°-S、全長79cm、焚口部幅56cmを測る。 **遺物** 総数674点を検出した。図示した遺物は、№1～3、D-1№1、高台付壺、甕、鉄製品などがある。

H-57号住居跡〔第30図、図版9〕

位置 DF-21グリッド **形状** (方形) と思われる。北壁側が一部調査区外にある。 **規模** 長軸2.50m、短軸(1.57m)、確認面から床面までの壁高23～27cm。 **面積** (3.98㎡) **長軸方向** (N-93°-E) **床面** 暗褐色土層の堅緻な床面である。 **柱穴** 南西、南東隅に検出された。P-1は、長径31cm、短径27cm、深さ6cmの楕円形、P-2長径42cm、短径36cm、深さ22cmの楕円形である。 **カマド** 東壁側に位置する。主軸方向 N-93°-E、全長76cm、最大幅77cm、焚口部幅39cm、燃焼部には、支脚石と思われる2個の石が残っていた。 **遺物** 総数204点を検出した。図示した遺物は、№1～2、カ№1、高台付壺、小型台付甕、羽釜などがある。

H-58号住居跡〔第31図、図版10〕

位置 DF-18・19グリッド **重複** W-49と重複し掘り込まれている。新旧関係はW-49が新しいと思われる。**形状**（方形）と思われる。北壁側が一部調査区外にある。 **規模** 長軸3.60m、短軸3.34m、確認面から床面までの壁高30～36cm。 **面積**（11.99㎡） **長軸方向** （N-91°-E） **床面** 鈍い黄褐色土層の平坦で堅緻な床面である。 **柱穴** 南西、南東隅に検出された。P-1は、長径44cm、短径31cm、深さ16cmの楕円形、P-2長径31cm、短径26cm、深さ10cmの楕円形である。 **カマド** 東壁側中央に位置する。主軸方向 N-96°-E、全長72cm、焚口部幅59cmを測る。 **遺物** 総数1319点を検出した。図示した遺物は、№1、坏などがある。

H-59号住居跡〔第31図、図版10〕

位置 DF-14・15～DG-14・15グリッド **重複** W-50・51と重複し東壁、西壁が掘り込まれている。新旧関係はW-50・51が新しいと思われる。 **形状**（方形）と思われる。 **規模** 長軸3.00m、短軸2.90m、確認面から床面までの壁高13～20cm。 **面積**（7.88㎡） **長軸方向** N-15°-W **床面** 鈍い黄褐色土層の平坦で堅緻な床面である。 **柱穴** 北西、南西隅と南壁中央付近に検出した。P-1は、長径32cm、短径29cm、深さ10cmのほぼ円形、P-2長径35cm、短径32cm、深さ8cmの楕円形、P-3長径44cm、短径32cm、深さ10cmの楕円形である。 **カマド** 東壁側中央南寄りに位置する。主軸方向 N-86°-E、全長76cm、焚口部幅49cmを測る。 **遺物** 総数11点を検出した。

H-60号住居跡〔第32図、図版10〕

位置 EE-1・2～EF-1・2グリッド **形状**（方形）と思われる。北壁側は一部調査区外にある。 **規模** 長軸2.56m、短軸（2.30m）、確認面から床面までの壁高20～27cm。 **面積**（5.96㎡） **長軸方向**（N-87°-E） **床面** 暗褐色土層の堅緻な床面である。 **柱穴** 西壁側に検出した。P-1は、長径53cm、短径32cm、深さ14cmの楕円形、P-2長径41cm、短径40cm、深さ10cmの円形である。 **カマド** 東壁側中央に位置する。主軸方向 N-93°-E、全長112cm、焚口部幅47cmを測る。 **遺物** 総数256点を検出した。図示した遺物は、№1、坏などがある。

H-61号住居跡〔第32図、図版10〕

位置 EF・G-0グリッド **形状** 方形を呈す。 **規模** 長軸2.96m、短軸2.86m、確認面から床面までの壁高20～23cm。 **面積**（7.99㎡） **長軸方向** N-87°-E **床面** 鈍い黄褐色土層の平坦な床面である。 **柱穴** 北壁側に検出された。P-1は、長径36cm、短径29cm、深さ17cmの楕円形、P-2長径35cm、短径32cm、深さ35cmの円形である。 **カマド** 東壁側中央やや南寄りに位置する。主軸方向 N-88°-E、全長71cm、焚口部幅46cmを測る。 **遺物** 総数212点を検出したが小片の遺物がほとんどである。

H-62号住居跡〔第33図、図版10〕

位置 DF-22グリッド **重複** カマド部分とW-47が重複する。新旧関係はW-47が新しいと思われる。 **形状**（方形）と思われる。北壁側は調査区外となっている。 **規模** 長軸2.00m、短軸（1.85m）、確認面から床面までの壁高18～20cm。 **面積**（3.83㎡） **長軸方向** N-91°-E **床面** 鈍い黄褐色土層の平坦で堅緻な床面である。 **柱穴、土坑** 検出されなかった。 **カマド** 東壁側中央やや南寄りに位置する。燃焼部の壁面に構築材と思われる石が残る。主軸方向 N-88°-E、全長72cm、焚口部幅64cmを測る。 **遺物** 総数69点を検出した。

H-63号住居跡〔第33図、図版10〕

位置 DF-16・17～DG-16・17グリッド **形状**（方形）と思われる。南壁側は一部調査区外にある。 **規模** 長軸3.65m、短軸（2.10m）、確認面から床面までの壁高11～13cm。 **面積**（7.75㎡） **長軸方向**（N-91°-E） **床面** 暗黄褐色土層の堅緻な床面である。 **柱穴** 検出されなかった。 **カマド** 東壁側中央付近に位置する。主軸方向 N-91°-E、全長（90cm）、焚口部幅（65cm）を測る。 **遺物** 総数717点を検出した。図示した遺物は、№1～2、甕、坏などがある。

H-64号住居跡〔第33・34図、図版10・11〕

位置 DF-16グリッド **重複** W-50・51と重複し、壁面、床面が掘り込まれている。新旧関係は、W-50・51が新しいと思われる。 **形状**（長方形）と思われる。北壁側は調査区外にある。 **規模** 長軸（3.29m）、短軸2.32m、

確認面から床面までの壁高9～10cm。 **面積** (7.34㎡) **長軸方向** N-5°-W **床面** 鈍い黄褐色土層の堅緻な床面である。 **柱穴、土坑** 検出されなかった。 **カマド** 東壁側中央やや南寄りに位置する。主軸方向 N-93°-E、全長77cm、焚口部幅52cmを測り、右袖石と支脚石と思われる石が残っていた。 **遺物** 総数447点を検出した。図示した遺物は、№1、カ一括、坏などがある。

H-65号住居跡〔第34図、図版11〕

位置 BV-3・4グリッド **形状** カマドのみ検出した。南壁側が調査区外にあるため全体は不明。 **規模** 長軸(2.85m)、短軸(2.00m)、確認面から床面までの壁高7～10cm。 **面積** (3.83㎡) **長軸方向** (N-69°-E) **床面** 暗褐色土層の範囲が床面と思われる。 **土坑** 住居跡範囲の中央付近に検出した。D-1長径72cm、短径61cm、深さ17cmの楕円形である。 **カマド** 東壁側中央に位置し、南側半分は調査区外にある。主軸方向(N-70°-E)、全長(84cm)左袖側に石を検出、カマドの構築材かは不明である。残存状況は良くなかった。 **遺物** 総数21点を検出した。

H-66号住居跡〔第34図、図版11〕

位置 DO-22・23～DP-22・23グリッド **重複** W-64・65と重複し、カマドと住居跡範囲を掘り込んでいる。新旧関係はW-64・65が新しいと思われる。 **形状** (方形) と思われる。南壁側は一部調査区外である。 **規模** 長軸3.53m、短軸(3.22m)、確認面から床面までの壁高31～34cm。 **面積** (9.74㎡) **長軸方向** N-74°-E **床面** 鈍い黄褐色土層の堅緻な床面である。 **柱穴** 住居跡の各コーナーに検出した。P-1は、長径34cm、短径33cm、深さ20cmのほぼ円形、P-2長径22cm、短径18cm、深さ6cmの楕円形、P-3長径38cm、短径33cm、深さ10cmの楕円形、P-4長径50cm、短径44cm、深さ40cmの楕円形で、中段より下は方形状の掘り込みとなっている。 **カマド** 東壁側中央に位置し、一部溝に切られている。主軸方向 N-76°-E、全長86cm、焚口部幅60cmを測る。 **遺物** 総数951点を検出した。図示した遺物は、№1～3、甕、坏などがある。

3．As-B軽石層下水田跡〔第41・42図、図版11〕

調査区、東側のB区内と西側D区内に2箇所検出した。B区では、現地表面から150～155cm程下に水田が検出され、5～10cm程のAs-B軽石で覆われていた。全体に土地改良による機械痕やカクラン等で水田面や畦畔等に窪みが見られ平坦な面は少なかった。

また、D区は現地表面から20～29cm程下で3～6cmのAs-B軽石で覆われていた。全体に現耕作土から浅い位置にあるため、田面、畦畔等は圧縮されていて堅く締まっていた。遺物は、破片がわずかに検出されている。

(1) 水田の地形

水田跡は、As-B軽石で埋まった大小の溝と平安時代の住居跡を挟んだ両側に位置する。B区では、後世のカクランや土地改良などにより完全な地形は不明だが、畦畔を検出したところでは、標高76.40～76.45mを測り5cm程の比高差となっている。

また、D区では道路建設範囲の南西隅から北側へ17m、東側へ47mの範囲にAs-B軽石の堆積があり、その範囲に東西方向の畦畔が、2本検出された。標高は3号畦畔を挟んだ北側の4号水田面で76.40m、南側5号水田面で76.36m、6号水田面で76.30mを測り、さらに東方向の水田範囲では、76.25m、76.20mの勾配が見られる。全体に北西から南東方向へ住居跡範囲に添った勾配となっている。

(2) 畦畔と水田区画

検出した畦畔は、B区で南北方向に2本、D区で東西方向に2本の計4本を検出した。方位は、東西畦畔でN-83°～86°-E、南北畦畔ではN-7°-EとN-18°-Wを測る。全体に畦畔は圧縮されているが、断面形状は扁平な台形状を呈する。また、水田区画は、畦畔が部分検出のため区画全体は不明である。水口等の配水施設は、検出されなかった。

(3) 水田面の状況

B区、D区で検出した水田範囲は、小さい凸凹や小穴などは検出されたが、人の足跡と思われる窪みなど、はっ

きりとしたものは検出されなかった。水田耕作土は、暗褐色土層で軽石を含んでいる。厚さは12cm程の堆積で下層は、粘性、締まりのある黒褐色土層、灰褐色土層が堆積し、水田の水持ちを良好なものにしていると思われる。

水田跡計測表

水田番号	面積（㎡）	畦畔の長さ（m）					備考
		東畦	西畦	南畦	北畦	形状	
1	—	(5.95)	—	—	—	不明	南側カクランされている
2	(39.00)	(3.35)	(5.95)	—	—	〃	〃
3	—	—	(3.35)	—	—	〃	〃
4	—	—	—	(5.93)	—	〃	北側カクランされている
5	(35.51)	—	—	(7.80)	(5.93)	〃	小穴あり
6	—	—	—	—	(7.80)	〃	小穴あり

1　畦畔の長さは、S＝1/40図上におけるセンター間の距離。
2　（ ）は、推定値、検出値を表す。

畦畔計測表

No.	所在グリッド	上端幅(cm)	下端幅(cm)	高さ(cm)	方位	方向	備考
1	BK-17 ～BL・M-16・17	(30～43)	(52～80)	1～4	N-7°-E	南北	中央部分はカクランされている
2	BK・L-18	(32～67)	(91～104)	3～7	N-19°-W	南北	南側がカクランにより不明
3	DM・N-7・8・9	23～35	50～58	1～2	N-86°-E	東西	現耕作土から浅い所にあるため、圧縮されていて堅い
4	DO-7・8・9	20～38	50～74	2～5	N-89°-E N-78°-E	東西	現耕作土から浅い所にあるため、圧縮されていて堅い

1　（ ）は、検出値を表す。

4．溝　跡（平安時代・中世・近世・近代以降）

調査区全体に計75条の溝跡を検出した。道路部分（幅6m）のため、溝の一部分に当たるものがほとんどであるが、溝の規模や埋土状況、方向性などから溝と溝のつながりが推測できるものも数条検出されている。また、住居跡とほぼ同時期と考えられる溝やAs-B軽石の堆積状況が同じ溝、さらに平安時代の住居跡を掘り込んでいるものや旧耕作土に埋土された近世の溝と土地改良前まで使用されていた近代頃の新しい溝などがある。

ここで特徴的な溝やつながりが考えられる溝を概観すると、まずAs-B軽石で埋まった溝が8条検出されている。調査区の中央付近から東側の調査区にかけて位置し、規模に違いが見られる。また、それぞれのつながりを見ると大溝に当たる北側の中央に位置するW-10-2（以下規模については溝計測表参照）と調査区中央に位置するW-10-1、調査区の南側で中央やや東寄りに位置するW-20（ほとんど調査区外にあり前田V遺跡内にあるAs-B軽石で埋まった溝の左岸側になる）とが埋土状況、方向性、規模などから同じと考えられる。溝底勾配も北側（W-10-2）の溝底の平均標高75.20mから中央（W-10-1）の溝底の平均標高75.05mへと15cmの勾配があり、さらに南側のW-20へ調査区をななめに横切ってつながると推測される。さらに上記の溝に並行するように縁辺部を北側からW-5-2と調査区中央に位置するW-5-1、東側調査区の南寄りに位置するW-19（W-18と重複する）と、そこから「く」の字に曲がって調査区東側で南寄りに位置するW-29は、埋土状況、方向性などから同じ溝と考えられる。溝底勾配も平均標高で見るとW-5-2とW-29では、わずかに1cm程の差が見られ、北から南東方向へ緩やかな勾配が見られる。また、調査区東側で北壁中央付近に位置するW-9もAs-B軽石で埋まった溝で、南北方向に延び、上記のAs-B軽石で埋まった溝との合流が考えられるが、他は調査区外のため不明である。いずれも状況から平安時代に存在した溝と思われ、他の住居跡、水田跡とのつながりが考えられる。他に平安時代の住居跡と重複している溝も11条程検出されている。その中でW-4はH-7号住居跡を掘り込んでAs-B軽石を含む土層で埋まっている。また、W-4の北側にあるW-44もほぼ同じ規模で、方向もほぼ一致することから同じ溝

と思われ、溝底の標高も北側のW-44から南側のW-4へ13cm程の高低差が見られる。時期も住居跡より新しいことで、中世頃の溝と思われる。他の住居跡を切っている溝は、埋土状況などから中世～近代以降に当たると思われる。また、W-22、W-31の土層断面には、2段状の掘り込みが見られ、薬研状の掘り込みとなっている。埋土もW-22、W-31にはAs-B軽石の含入が見られ、W-31の底には流水していたことがわかる砂層がラミナ状に堆積している状況も見られた。時期も土層の堆積状況や形状から中世頃の溝と思われる。

その他の溝は、埋土状況から旧耕作土下の掘り込みや客土で埋まっており、現代の遺物などが含まれる状況から土地改良前まで使用していた、近世～近代以降の溝と思われる。その中で、W-37、W-8-2、W-8-1などは、近代頃の溝で、規模や埋土状況、方向からも同じ溝と言える。他にも、W-3-2、W-3-1、W-18、W-14、W-23なども土地改良前の同じ溝と考えられる。

また、検出した上記の溝全体で推測すると、時代を越えて付近の河川からの水利用が窺われるとともに生産、生活の場であったと考えられる。遺物は、W-17№1古銭、W-41№1～2土錘、大甕片、W-53№1～2緑釉陶器高台付皿、高台付埦、W-53一括（1）、（2）高台付埦などを検出し図示した。

（ここでは、特徴的な溝や同じ溝と思われるものについて述べた。その他の溝は、一表に記載し報告する。）

溝　計　測　表

（　）は推定値、N-S-W-Eは方位を示す。

№	溝の位置（グリット）	上幅 下幅（cm）	長さ（m）	深さ（cm）	底の標高（m）	流水方向	備考
W-1	BH-5	26～34 13～20	1.84	4～8	SW76.40 NE76.39	SW-NE	D-2に切られている中世以降の溝。
W-2	BM-9・10	26～33 13～20	3.65	6～10	SW76.52 NE76.49	SW-NE	NE側で途切れる中世以降の溝。
W-3-1	BM・N・O-6 ～BN・O・P-7	570～670 140～220	5.00	36～55	W75.87 E75.83	W-E	土地改良前の新しい溝。近代。
W-3-2	BL-3・4 ～BM-3・4	245～260 50～72	6.70	79～81	NW75.41 SE75.33	NW-SE	W-3-1と同じ。
W-4	BO・P-6 ～BO・P-7	62～75 40～50	5.76	20～24	SE75.90 NW75.89	ほぼ同じ	H-7を切っている。As-Bブロックが入る中世頃の溝。
W-5-1	BQ-6 ～BS-6・7	110～210 40～80	9.00	30～32	SE75.65 NW75.75	SE-NW	As-B軽石で埋まっている平安時代の溝。
W-5-2	BL-0・1 ～BM-1・2	125～182 55～85	8.40	32～37	S75.83 N75.73	S-N	As-B軽石で埋まっている平安時代の溝。
W-6	BU-6・7 ～BV-6・7	120～125 30～32	4.85	23～27	NE75.75 SW75.53	NE-SW	土地改良前の新しい溝。
W-7	EC-6・7	63～75 25～40	4.00	40～50	E75.60 W75.52	E-W	中世以降の溝。
W-8-1	EC・D-6 ～ED・E-7	240～280 20～40	(10.60)	31～32	NW75.64 SE75.56	NW-SE	土地改良前の新しい溝。
W-8-2	BT・U・V-1	165～250 50～60	6.00	32～33	N75.85 S75.80	N-S	土地改良前の新しい溝。
W-9	BL-13・14 ～BO-13・14	420～440 55～85	(14.60)	65～67	N75.69 S75.65	N-S	As-B軽石で埋まった平安時代の大溝。
W-10-1	BR・V-6 ～BT・EA-7	(7.75) (4.93)	(27.00)	80～82	NW75.05 SE75.05	NW-SE	As-B軽石で埋まった平安時代の大溝。
W-10-2	AL-23・24 BL-0～AN-24 AM-23・24 BM-0・1	720～830 430～556	(12.00)	76～77	N75.22 S75.18	N-S	As-B軽石で埋まった平安時代の大溝。
W-11	EE・F-6	22～38 12～24	3.90	3～7	E76.00 S76.00	—	中世以降。
W-12	EE・F-7	27～35 18～20	2.65	8～15	S75.95 NE75.87	S-NE	W-8に切られている中世以降の溝。
W-13	BT-14 ～BS・T-15	86～100 22～38	4.26	14～24	E76.13 W76.09	E-W	土地改良前の新しい溝。近代。
W-14	BT・U-13 ～BW・X-15	130～200 30～80	12.65	19～29	SE75.74 NW75.66	SE-NW	土地改良前の新しい溝。近代。

No.	溝の位置 (グリット)	上幅 下幅 (cm)	長 さ (m)	深 さ (cm)	底の標高 (m)	流水方向	備　　考
W-15	BW-14 ～BY-15	50～97 13～56	8.83	13～24	NW75.93 SE75.77	NW-SE	土地改良前の新しい溝。
W-16	BW-14 ～BY-15	75～138 15～40	11.35	15～42	NW75.74 SE75.52	NW-SE	中世以降の溝。
W-17	BY-14 ～EA-15	(60～130) (13～36)	6.68	(15～27)	NW75.69 SE75.55	NW-SE	中世以降の溝。
W-18	BY・EA-14 ～EA・B・C-15	274～380 (55～110)	8.30	51～55	NW75.32 SE75.30	NW-SE	土地改良前の新しい溝。
W-19	EA-14 ～EB・C-15	86～120 20～27	5.70	17～25	NW75.74 SE75.68	NW-SE	W-18と重複し、As-B軽石で埋まっている平安時代の溝。
W-20	EE-13・14 ～EF-13・14	— —	— —	—	— —	—	大部分が調査区外に位置し、As-B軽石で埋まっている平安時代の溝。
W-21	BK・M-21	120～135 29～68	5.75	20～22	S76.18 N76.17	—	土地改良前の新しい溝。
W-22	BV-22 ～BU・V-24	100～150 10～15	8.26	16～31	W75.93 E75.91	W-E	2段に掘られていて、薬研状、中世頃。
W-23	EA-22・23 ～EB-23	120～260 20～78	5.75	43～55	W75.63 E75.62	W-E	土地改良前の新しい溝。
W-24	CV・W-2 ～CW-5	68～85 20～28	14.85	27～34	E75.84 W75.80	E-W	W-25と合流する、中世以降。
W-25	CV-1・2 ～CW-1・2	65～90 29～80	5.70	13～21	N75.87 S75.79	N-S	中世以降。
W-26	CV-1 ～CU-5	15～20 8～12	16.90	4～5	E76.15 W76.08	E-W	中世以降、細長い溝。
W-27	CV-1 ～CW-1	55～70 25～42	5.78	17～24	N75.90 S75.88	N-S	土地改良前の新しい溝。近代以降。
W-28	EB-22・23	87～100 27～43	5.70	32～40	W75.57 E75.56	W-E	W-33と東側で合流する。中世頃。
W-29	EB・C-22・23	110～127 21～30	5.75	35～39	W75.77 E75.77	—	As-B軽石で埋まった平安時代の溝。
W-30	ED-22・23 ～EE-22	11～23 6～13	(8.50)	4～8	SW76.00 NE75.94	SW-NE	W-31と平行に位置する。中世以降。
W-31	ED-23 ～EE-21	94～143 18～32	(11.70)	30～50	NE77.50 SW75.47	NE-SW	薬研状に掘られている。中世頃。
W-32	AL・M-21・22	32～71 18～40	7.65	7～25	N76.10 S75.94	N-S	H-11を掘り込んでいる。中世以降。
W-33	EB-22・23	102～117 50～62	5.62	49～55	W75.65 E75.56	W-E	W-28と合流する。中世以降。
W-34	CU-0 ～CW-1	38～52 13～28	6.55	10～12	N75.97 S75.96	N-S	上層にAs-B軽石層が部分的にある。その下の溝で平安時代頃の溝。
W-35	CW-0・1	24～33 10～22	2.60	5～8	S76.03 W76.01	S-W	W-34と同じ平安時代頃の溝。
W-36	CV-1 ～CW-1	15～27 7～11	(5.79)	5	N76.00 S75.91	N-S	中世以降。
W-37	AL・M-20・21	180～210 68～100	6.75	39～43	N76.02 S75.89	N-S	H-12を切っている。土地改良前の新しい溝。
W-38	AL・M-18	105～120 18～60	6.50	24～30	N76.36 S76.19	N-S	H-14を掘り込んでいる。近世。
W-39	AL-5	18～24 8～15	3.82	4～8	N76.60 S76.56	N-S	土地改良前の新しい溝。近世以降。
W-40	AL-4	25～40 12～18	2.48	9～15	W76.55 N76.53	W-N	土地改良前の新しい溝。近世以降。
W-41	AU-21 ～AV-21	50～78 13～33	(5.88)	25～35	N76.17 S76.05	N-S	H-28を切っている。W-42と重複する中世以降。
W-42	AU-20・21 ～AV-21	46～113 (20～75)	5.90	24～35	N76.25 S76.07	N-S	W-41を切っている。近世以降。
W-43	AU-17・18 ～AV-18	45～55 10～20	6.36	15～22	S76.30 N76.29	S-N	近世以降。

No.	溝の位置（グリット）	上幅 下幅（cm）	長さ（m）	深さ（cm）	底の標高（m）	流水方向	備考
W-44	BL-1 ～BM-2	62～74 28～40	6.70	12～21	N76.03 S75.99	N-S	中世頃の溝。
W-45	AU・V-11	40～54 15～24	6.30	8～17	N76.43 S76.39	N-S	近世以降。
W-46	AX-9 ～AY-7・8・9	45～53 15～20	6.25	5～10	E76.43 W76.41	E-W	近代以降の新しい溝。
W-47	DF・G-22・23	23～35 7～14	5.06	5～11	N76.25 S76.24	N-S	H-62カマドを切っている。近世以降。
W-48	DF・G-19	30～45 12～20	5.95	16～19	N76.18 S76.12	N-S	近世の溝。
W-49	DF-18・19	39～52 18～36	6.20	10～14	N76.26 S76.20	N-S	H-58を切っている。近世頃の溝。
W-50	DG-11 ～DF-16・17	25～54 10～28	22.90	4～23	W76.25 E76.14	W-E	H-29・59・64を切っている近世以降の溝。
W-51	DG-11 ～DF-17	28～60 13～30	26.45	8～19	N76.26 E76.24	N-E	W-50と同じ。
W-52	DF-10・11・12	26～44 10～28	6.30	7～12	NE76.26 SW76.23	NE-SW	近世以降の溝。
W-53	DO-7 ～DG-11	136～244 20～70	19.85	37～49	NW75.95 SE75.81	NW-SE	中世以降の溝？
W-54	EE-1 ～EG-1・2	40～46 24～31	5.44	8～12	N76.26 S76.21	N-S	近世以降？
W-55	EO-3・4 ～EP-2・3	63～88 12～33	9.80	24～41	E75.97 W75.88	E-W	W-56～59と重複。中世以降。
W-56	EO-3 ～EP-3	44～61 15～30	4.37	14～19	N76.06 S76.05	N-S	W-55を切っている。近代以降。
W-57	EO-2・3 ～EP-3	24～33 8～12	5.35	14～20	N76.06 S76.06	—	W-55を切っている。近代以降。
W-58	EO-2 ～EP-2・3	33～40 15～26	5.23	7～22	S76.14 N76.07	S-N	W-55を切っている。近代以降。
W-59	EO・P-2	38～45 17～33	5.14	6～12	S76.22 N76.16	S-N	近代以降。
W-60	EO・P-0	47～60 17～25	5.20	19～21	N76.11 S76.11	—	近代以降。
W-61	EO・P-0	19～23 8～12	5.18	6～7	N76.26 S76.22	N-S	H-46のカマドと重複。近代以降。
W-62	DO-23 ～DP-23・24	32～43 12～24	5.12	11～18	S76.17 N76.09	S-N	近世以降。
W-63	DO・P-23	36～57 11～26	5.10	19～23	S76.12 N76.03	S-N	近世以降。
W-64	DO-22・23 ～DP-23	38～46 17～20	5.25	7～14	N76.25 S76.17	N-S	H-66のカマドと重複。近世以降。
W-65	DO・P-22	47～60 9～17	5.16	25～32	S76.03 N76.02	S-N	H-66と重複。近世以降。
W-66	DO-19 ～DP-19・20	60～72 10～25	6.25	21～28	N76.02 S76.00	N-S	近世以降。
W-67	DO-11・12 ～DP-12	88～133 32～68	6.63	25～34	N76.06 S75.97	N-S	土地改良前の新しい溝。近代。
W-68	BG-5 ～BH・I-6	95～135 38～55	7.50	39～41	NW76.03 SE76.01	NW-SE	As-C層まで掘り込んでいる。平安時代以降。
W-69	BF・G-5・6	65～80 18～35	(3.45)	17～20	NW76.27 SE76.25	NW-SE	一部カクランで不明。中世以降の溝。
W-70	AV-4・5	43～55 9～20	2.75	6～21	S76.31 N76.28	N-S	土地改良前の新しい溝。
W-71	BU・V-2	46～65 12～20	4.25	6～13	S76.07 N75.98	S-N	平安以降。

註）溝の断面図実測位置は、遺構ナンバーと実測壁面（東西、南北）で断面図（1：60）のみ記載した。

5．土　坑

調査区全体で３基の土坑が検出された。規模は長径82～92cm、短径56～70cm、深さ31～55cm程でいずれも楕円形である。D-１の覆土は、鈍い黄褐色、明黄褐色土層に細砂、軽石粒を含む。D-２は鈍い黄褐色、灰黄褐色土層に細砂を含み、わずかにAs-B軽石の混入が見られた。また、D-３では南壁側の一部が調査区外にあり、断面では東側にやや傾斜している。掘り込みも明黄褐色砂質土層の地山を掘り込んで暗褐色、鈍い黄褐色土層で埋まっている。遺物は土坑の上層面などから須恵器、大甕片が数点検出されているが時期は、はっきり特定できなかった。

（各土坑の計測値は一表に記載し報告する）

土坑計測表

No.	所在グリッド	長径（cm）	短径（cm）	深さ（cm）	形　状	備　考
D-１	EC-６・７	82	70	31	楕　円	W-７・８の間に検出
D-２	BH-５・６	90	65	43	楕　円	W-１と重複し切っている
D-３	AM-23	92	(56)	(55)	楕　円	南壁側は調査区外にある

（　）は推定値を表す。

6．柱　穴

調査区のBJ・K-６グリッド内（P-１～４）とBO・P・Q・R-22・23グリッド（P-５～12）の２箇所に検出され、その中でP-１～P-４は、付近に平安時代住居跡が点在する北側に位置し検出時には、古墳時代前期の石田川式土器片（S字状口縁台付甕）が数点検出され、住居跡の検出が期待されたが遺構としての範囲が検出されず、柱穴のみにとどまった。埋土は鈍い黄褐色、褐色、黒褐色土層などとAs-C軽石を含む土層で埋まっている。規模も長径32～41cm、短径26～40cm、深さ26～31cm程で楕円形を呈する。大きさからも住居に伴う柱穴と思われるが、全体は不明である。P-５～12はAs-B軽石の検出範囲にあり、水田面を掘り込んでいる。規模も長径17～38cm、短径16～25cm、深さ３～14cmと小さく、掘り込みも浅い。埋土もAs-B軽石を含む細砂層で埋まっている。また、P-10～12については掘立柱建物の可能性も考えられたが、他には検出されなかったため不明である。

（柱穴の計測値は、一表に記載し報告する）

柱穴計測表

No.	所在グリッド	長径（cm）	短径（cm）	深さ（cm）	形　状	備　考
P-１	BJ-６	40	26	31	楕　円	P-２と重複
P-２	BJ-６	(41)	40	27	楕　円	P-１と重複
P-３	BK-６	32	30	35	楕　円	他よりも掘り込みが深い
P-４	BK-６	38	34	26	楕　円	B水田範囲より検出
P-５	BO-22	32	25	8	楕　円	〃
P-６	BO-22	38	23	7	楕　円	〃
P-７	BO-23	17	17	3	円	〃
P-８	BP-23	24	23	6	円	〃
P-９	BQ-22	20	18	8	円	〃
P-10	BQ-22・23	21	20	11	円	〃
P-11	BR-22	17	16	14	円	〃
P-12	BR-22・23	20	18	7	楕　円	〃

（　）推定値を表す。

VI まとめ

調査では平安時代の集落を主なものとしてそれ以前の住居跡は検出されていないが、石鏃が1点と「S」字状口縁の台付甕片なども数点検出した。

平安時代では住居跡、水田跡、溝跡などを検出した。住居跡は調査区の中央付近に位置するAs-B軽石の堆積する大溝（W-10・1・2、W-20）を挟んで右岸側と左岸側に分かれた状態で検出されている。住居跡の確認面標高は右岸側の北西側にあるH-22号住居跡付近で76.60m、南東側にあるH-8号住居跡付近で76.10mを測る。その範囲に北西から南東方向にかけて長さ約130m、幅約80m程の微高地上に住居跡が集中している。

左岸側では、北側のH-3号住居跡付近で確認面標高76.60mで南東側のH-10号住居跡付近で76.10mを測る。その範囲は調査区北側の中央付近から南東にかけて長さ約80m、幅約40m程の間に住居跡がまばらに点在している状況がわかる。いずれも50cm程の比較差があり右岸側ではi＝3.85‰、左岸側ではi＝6.25‰の地表勾配があり北西から南東方向にかけて緩やかな傾斜を示している。

住居跡の形状は東西方向や南東方向にやや長細く、カマドを東壁中央やや南寄りに設置したものが多く検出されている。さらにH-22号住居跡のようにカマドが2基検出され、1基が南東コーナーに作られているものなどがあった。遺物は「コ」の字状口縁の甕片や平底ぎみの坏、足高高台境、内黒を施した塊などと羽釜、土釜、灯明皿などを検出した。また、検出した住居跡66軒中45軒について実測可能な遺物から時期区分し下記の表に記載した。

さらに45軒の住居跡を右岸側と左岸側について大別すると右岸側39軒、左岸側6軒に別れ時期区分も右岸側では、9世紀前半から11世紀前半までの住居跡があり、左岸側では9世紀後半から10世紀後半までの住居跡が点在している。集落全体では9世紀前半から住居跡が見られ、その中心は9世紀後半から10世紀後半頃にもっとも多く11世紀前半には、減少する傾向が見られる。また、南東側に隣接する前田V遺跡は本調査区の延長上にあり同時期の住居跡が検出されている。

時期区分	住居跡編年表（住居跡ナンバー）	軒数	編年比(%)	軒数		比率(%)	
				右岸	左岸	右岸	左岸
9世紀前半 9世紀前半～中葉 9世紀中葉 9世紀中葉～後半 9世紀後半	(58・63) (46) (22・41) (47・64) ③・(30・32・36・43・44・45・50・52・53・56・66)	19	42	18	1	40	2
10世紀前半 10世紀前半～中葉 10世紀後半	(8・13・15・17・19・21・35・39・51・57) ⑥・(33) ①・②・⑦・⑨・(16・18・20・23・27・48)	22	49	17	5	38	11
11世紀前半	(12・25・40・60)	4	9	4	0	9	0
計		45	100	39	6	87	13

実測可能な出土遺物より時期区分すると以上のように当てはまる。
註：（ ）は右岸住居跡、○は左岸住居跡を示す。比率は、小数点第1位を四捨五入した。

遺物については、上記検出の他に墨書土器（七、兆）や底部・体部内面などにヘラ描き文字（大、井）、記号（×）と思われる印を施した須恵器、土師器片などがあり、灰釉・緑釉陶器片も数点検出した。他に、三本の足が取り付けられたと推測されるいわゆる「三脚器」の足の部分と思われる酸化焔焼成の土器片も検出されている。部分検出のため時期は、はっきりしないが同じ住居跡からの出土遺物や体部内面に黒色処理を施した部分が見られることで10世紀後半頃のものと考えられる。また、外面に煤が付着していることで煮炊などに使用したとも考えられる。（推定される形状のものに中国食器の「鼎」、「鬲」などの脚部と類似している。）

As-B軽石下水田跡は調査区の中央部分を南東方向（NW→SE）に位置する大溝跡に添って左・右岸に近接して住居跡があり、その北東側と南西側に水田跡を検出した。As-B軽石層が3～10cm程の厚さで被覆され、水田面には後世のカクランや機械痕が残っていた。また、調査範囲も道路幅のため完全に区画された1枚の水田跡は検出されなかったが、As-B軽石が堆積している範囲からの検出であることから、平安時代末期まで耕作されていた

ことが考えられ、検出した集落との関連性を推測すると生産域であったことが窺える。

溝は集落の中央に位置しAs-B軽石が堆積する。W-10-1・2、W-20の規模を見るとW-10-2は上幅平均で7.75m、下幅平均で4.93m、深さ約77cmを測る。W-10-1は上幅約7.75m、下幅約4.93m、深さ約82cmを測り、検出の溝中抜群の大溝である。また、W-20は前田Y遺跡で検出したAs-B軽石が堆積する溝の一部分でW-10-1・2の溝の下流部にあたる。この大溝によって、集落を右岸側と左岸側に二分している状況がわかる。さらに右岸側、左岸側付近に点在する住居跡の年代を見ると10世紀前半～11世紀前半頃の住居跡が検出されていることからそれ以前より存在した大溝と考えられ、集落にとっては重要な役割を持った溝と思われる。W-10-1・2、W-20溝は調査区の北辺の中央部（A）から東南（NW→SE）方向に検出され、その規模は1.5km程西の徳丸町を流下する藤川（幅員 10.00m）や東0.5km程を南東流する韮川（幅員 10.00m）に対等する河川といえる。この河川の流下能力から流域の灌漑面積を概算すれば、1000haの灌漑面積を想定することができる。

流量　Q＝流積A×流速V　流速VをManningの式で計算すれば、$V=\frac{1}{n}R^{2/3}I^{1/2}=1.18m/sec$

流量　Q＝3.59m³/sec

- nは粗度係数　自然水路で蛇行及び澱瀬の変化は甚だしく、水草が多いことが考えられn＝0.03にする。
- Rは径深　径深R＝流水断面A/潤辺S＝3.04m²/6.00m＝0.51m　流水断面Aは、溝断面の80%とする。
- Iは河床勾配　3.09‰の実測地から得られている。

この流量Qの80%が水田の灌漑用水とすれば、その灌漑面積を想定すると

∴灌漑用水＝流量Q×0.8＝2.87m³/sec

日減水深（水田1日の損失浸透量）旧田で10～20mm/day、新田で30～45mm/day、中間値の25.0mm/dayを用いる。

1haあたりの1日用水量は、250m³/day/ha

1haあたりの毎秒用水量は、0.0029m³/sec/ha

$$灌漑面積A=\frac{2.87m^3/sec}{0.0029m^3/sec/ha}=989.66ha\fallingdotseq1000ha$$

この約1000haの流域は、本遺跡の南東方面の前橋市、伊勢崎市、玉村町の市町境界線付近に広がる水田地帯を比定することができる。伊勢崎市東・西上之宮町域は、古代の上毛野国那波郡倭文郷で織物に携わった人々がいた。倭文神社は、この民が祭祀したもので「上野国神社名帳」に従一位倭文大明神とある。古くから1月14日の夜に“田遊びの神事”が行われることで知られている。また、下之宮の火雷神社（玉村町）は900m南にあり、延歴15年（796）に官社に列せられたと日本後紀にあり、「上野国神社名帳」に従一位火雷神とある。那波郡佐味郷の人々に依って祭祀された火雷神社には、“麦搗き神事”が伝わっている。この時代現利根川は現広瀬川低地帯に本流があり、玉村町南辺境界の島川左岸まで前橋台地が迫り、また利根川と広瀬川に挟まれた河川流域であり良好な農耕地帯であったことが窺える。

他にW-5-1・2、W-19、W-29やW-9などAs-B軽石の堆積する溝である。特にW-5-1・2、W-19、W-29はその覆土や規模、方向などから関連性が考えられる。また、W-9も一部分の検出であるが、北から南へ勾配が見られる大溝である。これらの溝を調査区北側に位置する前田遺跡（平成2年度調査）との関連性を見るとW-10-1・2やW-9などは、前田遺跡の調査範囲には見られず不明であるがW-5-1・2などは、前田遺跡のAs-B軽石が堆積するW-1と規模や方向などがほぼ同じで溝底の標高もW-1の南側で76.50m、本調査区北側のW-5-2で75.72mを測り78cm程の比較差がある。さらに前田遺跡のW-1北側（A-A'）から本調査区のW-5-2、W-5-1、W-19、W-29を結んだ状況を見ると総延長約312mを測り比較差も1.43mで河床勾配i＝4.58‰が計算される。また、溝の位置を見ると前田遺跡のW-1は9世紀後半～10世紀後半代の住居跡付近を流れ、本調査区のW-5-1・2、W-19、W-29などは、10世紀前半～後半の住居跡付近を流れていることがわかりほぼ9世紀後半から10世紀後半まで南流し集落への生活用水や農業用水の供給目的の溝と推測できる。

その他の溝は、中・近世～近代頃のものがほとんどである。その中で調査区の南東隅に北東から南西方向に斜めに走行する溝W-22、W-31は、断面形が段状を呈し下段に行くと細く窪んで、中世の環濠を想定させる溝である。中世において前橋市の南部地域では屋敷の周囲に堀を巡らした環濠屋敷が数多く造られたことで知られており、本遺跡の南側に位置する北関東自動車道建設工事に伴う調査でも、前田遺跡、中内村前遺跡（県調査事業団）などから検出されている。近代以降では、昭和40年代に実施された土地改良とともにそれ以前の溝は姿を消し、整備された用水路として水田耕地に見られるようになる。

柱穴（P-1～P-4）は石田川式土器片が散乱する所に検出したが、住居跡などは検出されなかった。他にAs-B軽石堆積面より柱穴（P-5～P-12）が検出され、円形のものは直角方向に3基が結びつく状況にあるが他に検出はなく、掘立柱建物跡等に付随するものかは明確にできなかった。

出土遺物観察表

法量は①口径②底径③高台径④器高⑤長さ⑥幅⑦厚さ⑧穿孔径⑨重さを表す。

No.	出土位置	器形	法量	①胎土②焼成③色④残存	成・整形方法	実測図	図版
1	H-1-1	(石鏃)	⑤2.3⑥1.5 ⑦0.5⑨0.73	①チャート④完形	凹基無茎鏃。	第46図	29
2	H-1-2	坏	①11.6②5.2 ④4.2	①細粒②良好(酸化) ③鈍い黄橙④完形	平底の底部、体部やや膨らみをもち口縁部僅かに外傾する。内外面輪積痕、底部右回転糸切り未調整。	〃	〃
3	H-1-3	坏	①(11.4)②4.8 ④4.2	①中粒②良好(酸化) ③灰④口縁部一部欠損	平底の底部より体部外傾し口縁部で短く外反する。底部回転糸切り未調整。内外面輪積痕で整形。	〃	〃
4	H-1-4	坏	①(12.4)②(5.4) ④3.5	①細粒②良好(酸化) ③灰白④1/2	平底の底部から体部へ直線的に立ち上がり外傾する。内外面輪積痕部右回転糸切り未調整。煤付着。	〃	〃
5	H-1-5	土錘	③3.6④1.2 ⑧0.3⑨4.84	②(酸化)③残黄橙 ④ほぼ完形		〃	〃
6	H-2カ-1	坏	①(13.2)②(5.8) ④3.5	①中粒②良好(酸化) ③鈍い黄橙④1/2	平底、体部内湾気味に立ち上がり口縁部で外反する。内外面輪積整形、底部右回転糸切り未調整。	〃	〃
7	H-3-1	須恵器 高台付坏	③8.1④(3.2)	①細粒②良好(還元) ③褐灰④底部	輪積、体部内湾気味、高台「ハ」の字状に外反、底部回転糸切り後貼付高台へラ撫で。	〃	〃
8	H-3-2	蓋	⑥16.6④3.2	①中粒②良好(酸化) ③鈍い黄橙④完形	平坦な天井部、緩やかな体部、水平な端部、外面天井部、右回転糸切り未調整。	〃	〃
9	H-3-3	土師器 小型台付甕	③(8.5)④(3.6)	①細粒②良好(酸化) ③鈍い橙④台部3/4	低い台部、緩やかに開く胴、内外面強で調整。	〃	〃
10	H-3-4	土師器 坏	①(11.4)②(7.4) ④3.0	①細粒②良好(酸化) ③鈍い橙④1/2	平底の底部より直線的に開く体部、外面口縁部無で。体部底部へラ削り調整。底部に「七」の墨書文字あり。内面強で調整。指頭圧痕あり。	〃	〃
11	H-3-5	須恵器 壺	④(12.3)	①中粒②良好(還元) ③青灰④体部1/2	体部上位が膨らむ球形、内外面横撫で調整。	〃	〃
12	H-3-6	須恵器 蓋	①(13.8)④3.5	①細粒②良好(還元)③灰 ④摘み、体部1/3欠損	高台を思わせる大きい摘み(径7.2cm)回転糸切り後貼付。体部緩やかに外反し、口縁端部垂直に屈曲、内外面輪積調整。	〃	〃
13	H-6-1	土師器 坏	①(12.0)②(7.5) ④3.2	①細粒②良好(酸化) ③鈍い橙④1/2強	丸底気味の底部より体部直線的に外傾し立ち上がる体部底部へラ削り。内面指撫で強。外面体部に「北」と思われる墨書文字あり。	〃	〃
14	H-6-2	灯明皿	①(8.4)②4.0 ④2.7	①中粒②良好(酸化)③鈍い橙④底部～口縁部2/3	平底、体部両面し口縁部に至る。輪積痕あり。外面強かに傾付着。	〃	〃
15	H-6カ-1	高台付坏	①14.6②6.0	①細粒②良好(酸化) ③灰褐色④1/2弱	高い高台より体部内湾し口縁部で緩やかに外反する。底部回転切り離し後貼付高台無で。内外面輪積整形。	〃	〃
16	H-7-1	高台付坏	①(15.4)③8.9 ④6.2	①細粒②良好(酸化)③鈍い黄橙④体部口縁部一部欠損	高めの高台から内湾し口縁部で短く外反する。底部回転糸切り後貼付高台無で。内外面輪積整形。	〃	〃
17	H-7-2	灰釉陶器 高台付坏	⑤(7.9)④(3.5)	①細粒②良好(還元) ③灰④底部1/2	高台を付した底部から斜曲気味に立ち上がる。輪積整形。底部回転糸切り後貼付高台無で調整。	〃	21
18	H-7-3	坏	⑤5.5④(0.9)	①細粒②良好(酸化) ③鈍い橙④底部	底部平底、右回転糸切り未調整。	〃	〃
19	H-8-1	高台付坏	⑥6.4④(2.3)	①中粒②良好(酸化) ③灰黄④底部	高台を付した底部から斜曲気味に立ち上がる。底部回転糸切り後貼付高台。	〃	〃
20	H-8-2	坏	①(12.7)②5.3 ④4.2	①細粒②良好(酸化) ③灰白④口縁部一部欠損	平底の底部より緩やかに斜曲して口縁部で外反する。底部回転ヘラ切り未調整。内外面輪積整形。	〃	〃
21	H-9-1	高台付坏	①15.4②8.8 ④6.4	①細粒②良好(酸化) ③黒④ほぼ完形	横撫成、体部斜曲し口縁部で外反する。内外面輪積整形。底部回転糸切り後足高貼付高台強で。	第47図	〃
22	H-12-1	高台付坏	④(3.7)	①中粒②良好(酸化) ③鈍い橙④体部1/3	下位で斜曲する直線的体部。内外面輪積整形。底部貼付高台ヘラ調整。	〃	〃
23	H-13D-1-1	須恵器 高台付坏	⑤(6.2)④(2.3)	②良好(還元) ③灰④底部2/3	輪積整形。底部回転糸切り後貼付高台。	〃	〃
24	H-15-1	灰釉陶器 高台付坏	③(8.4)④(2.3)	①細粒②良好(還元) ③灰④底部1/2	輪積整形。高台を付した底部から緩やかに立ち上がる。底部回転ヘラ調整。	〃	〃
25	H-15カ-1	須恵器 高台付坏	⑤6.3④5.0	①細粒②良好(還元) ③灰白④口縁部一部欠損	低い高台より体部内湾気味に立ち上がり口縁部で外反する。底部回転糸切り後貼付高台。内外面輪積整形。	〃	〃
26	H-16-1	坏	①(9.8)②5.2 ④3.0	①細粒②良好(酸化) ③浅黄橙④底部～体部	輪積整形、平底、体部上位に僅かな膨らみをもって外反する。底部回転糸切りヘラ調整。	〃	〃
27	H-17カ-1	高台付坏	①(13.6)③(6.6) ④5.3	①細粒②良好(酸化) ③鈍い橙④1/2強	雑な高台を付した底部より体部緩やかに内湾気味に開き口縁部で外反する。底部回転糸切り後貼付高台。内外面強で調整。	〃	〃
28	H-17カ-2	高台付坏	⑦7.7④(4.1)	①細粒②良好(酸化) ③鈍い橙④底部	雑な高台から体部緩やかに斜曲し立ち上がる。底部右回転糸切り後貼付高台。	〃	〃
29	H-17-1	須恵器 高台付壺	⑤10.7④(16.0)	①細粒②良好(還元) ③灰④口縁部欠損	胴部上位が膨らむ球形、底部回転切り離し後貼付高台。底部に「×」の線刻あり。内外面輪積整形。	〃	〃

No	出土位置	器形	法量	①胎土②焼成③色④残存	成・整形方法	実測図	図版
30	H-17-2	羽釜	①(29.6)④(18.3)	①中粒②良好(酸化) ③灰④胴～口縁1/4弱	胴部から口縁部にかけて直立気味、口縁は少し外反し口唇部は三角形状、鍔は短く貼付け、胴部内外面横撫で。	第47図	21
31	H-18-1	高台付埦	⑤7.8④(3.2)	①中粒②良好(酸化) ③灰白④底部	底部糸切り後内厚の貼付高台撫で調整。	〃	〃
32	H-18-2	高台付埦	⑤7.2④(3.2)	①中粒②良好(酸化) ③灰白④底部	高台を付した底部から湾曲し立ち上がる。底部糸切り後内厚の貼付高台撫で調整。	〃	〃
33	H-19-1	高台付埦	①(14.8)②(6.3) ④4.7	①細粒②良好(酸化) ③灰色④1/3	高台を付した底部から緩やかに内湾し口縁部で外反する。外面轆轤整形。底部回転糸切り後貼付高台。	〃	22
34	H-19-2	須恵器 甕	④(10.4)	①細粒②良好(還元) ③灰白④口縁部～部	口縁部「く」の字に外反し口容部垂直に立つ。外面轆轤整形後ヘラによる波状文。内面轆轤整形。	第48図	〃
35	H-19D-1-1	高台付埦	⑥6.3④(1.5)	①細粒②良好(酸化) ③鈍い橙④底部	底部回転糸切り後貼付高台撫で調整。	第47図	〃
36	H-20-1	須恵器 耳皿	①(9.0)④3.2 ⑥0.5	①細粒②良好(還元) ③明褐灰④片耳部欠損	耳部は底部周縁部から内側に折り曲げている。底部中央に4㎜程の焼成前の小孔がある。底部右回転糸切り未調整。	第48図	〃
37	H-20-2	灰釉陶器 高台付埦	①(18.6)③(9.0) ④(7.3)	①細粒②良好(還元)③灰白④体部～口縁部1/2弱	高台を付した底部から緩やかに内湾し口縁部に至る。底部回転糸切り雑し後貼付高台。内外面轆轤整形、施釉。	〃	〃
38	H-20カ-1	高台付埦	①(11.2)⑤5.9 ④4.3	②良好(酸化)③橙 ④1/2	高台を付した底部より緩やかに湾曲し口縁部で短く外反する。内外面轆轤整形、底部回転糸切り後貼付高台撫で調整。	〃	〃
39	H-29P-1-1	灯明皿	①9.7⑤5.0 ④2.6	①中粒②良好(酸化) ③橙④完形	平底の底部より直線的に外傾し口縁部で短く外反する。内外面回転ヘラ調整。底部右回転糸切り未調整。	〃	〃
40	H-20一括	緑釉陶器 高台付皿？	③(7.1)④(1.5)	①細粒②良好(還元) ③緑④底部1/2	輪積整形。内外面に緑釉を施す。台部「ハ」の字状。	〃	〃
41	H-20一括	鉄製品 釘	⑤11.4⑥1.7 ⑨46.7	④ほぼ完形	錆化が進む、頭の部分は長方形に近く、脚部から先はだんだん細くなる。	〃	〃
42	H-21-1	土錘	⑤3.8⑥1.6 ⑨0.3⑨9.43	②良好(酸化)③鈍い橙 ④ほぼ完形		〃	〃
43	H-21-2	土師器 三脚器？	⑨13⑨3.3 ⑨0.3	①細粒②良好(酸化) ③橙④3本足の1本？	平らな底部より棒状に継長く垂直に立つ脚部、球形状の体部に貼付けてある。内面黒色処理。外面煤付着。脚部の底部に3㎜程の穿孔あり。	〃	〃
44	H-21-3	砥石	⑤11.0⑥4.0 ⑦2.8		凝灰岩、4面使用。	〃	〃
45	H-22-1	須恵器 坏	①(12.4)②5.7 ④4.0	①細粒②良好(還元) ③灰白④1/2強	平底の底部から緩やかに内湾し口縁部で短く外反する。内外面撫で調整。底部右回転糸切り未調整。	〃	〃
46	H-22 右カ-1	土師器 甕	①(20.8)④24.8 ⑨26.8	①細粒②良好(酸化) ③橙④ほぼ完形	小さい平底の底部から胴部上部に膨らみをもって内湾する。口縁部弱い「コ」の字状を呈する。外面口縁部横撫で。胴部最位の下方向へヘラ削り。内面口縁部横撫で。指頭圧痕あり。胴部撫で調整。	〃	〃
47	H-23-1	灰釉陶器 高台付埦	⑨6.7⑨(2.7)	①細粒②良好(還元) ③灰白④底部	高台を付した底部から緩やかに内湾する。体部轆轤整形、底部回転糸切り貼付高台撫で調整。	〃	23
48	H-23カ-1	羽釜	①(20.6)②(6.0) ④24.1	①中粒②良好(酸化) ③明褐灰④1/3強	平底の底部より胴部緩やかに内湾して立ち口縁部は内傾して短く立つ。鍔付鍔はやや上向きで張り出す。内外面横撫で整形。	第49図	〃
49	H-25-1	坏	①(10.0)②(6.0) ④3.0	①中粒②良好(酸化) ③灰白④1/2	平底の底部から湾曲気味に立ち上がる短い体部。体部撫で整形。底部回転糸切り未調整。	〃	〃
50	H-27カ-1	羽釜	①(23.6)④(23.0)	①中粒②良好(酸化) ③鈍い橙④1/2弱	胴部は上位で内湾し口縁部で内傾する。被な断面三角形の貼付鍔。外面口縁部横撫で。胴部縦へのヘラ削り。内面口縁部撫で。胴部へラ削り。	〃	〃
51	H-27P-1-1	土釜	①(28.6)④(26.7)	①中粒②良好(酸化) ③鈍い橙④1/2弱	胴部上位に膨らみをもち口縁部で緩く外反する。外面口縁部指頭圧痕あり。胴上位～下位へラ削り指頭圧痕。内面口縁部指頭圧痕。	〃	〃
52	H-30-1	土錘	⑤(4.8)⑥(2.2) ⑨0.8⑨25.21	①細粒②良好(酸化) ③褐灰④一部欠損		〃	〃
53	H-30D-1-1	土師器 坏	①11.5②5.7 ④4.2	①細粒②良好(酸化) ③鈍い橙④ほぼ完形	不安定な平底、体部は内湾し口縁部で強かに外傾。底部はヘラ削り後撫で。中央に砂粒付着、内外面指頭圧痕、口縁部撫で調整。	〃	〃
54	H-32-1	高台付埦	①(13.5)②(6.4) ④6.0	①細粒②良好(酸化)③明褐灰④底部～体部1/3強	高台を付した底部より膨らみをもって立ち上がり口縁部で緩やかに外傾する。底部回転糸切り後貼付高台撫で調整。	〃	〃
55	H-32-2	土師器 坏	①(12.0)②(7.8) ④3.6	①細粒②良好(酸化)③橙 ④体部～口縁部1/2欠損	平底の底部より体部直線的に外傾し口縁部で短く内湾する。底部へラ削り。外面撫で。指頭圧痕あり。内面撫で調整。	〃	〃

No.	出土位置	器形	法量	成・整形方法		実測図	図版
				①胎土②焼成③色④残存			
56	H-32一括	土師器 坏	④(3.2)	②良好(酸化) ③橙④体部～口縁一部	体部緩やかに湾曲し立ち上がる。外面口縁部横撫で。体部ヘラ削り。内面撫で調整。「井」の線刻あり。	第49図	23
57	H-33カ-1	羽釜	①(18.4)④(17.8)	①細粒②良好(酸化) ③純い黄橙④体部～口縁部1/3弱	胴部内湾し立ち上がる。口縁部内傾する。鍔は断面四角形、外面口縁部無で。胴部指頭圧痕あり。内面撫で。	〃	〃
58	H-33カ-2	坏	①(10.0)②(6.7) ④3.7	①細粒②良好(酸化) ③純い橙④1/3弱	平底の底部から直線的に外反し立ち上がる。口縁部内外面横撫で。外面体部ヘラ削り。内面指撫で指頭圧痕。底部ヘラ調整。	〃	〃
59	H-33カ-3	土師器 坏	①(12.0)②(7.8) ④3.5	①細粒②良好(酸化) ③橙④1/2	平底の底部から直線的に開く体部、体部外面ヘラ削り。外面内面指撫で指頭圧痕、底部ヘラ削り。	〃	〃
60	H-35-1	羽釜	①(20.4)④(13.8)	①中粒②良好(酸化)③橙④体部、口縁部1/3弱	胴部は内湾気味、口縁部内傾し口唇部は平坦。鍔は、貼付やや上向きの三角形。外面横撫でヘラ削り調整。内面横撫で。	〃	24
61	H-35カ-1	灯明皿?	①(10.0)②5.7 ④2.6	①中粒②良好(酸化) ③橙④口縁部一部欠損	平底の底部より直線的に外反する体部。内外面横撫整形。煤付着、底部へラ削で。	〃	〃
62	H-35D-2-1	須恵器 高台付碗	①(13.7)③6.6 ④5.4	①細粒②良好(還元) ③褐灰④1/2	低い高台を付した底部より直線的に外傾し口縁部で外反する。底部回転糸切り後貼付高台。内外面横撫整形。	〃	〃
63	H-36-1	須恵器 高台付碗	①(14.9)③(7.0) ④(4.9)	①細粒②良好(還元) ③灰白④底部と体部一部	低い高台より体部直線的に外傾し口縁部で緩やかに外反する。内外面横撫整形。底部回転糸切り後貼付高台。撫で調整。	第50図	〃
64	H-36-2	紡製品 錘?	⑥(3.1)③25.79		鋲化している。やや湾曲し先が細く丸味をもつ。	〃	〃
65	H-36D-1-1	灰釉陶器 長頸壺	①(12.0)	①細粒②良好(還元) ③灰白④頸部1/2	口縁部折り返し整形。頸部貼付後接合部ヘラ調整。内外面、釉の発色(オリーブ灰)。	〃	〃
66	H-36D-1 一括	土師	⑤6.2⑥1.5 ⑥0.3⑨12.78	①細粒②良好(酸化) ③褐灰④完形		〃	〃
67	H-39-1	小型壺	①(13.6)④(12.9)	①中粒②良好(酸化) ③灰白④1/3	胴部緩やかに内湾し口縁部が短く立つ。内外面口縁部撫で。胴部ヘラ削り。	〃	〃
68	H-39カ-1	土師器 小型壺	①(11.6)④(13.2)	①細粒②良好(酸化)③純い橙④底部、胴部1/4欠損	胴部膨らみ、口縁部短く外反する。外面口縁部横撫で。内面撫で。胴部ヘラ削り。底かに赤色朱付着、煤付着。	〃	〃
69	H-39D-1-1	土師器 甕	①(21.6)④(11.5)	①細粒②良好(酸化)③純い橙④胴～口縁部1/2弱	胴部上位に膨らみをもち頸部垂直に立つ。口縁部外傾し「コ」の字状を呈す。外面ヘラ削り。内面ヘラ撫で調整。	〃	〃
70	H-39D-1-2	須恵器 高台付碗	①13.3④4.8	①中粒②良好(還元) ③灰白④ほぼ完形	低く小さい高台より体部直線的に外傾し口縁部に至る。内外面横撫整形。底部回転糸切り後貼付高台。	〃	〃
71	H-40カ-1	高台付瓶	①15.6③9.2 ④6.1	①細粒②良好(酸化) ③橙④完形	高台状部に短い縁をもち「ハ」の字に開く貼付高台丁寧に付く。体部は下部に緩をもち外傾し口縁部で外反する。内外面横撫整形。	〃	〃
72	H-41-1	須恵器 坏	①(13.7)②(9.0) ④(3.6)	①細粒②良好(還元) ③青灰④2/3	平底の底部より下位で湾曲し直線的に開く。内外面横撫整形。底部へラ削り。「大」の線刻文字あり。	〃	〃
73	H-43-1	高台付瓶	①(15.6)③6.6 ④5.1	①細粒②良好(酸化) ③灰白④口縁部一部欠損	低い高台、体部緩やかに湾曲し口縁部で外反する。内外面横撫整形。底部回転糸切り後貼付高台。	〃	〃
74	H-43カ-1	須恵器 高台付瓶	①(15.2)③7.0 ④6.0	①細粒②良好(還元)③灰白④口縁、体部一部欠損	高台を付した底部より体部下位膨らみをもち直線的に口縁部に至る。底部回転糸切り後貼付高台撫で調整。内外面横撫整形。	〃	25
75	H-43D-1-1	土師器 小型台付壺	③8.8④(5.0)	①細粒②良好(酸化) ③純い橙④台部	台部の裾が大きく開く。内外面横撫で。	〃	〃
76	H-43D-1-2	土師器 坏	①(12.4)②6.0 ④3.7	①細粒②良好(酸化) ③明赤褐③3/4	平底ぎみより直立気味の底部より体部内湾気味に立ち上がり口縁部でやや内傾する。内外面指で指頭圧痕あり。	〃	〃
77	H-43P-1-1	高台付瓶	①14.0③6.8 ④4.8	①細粒②良好(酸化) ③純い橙④完形	低い高台から体部緩やかに湾曲し口縁部で短く外反する。底部右回転糸切り後貼付高台未調整。胴部内外面横撫整形。	〃	〃
78	H-44-1	須恵器 坏	①(13.0)②(5.6) ④3.0	①細粒②良好(還元)③灰白④底部～口縁部一部欠損	平底ぎみやや上げ底気味の底部より体部外傾し口縁部で小さく外反する。底部回転糸切り未調整。内外面横撫整形で整形。	第51図	〃
79	H-44一括	土師器 坏	①(12.4)②(6.0) ④3.7	①細粒②良好(酸化) ③純い褐③1/3強	平底で上げ底気味の底部、体部は緩やかに内湾し立ち上がる。底部へラ削り。内外面撫で調整。	〃	〃
80	H-45-1	砥石	⑤(6.6)⑥(4.5) ⑦(1.8)	④1/2	凝灰岩、4面使用、表面平滑化。	〃	〃
81	H-45カ-1	土師器 甕	②4.6④(17.0)	①細粒②良好(酸化)②灰赤④口縁部～胴部3/4欠損	平底の小さい底部より胴部緩やかに内湾し立ち上がる。外面ヘラ削り。内面ヘラ撫で調整。	〃	〃
82	H-45カ-2	土師器 坏	①(13.0)②8.4 ④3.4	①細粒②良好(酸化) ③純い橙④3/4	平底の底部より体部やや内湾し口縁部で外反する。外面口縁部撫で。体部ヘラ削り。内面指撫で。	〃	〃
83	H-45カ-3	土師器 坏	①(12.8)②(9.0) ④3.2	①細粒②良好(酸化) ③純い橙④1/2弱	平底の底部から直線的に開く体部。外面口縁部横撫で。体部ヘラ調整。底部へラ削り。内面撫で。	〃	〃

No	出土位置	器形	法量	成・整形方法	実測図	図版
84	H-46-1	土師器 坏	①(13.0)②(9.0) ④2.3	①細粒②良好(酸化) ③橙④1/3残	第51図	25
85	H-46-2	須恵器 坏	①(11.0)②(6.1) ④4.0	①細粒②良好(還元) ③灰④1/3強	〃	〃
86	H-46-3	須恵器 高台付埦	①(15.6)③8.3 ④7.5	①中粒②良好(還元) ③灰④3/4	〃	〃
87	H-46-4	砥石	⑤(10.8)④4.1 ⑦2.8⑧0.3	④一部欠損	〃	〃
88	H-46D-1-1	紡錘車 (石製品)	⑤6.6②6.4④3.1 ⑧1.0⑨89.56	④一部欠損	〃	26
89	H-47カ-1	土師器 坏	①(10.5)②(5.0) ④3.9	①細粒②良好(酸化) ③橙④底部～口縁1/4	〃	〃
90	H-48-1	灰釉陶器 高台付皿	①(12.2)③6.2 ④2.5	①細粒②良好(還元) ③灰白④体部一部欠損	〃	〃
91	H-48-2	高台付埦	①12.9④4.4	①中粒②良好(酸化) ③橙④高台部一部欠損	〃	〃
92	H-48-3	坏	①(11.4)②6.0 ④3.3	①中粒②良好(酸化)③浅黄橙④口縁部一部欠損	〃	〃
93	H-48-4	坏	①(11.4)②5.5 ④3.6	①細粒②良好(酸化)③明褐灰④口縁部一部欠損	〃	〃
94	H-49-1	土錘	⑤(5.3)⑥2.4 ⑧0.5⑨18.79	①細粒②良好(酸化) ③純い橙④1/2	第52図	〃
95	H-50-1	須恵器 高台付埦	③(6.5)④(2.0)	①細粒②良好(酸化) ③灰白④底部	〃	〃
96	H-51-1	須恵器 高台付埦	①(13.8)③6.8 ④5.3	①中粒②良好(還元)④褐灰④体部～口縁2/3欠損	〃	〃
97	H-51一括	高台付埦	①(13.0)③6.0 ④4.6	①細粒②良好(酸化) ③褐灰④体部1/2欠損	〃	〃
98	H-52-1	土師器 坏	①(11.1)②7.5 ④3.2	①細粒②良好(酸化) ③純い橙④口縁一部欠損	〃	〃
99	H-53-1	須恵器 高台付埦	③7.8④(3.8)	①細粒②良好(還元) ③灰白④底部～体部一部	〃	〃
100	H-53-2	高台付埦	①13.8②6.8 ④5.3	①細粒②良好(酸化) ③明褐灰④完形	〃	〃
101	H-53-3	土師器 甕	①(19.8)④(14.7)	①細粒②良好(酸化) ②橙④胴部～口縁1/3	〃	〃
102	H-56-1	須恵器 高台付埦	①(13.8)③7.0 ④5.3	①中粒②良好(還元) ③灰④体部2/3欠損	〃	〃
103	H-56-2	土師器 壺	①19.6④(8.0)	①細粒②良好(酸化) ③明赤褐④口縁部	〃	27
104	H-56-3	鉄製品 釘	⑤11.1⑥(鋲)2.2 ⑧(31.35)	④ほぼ完形	〃	〃
105	H-57-1	須恵器 高台付埦	①(13.7)③(7.0) ④5.2	①細粒②良好(還元) ③灰白④1/2弱	〃	〃
106	H-57-2	土師器 小型台付甕	③(9.4)④(3.5)	①細粒②良好(酸化) ③純い赤褐④台部のみ	〃	〃
107	H-57カ-1	羽釜	①(29.2)④(24.3)	①細粒②良好(酸化)③純い橙④胴部～口縁1/5	第53図	〃
108	H-58-1	土師器 坏	①(11.3)②7.0 ④3.1	①細粒②良好(酸化)③純い橙④口縁部一部欠損	〃	〃
109	H-60-1	坏	①(10.5)②6.5 ④2.7	①細粒②良好(酸化) ③灰白④口縁一部欠損	〃	〃
110	H-63-1	土師器 甕	①22.6④(11.5)	①細粒②良好(酸化) ③橙④口縁～胴部上部	〃	〃
111	H-63-2	土師器 坏	①(12.2)②7.2 ④4.2	①細粒②良好(酸化)③純い橙④口縁部1/2欠損	〃	〃

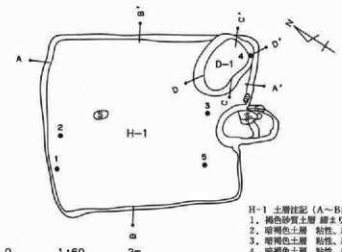
No.	出土位置	器形	法量	①胎土②焼成③色④残存	成・整形方法	実測図	図版
112	H-64-1	土師器 坏	①(11.0)②(7.2)④2.9	①細粒②良好(酸化)③鈍い橙④底部～口縁1/3	丸味を残す平底から体部湾曲気味に開く。外面口縁部横撫で。体部ヘラ撫で痕。内面横撫で整形。	第53図	27
113	H-64カ-1	土師器 坏	①(11.2)②(7.0)④3.1	①細粒②良好(酸化)③鈍い橙④1/2	平底でやや丸味をもつ底部より体部湾曲し立ち上がり口縁部で緩く外反する。内外面撫で調整。底部ヘラ削り。外面指頭圧痕あり。	〃	〃
114	H-66-1	土師器 甕	①(20.0)④(17.5)	①細粒②良好(酸化)③橙④胴部～口縁部	胴部上位に膨らみをもって内湾する。口縁部「コ」の字状を呈す。内外面口縁部横撫で整形。胴部ヘラ削り。	〃	〃
115	H-66-2	土師器 坏	①(12.0)②(7.8)④3.4	①細粒②良好(酸化)③鈍い橙④1/3	平底の底部から体部直線的に外傾し中位から口縁にかけて緩やかに内湾し開く。外面口縁部撫で。体部指頭圧痕あり。底部ヘラ削り。内面撫で。	〃	〃
116	H-66-3	土師器 坏	①12.2②8.0④3.2	①細粒②良好(酸化)③橙④完形	平底の底部、体部直線的に外傾し口縁部に至る。外面底部ヘラ削り。体部内外面撫で、指頭圧痕あり。	〃	〃
117	W-17-1	皇宋通寶 古銭	⑨2.04	④完形	皇宋通寶、北宋銭、初鋳年1039年。	第54図	〃
118	W-41-1	土錘	⑤5.5⑥2.8⑧0.8⑨33.43	①細粒②良好(酸化)③黄灰④完形		〃	28
119	W-41-2	須恵器 大甕	①(20.1)④(8.8)	①細粒②良好(還元)③青灰④口縁部1/2強	口縁部は外反し口唇部は垂直に幅広い面をもつ。内外面轆轤整形。	〃	〃
120	W-53-1	緑釉陶器 高台付皿	①(16.0)③(8.0)④2.3	①細粒②良好(還元)③浅黄④1/4	低い高台、体部緩やかに内湾し開き口縁部で外反する。高台部削り出し。内外面轆轤整形。施釉、内面に花文の絵柄あり。	〃	〃
121	W-53-2	高台付埦	①(13.5)③(6.0)④6.1	①細粒②良好(酸化)③鈍い黄橙④口縁部1/4欠損	低い高台を付した底部より体部直線的に外傾し口縁部に至る。底部回転糸切り後貼付高台。外面撫で。体部に指頭圧痕あり。内面横撫で。底部に僅かにヘラ撫で痕。	〃	〃
122	W-53一括(1)	高台付埦	②6.1④(2.9)	①中粒②良好(酸化)③鈍い黄橙④底～体部1/2弱	上底気味の底部から体部内湾し立ち上がる。底部回転糸切り未調整、高台剥脱。内外面轆轤整形。	〃	〃
123	W-53一括(2)	高台付埦	①(11.0)③(4.2)④4.3	①中粒②良好(酸化)③鈍い橙④1/3強	低い高台より内湾気味に立ち上がり口縁部で緩やかに外反する。底部貼付高台。内外面轆轤整形。	〃	〃
124	AM-12グ-1	坏	①11.2②3.5④5.7	①細粒②良好(酸化)③鈍い橙④完形	平底の底部より体部直線的に外傾し口縁部に至る。底部右回転糸切り未調整。内外面轆轤整形。	〃	〃
125	AV-10グ-1	高台付埦	④(3.7)	①中粒②良好(酸化)③鈍い橙④底部	外反する足高高台、体部外傾し立ち上がる。底部回転糸切り後貼付高台撫で調整。外面横撫で。内面撫で。底部黒色処理。	〃	〃
126	BK-6グ-1	土師器 台付甕	①(15.5)④(4.2)	①細粒②良好(酸化)③鈍い橙④口縁部1/2	胴部上位に膨らみをもち口縁部は外傾し、稜線はやや丸味を帯びているS字状。内外面口縁部横撫で。胴部上位斜めの刷毛目あり。内面撫で調整指頭圧痕。器肉は薄い。	〃	〃
127	BK-6グ-2	土師器 台付甕	④(4.4)	①細粒②良好(酸化)③鈍い褐④台部	外面台部上位に斜めに刷毛目痕。台部接合痕あり。内面指撫で痕。	〃	〃
128	DP-24グ一括	石製品(不明)	⑤(7.5)⑥(4.3)	④一部	側面が丸く加工されている石の割れ片。	〃	〃
129	EO-4グ-1	須恵器 高台付皿	①(13.5)③(5.8)④(3.8)	①細粒②良好(還元)③鈍い黄橙④口縁部2/3欠損。	低い高台から外傾し直線気味に口縁部に至る。底部回転糸切り後貼付高台撫で調整。内外面轆轤整形。	〃	〃

註) 表の記載は以下の基準で行った。

1 須恵器・土師器を記さないものについては、轆轤使用、酸化焔焼成などの軟質の土師質須恵器である。
2 胎土は細粒(0.9mm以下)、中粒(1.0～1.9mm以下)、粗粒(2.0mm以上)とした。
3 焼成は、極良、良好、不良の3段階。
4 大きさの単位はcm、gであり、( )は推定値及び現存値を記載した。
5 遺構の略称は、住居跡 -H、カマド -カ、柱穴 -P、土坑 -D、溝 -W、グリッド -グで表した。

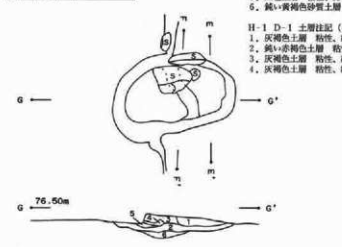
参考文献

前橋市史第一巻	1971	前橋市史編さん委員会
清里・陣場遺跡	1981	群馬県埋蔵文化財調査事業団
芳賀東部団地遺跡II	1988	前橋市教育委員会
前田遺跡	1991	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
宮地中田遺跡	1997	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
西善尺司II遺跡	1998	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
下増田越渡III遺跡	1998	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
年報18平成10年度事業概要		群馬県埋蔵文化財調査事業団
概説中世の土器・陶磁器		中世土器研究会編 真陽社
天平に咲いた華 日本の三彩と緑釉		五島美術館
図解考古学辞典		東京創元社刊

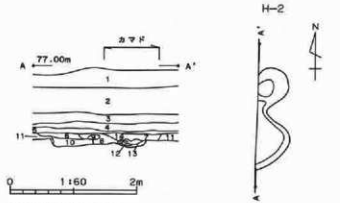


H-1 土層注記（A～B断面）
1. 褐色砂質土層 締まりあり、As-B軽石を10%以上含む
2. 暗褐色土層 粘性、締まりあり、白色軽石1～2mmを1%含み腐砂も含む
3. 暗褐色土層 粘性、締まりあり、白色軽石1～2mmを1%以下と炭化物と遺物粒をわずかに含む
4. 暗褐色土層 粘性、締まりあり、黒色土を含み白色軽石粒を所々に含む
5. 黒色土層 粘性、締まりあり、所々にAs-C軽石2mmを含む
6. 鈍い黄褐色砂質土層 粘性、締まりあり、白色軽石1mmを含む

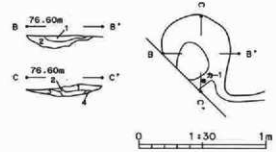
H-1 D-1 土層注記（C-C'断面）
1. 灰褐色土層 粘性、締まりあり、炭化物、焼土粒を所々含む
2. 鈍い赤褐色土層 粘性、締まりややあり、焼土粒を多く含む
3. 灰褐色土層 粘性、締まりややあり、灰と焼土粒を多く含む
4. 灰褐色土層 粘性、締まりあり、灰と焼土粒、黄褐色砂質土粒を含む



H-1カマド 土層注記（E～G断面）
1. 鈍い黄褐色土層と灰、焼土の混土層
2. 鈍い黄褐色土層 炭化物、焼土物、黄褐色砂質土粒を含む
3. 鈍い黄褐色土層 粘性、締まりあり、黄褐色砂質土を所々に含む
4. 黒褐色灰層
5. 鈍い黄褐色土層 粘性、締まりあり、わずかに炭化物を含む
6. 灰黄褐色土層 灰、炭化物、黄褐色砂質土粒を含む

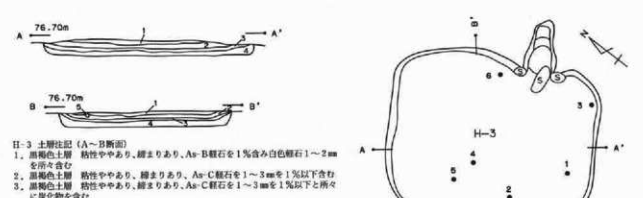


H-2 土層注記（A-A'断面）
1. 鈍い黄橙色砂質土層 小礫、石入る（盛土）
2. 鈍い黄橙色砂質土層 小礫、石、ゴミ、鉄片、ビニール入る（盛土）
3. 鈍い黄褐色土層 粘性なく、締まりあり、白色軽石1～2mmを1%と腐砂を含む
4. 鈍い黄褐色土層 粘性、締まりあり、白色軽石1～2mmを1%含み、As-B軽石をブロック状に含む
5. As-B軽石と6、8層をわずかに含む混土層
6. 暗褐色土層 粘性、締まりあり、白色軽石1～2mmを1%以下含む
7. 褐色土層 粘性、締まりあり、粘土粒と炭化物、焼土粒をわずかに含む
8. 褐色土層 粘性、締まりあり、粘土粒と炭化物、焼土粒
9. 橙色土層 粘土、焼土の混土層
10. 黒褐色土層 粘性、締まりあり、炭化物、焼土粒をわずかに含み As-C軽石を所々に含む
11. 黒色土層 粘性、締まりあり、As-C軽石2～3mmを1%以下含む
12. 暗褐色土層 灰、焼土粒、炭化物を含む混土層
13. 褐色土層 粘性、締まりあり、わずかに焼土粒、炭化物を含む
14. 橙色粘土、焼土、灰の混土層

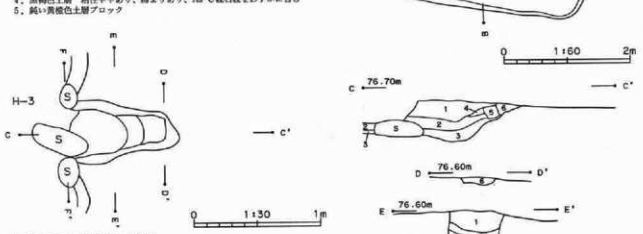


H-2カマド 土層注記（B～C断面）
1. 褐色土層 粘性、締まりややあり、白色軽石粒とわずかに焼土粒を含む
2. 褐色土層 粘性、締まりややあり、焼土粒5～10mmを所々に含み、灰層を含む
3. 焼土と灰の混土層
4. 焼土ブロック

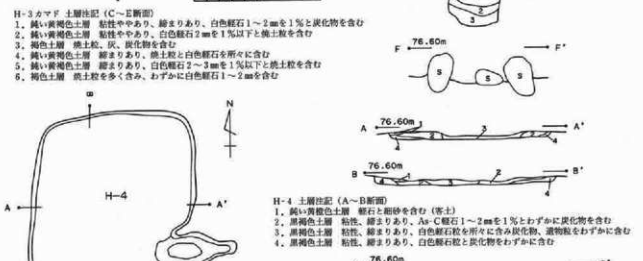
第5図 H-1・2号住居跡、カマド実測図



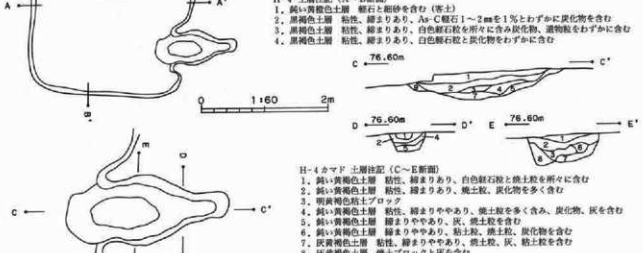
H-3 土層注記（A～B断面）
1. 黒褐色土層　粘性ややあり、締まりあり、As-B軽石を1%含み白色軽石1～2mmを所々含む
2. 黒褐色土層　粘性ややあり、締まりあり、As-C軽石を1～3mmを1%以下含む
3. 黒褐色土層　粘性ややあり、締まりあり、As-C軽石を1～3mmを1%以下と所々に炭化物を含む
4. 黒褐色土層　粘性ややあり、締まりあり、As-C軽石粒をわずかに含む
5. 鈍い黄橙色土層ブロック



H-3カマド 土層注記（C～E断面）
1. 鈍い黄褐色土層　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石1～2mmを1%と炭化物を含む
2. 鈍い黄褐色土層　粘性ややあり、白色軽石3mmを1%以下と焼土粒を含む
3. 褐色土層　焼土粒、灰、炭化物を含む
4. 鈍い黄褐色土層　締まりあり、焼土粒と白色軽石を所々に含む
5. 鈍い黄橙色土層　締まりあり、白色軽石2～3mmを1%以下と焼土粒を含む
6. 褐色土層　焼土粒を多く含み、わずかに白色軽石1～2mmを含む

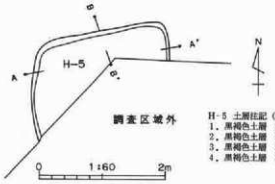


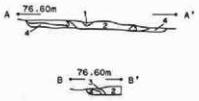
H-4 土層注記（A～B断面）
1. 鈍い黄橙色土層　軽石と細砂を含む（客土）
2. 黒褐色土層　粘性、締まりあり、As-C軽石1～2mmを1%とわずかに炭化物を含む
3. 黒褐色土層　粘性、締まりあり、白色軽石粒を所々に含み炭化物、遺物粒をわずかに含む
4. 黒褐色土層　粘性、締まりあり、白色軽石粒と炭化物をわずかに含む



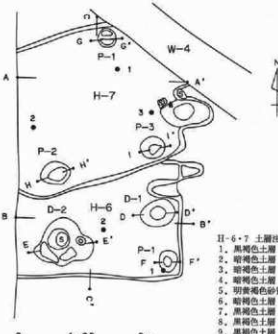
H-4カマド 土層注記（C～E断面）
1. 鈍い黄褐色土層　粘性、締まりあり、白色軽石粒と焼土粒を所々に含む
2. 鈍い黄褐色土層　粘性、締まりあり、焼土粒、炭化物を多く含む
3. 明黄褐色焼土ブロック
4. 鈍い黄褐色土層　粘性、締まりややあり、焼土粒を多く含み、炭化物、灰を含む
5. 鈍い黄褐色土層　締まりややあり、灰、焼土粒を含む
6. 鈍い黄褐色土層　締まりややあり、粘土粒、焼土粒、炭化物を含む
7. 灰黄褐色土層　粘性、締まりややあり、焼土粒、灰、粘土粒を含む
8. 灰黄褐色土層　焼土ブロックと灰を含む
9. 鈍い黄褐色土層　粘性、締まりあり、わずかに焼土粒、軽石粒を含む

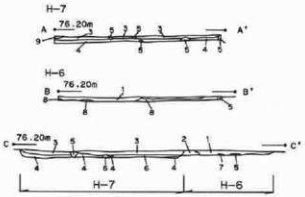
第6図　H-3・4号住居跡、カマド実測図



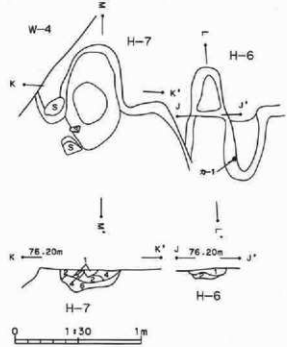


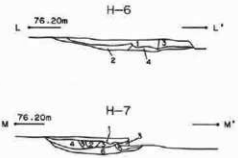
H-5 土層注記（A～B断面）
1．黒褐色土層　粘性ややあり、締まりあり。As-B軽石をわずかに含み鈍い黄橙色土（浴土）を上層に含む
2．黒褐色土層　粘性、締まりあり。As-C軽石粒と炭化粒をわずかに含む
3．黒褐色土層　粘性、締まりあり。As-C軽石を1％以下含み、炭化物、遺物粒を所々に含む
4．黒褐色土層　粘性、締まりあり、わずかに軽石粒を含み炭化物と黒色土ブロックを所々に含む





H-6・7 土層注記（A～C断面）
1．黒褐色土層　粘性ややあり、締まりあり。As-B軽石を5％と白色軽石3～5mmを所々含む
2．暗褐色土層　粘性。締まりあり。白色軽石粒と明黄褐色砂質土ブロックをわずかに含む
3．暗褐色土層　粘性ややあり、締まりあり。As-B軽石を1％。白色軽石粒、炭化物をわずかに含む
4．暗褐色土層　粘性。締まりあり。As-C軽石2～3mmを1％以下。焼土粒、炭化物を所々に含む
5．明黄褐色砂質土ブロック
6．暗褐色土層　粘性、締まりあり。わずかに白色軽石粒も含む
7．黒褐色土層　わずかに灰を含む
8．黒褐色土層　粘性ややあり、締まりあり。焼土粒、炭化粒が多く、わずかにAs-C軽石1～2mmを含む
9．黒褐色土層　粘性ややあり、締まりあり。As-B軽石と明黄褐色砂質土がラミナ状に入る





H-6カマド 土層注記
1．灰褐色土層　焼土、炭化物を含む
2．灰と焼土、炭化物を含む灰層
3．灰褐色土層　軽石粒と焼土粒を含む
4．黒色の灰層と焼土の混土層

H-7カマド 土層注記
1．灰褐色土層　締まりあり、白色軽石粒とわずかに炭化物を含む
2．鈍い黄橙色粘土ブロック
3．灰褐色土層と炭化物、焼土粒を含む混土層
4．灰褐色土層と焼土、炭化物、粘土を含む混土層
5．黒色区層　粘土粒をわずかに含む
6．黒色の灰と焼土、炭化物を含む灰層

第7図　H-5～7号住居跡、カマド、W-4実測図

H-6 P-1 土層注記（F-F'断面）
1、灰黄褐色土層　締まりあり、炭化物、焼土粒をわずかに含む
2、灰黄褐色土層　締まりあり、炭化物と鈍い黄橙色粘土をわずかに含む

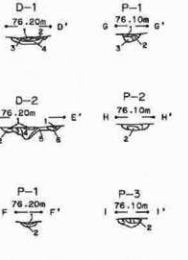
H-6 D-1 土層注記（D-D'断面）
1、黒褐色灰層　焼土粒を含む
2、灰褐色土層　灰、焼土、炭化物を含む
3、鈍い橙色土層　灰、焼土、明黄褐色砂質土粒を含む
4、鈍い黄褐色土層　焼土、炭化物、明黄褐色砂質土粒を多く含む

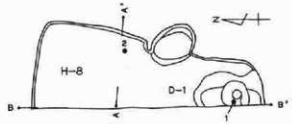
H-6 D-2 土層注記（E-E'断面）
1、褐灰色土層　粘性、締まりなく、As-B軽石を全体に含む
2、褐灰色土層　粘性、締まりあり、As-B軽石1％と焼土粒、炭化物を所々に含む
3、褐灰色土層　粘性、締まりあり、白色軽石1～3mmを1％以下と明黄褐色砂質土粒を所々に含む
4、灰黄褐色土層　粘性、締まりあり、白色軽石1～3mm、遺物粒をわずかに含む
5、鈍い黄褐色土層　粘性、締まりあり、白色軽石1～3mmと明黄褐色砂質土粒3～10mmを所々に含む
6、鈍い黄褐色土層　粘性、締まりあり、白色軽石5～10mmと明黄褐色砂質土、遺物粒を含む

H-7 P-1 土層注記（G-G'断面）
1、暗褐色土層　粘性、締まりややあり、白色軽石とわずかに焼土を含む
2、明黄褐色砂質土層
3、明黄褐色砂質土層　1層を所々に含む

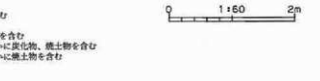
H-7 P-2 土層注記（H-H'断面）
1、暗褐色土層　粘性、締まりややあり、白色軽石粒を含み炭化物と明黄褐色砂質土層粒を所々に含む
2、明黄褐色砂質土層　1層わずかに含む

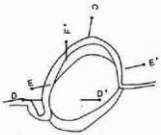
H-7 P-3 土層注記（I-I'断面）
1、暗褐色土層　粘性、締まりややあり、白色軽石1～3mmを所々と炭化物、灰をわずかに含む
2、明黄褐色砂質土層
3、明黄褐色砂質土層　暗褐色土層を所々に含む





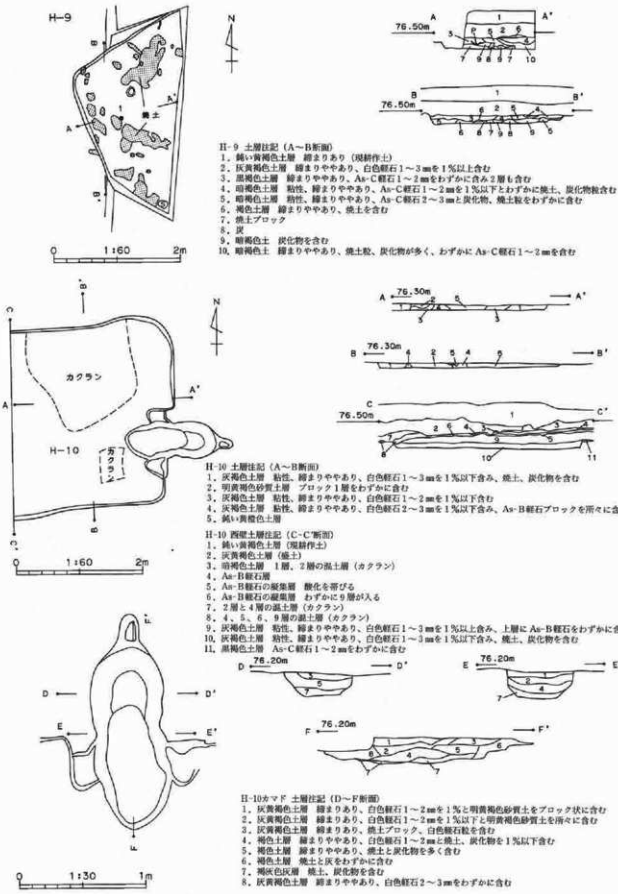
H-8 土層注記（A～B'断面）
1、灰黄褐色土層　白色軽石粒を含む（現耕作土）
2、鈍い黄褐色土層　締まりあり、白色軽石2～3mmとAs-B軽石をブロック状に含む
3、鈍い黄褐色土層　粘性、締まりあり、白色軽石2～3mmと遺物粒を所々に含む
4、褐色土層　締まりあり、白色軽石2～3mmを所々に含み遺物粒を含む
5、褐色土層　締まりあり、白色軽石1～2mmとわずかに炭化物と遺物粒を含む
6、褐色土層　締まりあり、Hr-FP 3～10mmを所々と炭化物、遺物粒を含む
7、灰黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石粒1～2mmをわずかに含む
8、鈍い黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石粒1～2mmを所々に含む
9、鈍い黄褐色土層　締まりややあり、わずかに白色軽石粒、炭化物粒を含む
10、鈍い黄褐色土層　Hr-FP 3～5mmを所々に含みわずかに灰を含む
11、鈍い黄褐色土層　締まりややあり、上層に灰を多く含みわずかに炭化物を含む
12、鈍い黄褐色土層　締まりややあり、Hr-FP 2～5mmを所々に含みわずかに炭化物、焼土粒を含む
13、鈍い黄褐色土層　締まりややあり、Hr-FP 2～3mmを所々に含みわずかに焼土粒を含む





H-8カマド 土層注記
1、褐灰色土層　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石1～2mmを所々に含み、炭化物も含む
2、褐灰色土層　粘性、締まりあり、白色軽石粒と焼土粒をわずかに含む
3、鈍い黄褐色土層　粘性、締まりあり、焼土粒と炭化物を含み、明黄褐色砂質土をわずかに含む
4、明黄褐色土層と1層を含む掘土ブロック
5、鈍い黄褐色土層　粘性ややあり、締まりあり、焼土粒2～5mmを所々に含む

第8図　H-6～8号住居跡、カマド実測図



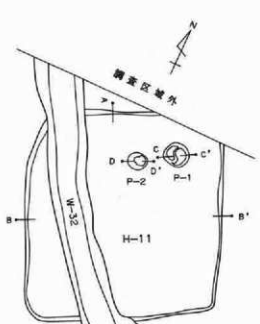
H-9 土層注記（A～B断面）
1．黄褐色土層　締まりあり（現耕作土）
2．灰黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石1～3㎜を1％以上含む
3．黒褐色土層　締まりややあり、As-C軽石1～2㎜をわずかに含み2層も含む
4．暗褐色土層　粘性、締まりややあり、As-C軽石1～2㎜を1％以下とわずかに焼土、炭化物粒含む
5．暗褐色土層　粘性、締まりややあり、As-C軽石2～3㎜と炭化物、焼土粒をわずかに含む
6．褐色土層　締まりややあり、焼土を含む
7．焼土ブロック
8．炭
9．暗褐色土　炭化物を含む
10．暗褐色土　締まりややあり、焼土粒、炭化物が多く、わずかにAs-C軽石1～2㎜を含む

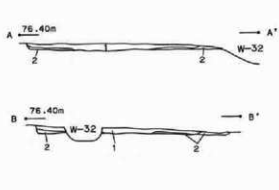
H-10 土層注記（A～B断面）
1．灰褐色土層　粘性、締まりややあり、白色軽石1～3㎜を1％以下含み、焼土、炭化物を含む
2．明黄褐色砂質土層　ブロック1層をわずかに含む
3．灰褐色土層　粘性、締まりややあり、白色軽石1～2㎜を1％以下含む
4．灰褐色土層　粘性、締まりややあり、白色軽石2～3㎜を1％以下含み、As-B軽石ブロックを所々に含む
5．黄褐色土層

H-10 西壁土層注記（C-C'断面）
1．黄褐色土層（現耕作土）
2．灰黄褐色土層（盛土）
3．暗褐色土層　1層、2層の混土層（カクラン）
4．As-B軽石層
5．As-B軽石の凝集層　酸化を帯びる
6．As-B軽石の凝集層　わずかに3層が入る
7．2層と4層の混土層（カクラン）
8．4、5、6、9層の混土層（カクラン）
9．灰褐色土層　粘性、締まりややあり、白色軽石1～3㎜を1％以上含み、上層にAs-B軽石をわずかに含む
10．灰褐色土層　粘性、締まりややあり、白色軽石1～3㎜を1％以下含み、焼土、炭化物を含む
11．黒褐色土層　As-C軽石1～2㎜をわずかに含む

H-10カマド 土層注記（D～F断面）
1．灰黄褐色土層　締まりあり、白色軽石1～2㎜を1％と明黄褐色砂質土をブロック状に含む
2．灰黄褐色土層　締まりあり、白色軽石1～2㎜を1％以下と明黄褐色砂質土を所々に含む
3．灰黄褐色土層　締まりあり、焼土ブロック、白色軽石粒を含む
4．褐色土層　締まりややあり、白色軽石1～2㎜と焼土、炭化物を1％以下含む
5．褐色土層　締まりややあり、焼土と炭化物を多く含む
6．褐色土層　焼土と灰をわずかに含む
7．褐灰色灰層　焼土、炭化物を含む
8．灰黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石2～3㎜をわずかに含む

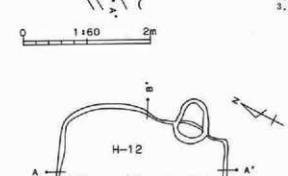
第9図　H-9・10号住居跡、カマド実測図



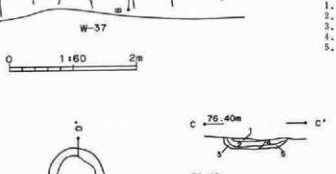


H-11 土層注記（A～B断面）
1．鈍い黄褐色砂質土層　白色軽石1～3㎜を1%以下と、1cm以上のHr-FPを所々に含む
2．鈍い黄褐色砂質土層　白色軽石1～2㎜をわずかに含む

H-11 P-1・2 土層注記（C～D断面）
1．鈍い黄褐色土層　細砂、Hr-FPを所々に含む
2．鈍い黄褐色土層と明黄褐色砂質土層の混土層
3．鈍い黄褐色土層　わずかに明黄褐色砂質土粒含む



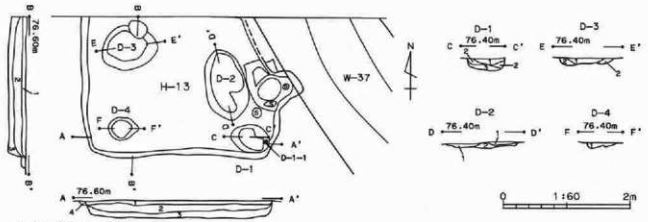
H-12 土層注記（A～B断面）
1．灰褐色砂質土層　締まりなし、暗黄褐色粘質土ブロックをわずかに含む
2．灰黄褐色砂質土層　白色軽石1～2㎜を1%以上と細砂を含む
3．暗褐色土層　粘性、締まりややあり、白色軽石粒を所々に含む
4．暗褐色土層と明黄褐色砂質土の混土層
5．灰黄褐色土層と明黄褐色土層の混土層



H-12 P-1～3 土層注記（E～F断面）
1．鈍い黄褐色土層　Hr-FP 2～3㎜を1%以下と細砂を含む
2．鈍い黄褐色土層　焼土区を含む

H-12かマド 土層注記（C～D断面）
1．鈍い黄褐色土層　締まりなく、白色軽石粒とわずか焼土粒を含む
2．灰層　焼土粒を含む
3．鈍い黄褐色土層　白色軽石1～5㎜を所々に含み、わずかに焼土粒を含む
4．鈍い黄褐色土層と明黄褐色砂質土層の混土層　焼土ブロックを含む
5．黄褐色砂質土層　白色軽石粒とわずかに焼土粒を含む

第10図　H-11・12号住居跡、カマド、W-32・37実測図



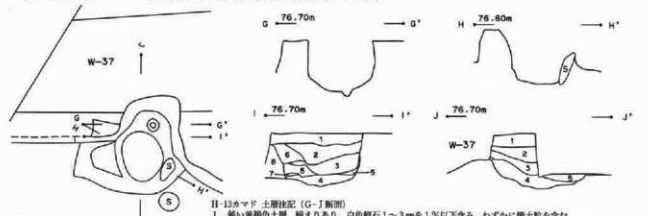
H-13 土層注記（A～B断面）
1. 鈍い黄褐色砂質土層　締まりあり、白色細石2～5㎜を1％以下含む
2. 鈍い黄褐色砂質土層　締まりあり、白色細石2～5㎜を1％以下含み、焼土、炭化物粒を所々に含む
3. 鈍い黄褐色砂質土層　締まりあり、白色細石1～5㎜を1％以下含み、焼土粒、明黄褐色砂質土を所々に含む
4. 灰黄褐色土層　粘性やや有り、締まりあり、白色細石を1％以下含む

H-13 D-1 土層注記（C-C'断面）
1. 鈍い黄褐色土層　締まりややあり Hr-FP 2～5㎜と焼土、炭化物を所々にを含む
2. 鈍い黄褐色土層　明黄褐色砂質土と炭化物を含む
3. 鈍い黄褐色土層　灰、焼土、炭化物を多く含む

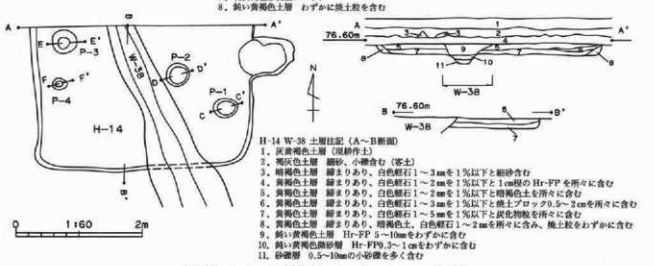
H-13 D-2 土層注記（D-D'断面）
1. 鈍い黄褐色土層　わずかに灰、焼土、炭化物を含む
2. 鈍い黄褐色土層　わずかに焼土粒と明黄褐色砂質土粒を含む

H-13 D-4 土層注記（F-F'断面）
1. 鈍い黄褐色土層　わずかに Hr-FP 1～2㎜含む

H-13 D-3 土層注記（E-E'断面）
1. 鈍い黄褐色土層　締まりややあり、Hr-FP 3～5㎜を所々にを含み、わずかに焼土粒を含む
2. 鈍い黄褐色土層　Hr-FP 2～3㎜を所々にを含み、わずかに明黄褐色砂質土ブロックを含む

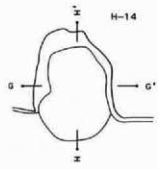


H-13カマド 土層注記（G-J断面）
1. 鈍い黄褐色土層　締まりあり、白色細石1～3㎜を1％以下含み、わずかに焼土粒を含む
2. 鈍い黄褐色土層　締まりあり、白色細石1～3㎜を1％以下含み、わずかに焼土、炭化物粒を含む
3. 鈍い黄褐色土層　締まりややあり、白色細石2～5㎜を所々に含み、焼土0.5～1㎝をブロック状に含む
4. 灰層　焼土、炭化物を含む
5. 鈍い黄褐色土層　焼土ブロックを多く含み、わずかに灰を含む
6. 鈍い黄褐色土層　締まりあり、白色細石2～3㎜を所々に含み、わずかに小礫を含む
7. 明黄褐色砂質土ブロック
8. 鈍い黄褐色土層　わずかに焼土粒を含む



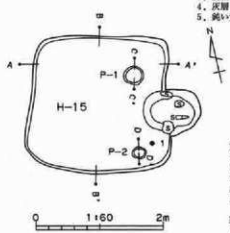
H-14 W-38 土層注記（A～B断面）
1. 灰黄褐色土層（混耕作土）
2. 黒灰色土層　細砂、小礫含む（客土）
3. 暗褐色土層　締まりあり、白色細石1～3㎜を1％以下と細砂含む
4. 黄褐色土層　締まりあり、白色細石1～2㎜を1％以下と1㎝程の Hr-FP を所々に含む
5. 黄褐色土層　締まりあり、白色細石1～2㎜を1％以下と暗褐色土を所々に含む
6. 黄褐色土層　締まりあり、白色細石1～3㎜を1％以下と焼土ブロック0.5～2㎝を所々に含む
7. 黄褐色土層　締まりあり、白色細石1～5㎜を1％以下と炭化物粒を所々に含む
8. 黄褐色土層　締まりあり、暗褐色土、白色細石1～2㎜を所々に含み、焼土粒をわずかに含む
9. 鈍い黄褐色土層　Hr-FP 5～10㎜をわずかに含む
10. 鈍い黄褐色微砂層　Hr-FP0.3～1㎝をわずかに含む
11. 砂礫層　0.5～10㎜の小砂礫を多く含む

第11図　H-13・14号住居跡、カマド、W-37・38実測図



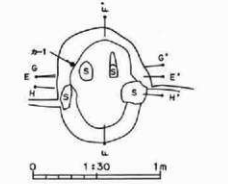
H-14 P-1～4 土層注記（C～F断面）
1. 灰層
2. 鈍い黄褐色土層　締まりあり、焼土ブロックを多く含む
3. 鈍い黄褐色土層　Hr-FP 2～3㎜と暗褐色ブロック5㎜程を所々に含む

H-14カマド 土層注記（H～G断面）
1. 褐色土層　締まりあり、白色軽石1～3㎜を1％以下含み、焼土、炭化物粒を所々に含む
2. 褐色土層　締まりあり、焼土ブロックを多く含み、わずかに炭化物、白色軽石1～2㎜を含む
3. 焼土ブロック、灰、炭化物の混土層
4. 灰層　焼土、炭化物粒を含む
5. 鈍い黄褐色土層　締まりあり、わずかに焼土粒を含む

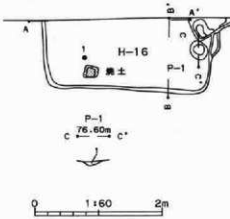


H-15 土層注記（A～B断面）
1. 鈍い黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石1～2㎜を1％以下と炭化物を所々に含む
2. 鈍い黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石粒を1％以下と Hr-FP 3～5㎜を所々に含む
3. 鈍い黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石2～3㎜と焼土、炭化物粒を所々に含む
4. 鈍い黄褐色土層　炭化物を多く含む
5. 黒褐色土層　締まりややあり、白色軽石粒を1％以上と As-C軽石わずかに含む

H-15 P-1～2 土層注記（C～D断面）
1. 鈍い黄褐色土層　締まりあり、Hr-FP 1～2㎜をわずかに含み、暗褐色土層ブロックを所々に含む
2. 暗褐色土層　締まりあり、明黄褐色砂質土層を含む



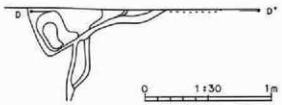
H-15カマド 土層注記（E～F断面）
1. 鈍い黄褐色土層　締まりあり、白色軽石1～2㎜を1％以下と焼土、炭化物粒を所々に含む
2. 鈍い黄褐色土層　焼土、灰、炭化物を多く含む
3. 鈍い黄褐色土層　締まりやや弱い、白色軽石1㎜を所々に含み、わずかに炭化物粒を含む
4. 鈍い黄褐色土層　締まりやや弱い、白色軽石1㎜をわずかに含む
5. 灰黄褐色土層　締まりあり、白色軽石1～2㎜を含み、わずかに焼土粒を含む
6. 黒褐色土層　粘性、締まりあり、As-C軽石2～3㎜を1％以下含む



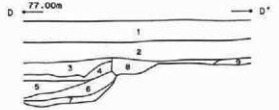
H-16 土層注記（A～B断面）
1. 灰黄褐色土層（現耕作土）
2. 鈍い黄褐色土層　客土、カクランされ機械成がある
3. 鈍い黄褐色土層　締まりあり、白色軽石1～2㎜を1％以下含み、わずかに炭化物粒を含む
4. 鈍い黄褐色土層　締まりあり、白色軽石1～2㎜を1％以下含み、わずかに焼土、炭化物を含む
5. 褐色土層　締まりあり、黒褐色粘質土（As-C軽石粒を含む）と明黄褐色砂質土を含む
6. 鈍い黄褐色砂質土層　As-B軽石を多く含み、わずかに3層をブロック状に含む
7. 鈍い黄褐色土層　締まりあり、6層をわずかに含み、炭化物を含む

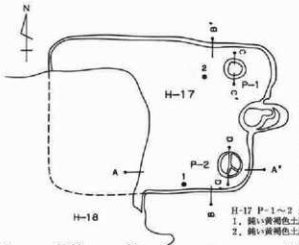
H-16 P-1 土層注記（C-C'断面）
1. 鈍い黄褐色土層　締まりあり、わずかに焼土、炭化物を含む

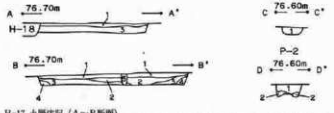
第12図　H-14～16号住居跡、カマド実測図



H-16カマド 土層注記（D-D'断面）
1．灰黄褐色土層（現耕作土）
2．鈍い黄褐色土層　客土、カクランされ機械痕がある
3．鈍い黄褐色砂質土層　As-B軽石を多く含み、わずかに3層をブロック状に含む
4．鈍い黄褐色土層　締まりあり、5層をわずかに含み、炭化物を含む
5．鈍い黄褐色土層　締まりあり、白色軽石1～2㎜を1％以下含み、わずかに焼土、炭化物を含む
6．褐色土層　締まりややあり 焼土、炭化物を全体に含む
7．焼土と炭層の混土層　ラミナ状に堆積している
8．焼土層
9．暗褐色土層

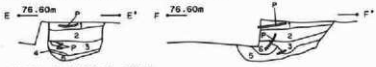




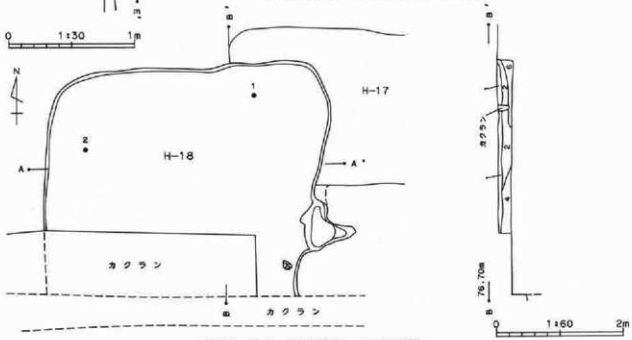


H-17 土層注記（A～B断面）
1．褐色土層　粘性ややあり、締まりあり、黒褐色粘質土(As-C軽石粒含む)ブロック、炭化物粒、As-B軽石ブロック、白色軽石2～3㎜を所々に含む
2．褐色土層　粘性ややあり、締まりあり、黒褐色粘質土を1層より多く含み、白色軽石1～2㎜を1％以下と炭化物をわずかに含む
3．褐色土層　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石1～2㎜をわずかに含む
4．褐色土層　粘性ややあり、締まりあり、明黄褐色砂質土をブロック状に含み、白色軽石1～2㎜をわずかに含む
5．鈍い黄褐色土層　粘性、締まりなし、現耕作土

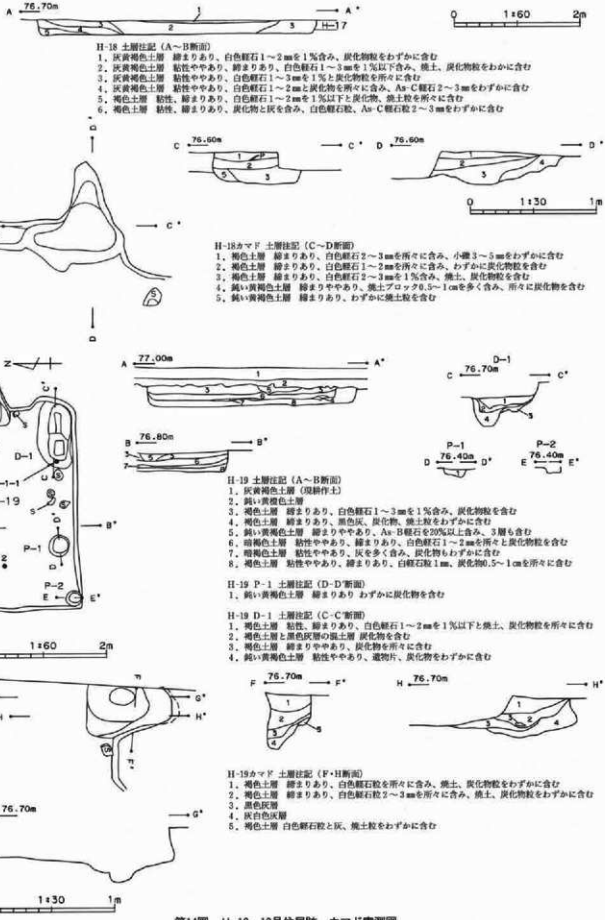
H-17 P-1～2 土層注記（C～D断面）
1．鈍い黄褐色土層　締まりあり、わずかに焼土ブロック2～5㎜と暗褐色土ブロック0.5～1㎝を含む
2．鈍い黄褐色土層　焼土と暗褐色土ブロックを1層より多く含む



H-17カマド 土層注記（E～F断面）
1．鈍い黄褐色土層　締まりあり、白色軽石1～2㎜を所々に含む
2．鈍い黄褐色土層　締まりあり、白色軽石1～3㎜を所々に含み、わずかに焼土粒を含む
3．鈍い黄褐色土層　締まりややあり、焼土、炭化物粒を所々に含む
4．焼土ブロックと灰の混土層
5．炭層　わずかに焼土粒を含む
6．鈍い黄褐色土層　わずかに灰と焼土ブロックを含む



第13図　H-16～18号住居跡、カマド実測図



H-18 土層注記（A～B断面）
1. 灰黄褐色土層　締まりあり、白色軽石1～2㎜を1%含み、炭化物粒をわずかに含む
2. 灰黄褐色土層　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石1～3㎜を1%以下含み、焼土、炭化物粒をわかに含む
3. 灰黄褐色土層　粘性ややあり、白色軽石1～3㎜を1%と炭化物粒を所々に含む
4. 灰黄褐色土層　粘性ややあり、白色軽石1～2㎜と炭化物を所々に含み、As-C軽石2～3㎜をわずかに含む
5. 褐色土層　粘性、締まりあり、白色軽石1～2㎜を1%以下と炭化物、焼土粒を所々に含む
6. 褐色土層　粘性、締まりあり、炭化物と灰を含み、白色軽石粒、As-C軽石粒2～3㎜をわずかに含む

H-18カマド 土層注記（C～D断面）
1. 褐色土層　締まりあり、白色軽石2～3㎜を所々に含み、小礫3～5㎜をわずかに含む
2. 褐色土層　締まりあり、白色軽石1～2㎜を所々に含み、わずかに炭化物粒を含む
3. 褐色土層　締まりあり、白色軽石2～3㎜を1%含み、焼土、炭化物粒を含む
4. 鈍い黄褐色土層　締まりややあり、焼土ブロック0.5～1cmを多く含み、所々に炭化物を含む
5. 鈍い黄褐色土層　締まりあり、わずかに焼土粒を含む

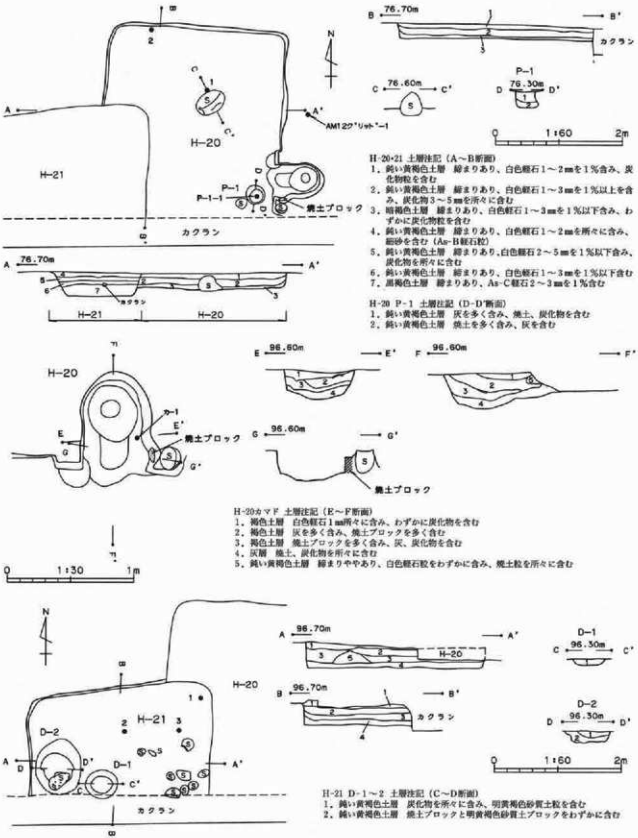
H-19 土層注記（A～B断面）
1. 灰黄褐色土層（現耕作土）
2. 鈍い黄橙色土層
3. 褐色土層　締まりあり、白色軽石1～3㎜を1%含み、炭化物粒を含む
4. 褐色土層　締まりあり、黒色灰、炭化物、焼土粒をわずかに含む
5. 鈍い黄褐色土層　締まりややあり、As-B軽石を20%以上含み、3層も含む
6. 暗褐色土層　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石1～2㎜を所々と炭化物粒を含む
7. 暗褐色土層　粘性ややあり、灰を多く含み、炭化物もわずかに含む
8. 褐色土層　粘性ややあり、締まりあり、白軽石粒1㎜、炭化物0.5～1cmを所々に含む

H-19 P-1 土層注記（D-D'断面）
1. 鈍い黄褐色土層　締まりあり わずかに炭化物を含む

H-19 D-1 土層注記（C-C'断面）
1. 褐色土層　粘性、締まりあり、白色軽石1～2㎜を1%以下と焼土、炭化物粒を所々に含む
2. 褐色土層と黒色灰層の混土層 炭化物を含む
3. 褐色土層　締まりややあり、炭化物を所々に含む
4. 鈍い黄褐色土層　粘性ややあり、遺物片、炭化物をわずかに含む

H-19カマド 土層注記（F・H断面）
1. 褐色土層　締まりあり、白色軽石粒を所々に含み、焼土、炭化物粒をわずかに含む
2. 褐色土層　締まりあり、白色軽石粒2～3㎜を所々に含み、焼土、炭化物粒をわずかに含む
3. 黒色灰層
4. 灰白色灰層
5. 褐色土層 白色軽石粒と灰、焼土粒をわずかに含む

第14図　H-18・19号住居跡、カマド実測図



H-20・21 土層注記（A～B断面）
1. 黄褐色土層　締まりあり、白色軽石1～2mmを1%含み、炭化物粒を含む
2. 黄褐色土層　締まりあり、白色軽石1～3mmを1%以上を含み、炭化物3～5mmを所々に含む
3. 暗褐色土層　締まりあり、白色軽石1～3mmを1%以下含み、わずかに炭化物粒を含む
4. 黄褐色土層　締まりあり、白色軽石1～2mmを所々に含み、細砂を含む（As-B軽石粒）
5. 黄褐色土層　締まりあり、白色軽石2～5mmを1%以下含み、炭化物を所々に含む
6. 黄褐色土層　締まりあり、白色軽石1～3mmを1%以下含む
7. 黒褐色土層　締まりあり、As-C軽石2～3mmを1%含む

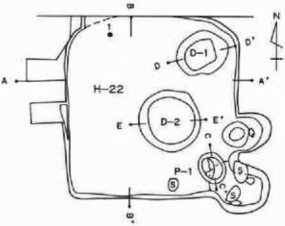
H-20 P-1 土層注記（D-D'断面）
1. 黄褐色土層　灰を多く含み、焼土、炭化物を含む
2. 黄褐色土層　焼土を多く含み、灰を含む

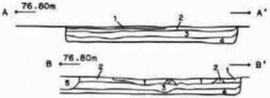
H-20カマド 土層注記（E～F断面）
1. 褐色土層　白色軽石1mm所々に含み、わずかに炭化物を含む
2. 褐色土層　灰を多く含み、焼土ブロックを多く含む
3. 褐色土層　焼土ブロックを多く含み、灰、炭化物を含む
4. 灰層　焼土、炭化物を所々に含む
5. 黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石粒をわずかに含み、焼土粒を所々に含む

H-21 D-1～2 土層注記（C～D断面）
1. 黄褐色土層　炭化物を所々に含み、明黄褐色砂質土粒を含む
2. 黄褐色土層　焼土ブロックと明黄褐色砂質土ブロックをわずかに含む

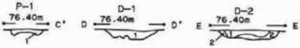
H-21 土層注記（A～B断面）
1. 黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石2～3mmを1%含み、細砂を多く含む（As-B軽石）
2. 黄褐色土層　締まりあり、白色軽石1～2mmを1%以下含み、焼土、炭化物粒を所々に含む
3. 黄褐色土層　締まりあり、白色軽石1～2mmを1%以下含み、焼土、灰、炭化物粒を所々に含む
4. 黄褐色土層　粘性ややあり、締まりあり、焼土、炭化物、明黄褐色粘土0.5～1cmを所々に含む
5. 黄褐色土層　粘性ややあり、締まりあり、炭化物、焼土、灰を多く含み、所々に明黄褐色粘土粒と白色軽石1～2mmを含む

第15図　H-20・21号住居跡、カマド実測図





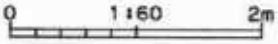
H-22 土層注記（A～B断面）
1．灰黄褐色土層（客土）
2．暗褐色土層　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒を含む
3．暗褐色土層　粘性ややあり、白色軽石1～3㎜を1％と Hr-FP0.5～1.5cm を所々に含み、炭化物粒をわずかに含む
4．暗褐色土層　粘性ややあり、白色軽石粒を1％以下含み、焼土、炭化物粒を含む
5．黒褐色土層　粘性、締まりあり、As-C軽石2～3㎜をわずかに含み、1層をブロック状に含む



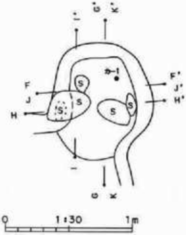
H-22 P-1 土層注記（C-C'断面）
1．鈍い黄褐色土層　焼土、炭化物粒を含む

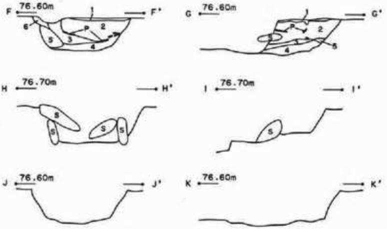
H-22 D-1 土層注記（D-D'断面）
1．鈍い黄褐色土層　締まりあり、焼土、炭化物を所々に含み、わずかに明黄褐色砂質土粒を含む

H-22 D-2 土層注記（E-E'断面）
1．鈍い黄褐色土層　締まりややあり、明黄褐色砂質土ブロックを所々に含む
2．鈍い黄褐色土層　締まりややあり、明黄褐色砂質土ブロックを1層より多く含む



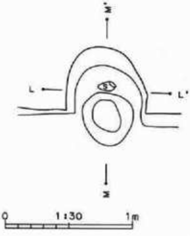
H-22 右

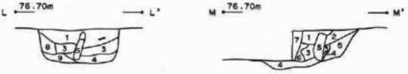




H-22右カマド 土層注記（F～G断面）
1．灰黄褐色土層　カクラン土層
2．鈍い黄褐色土層　締まりややあり、焼土、炭化物粒をわずかに含み、土器片を含む
3．鈍い黄褐色土層　焼土、炭化物、灰を含む混土層
4．灰層　焼土、炭化物を含む
5．焼土ブロック層
6．鈍い黄褐色土層　明黄褐色砂質土ブロックを含む

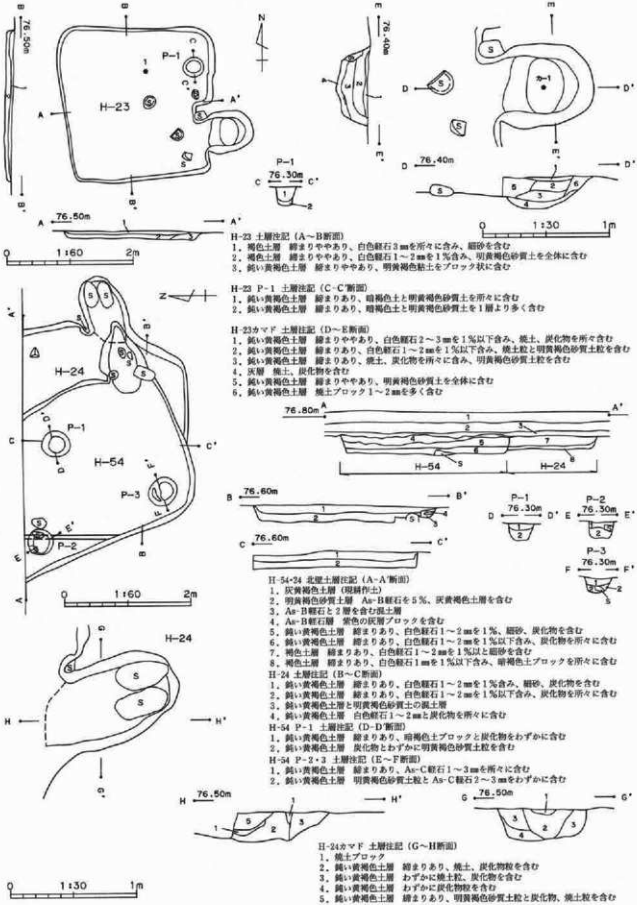
H-22 左





H-22左カマド 土層住記（L～M断面）
1．鈍い黄褐色土層　締まりあり、白色軽石1～3㎜を1％以下含み、焼土、炭化物を含む
2．鈍い黄褐色土層　締まりややあり、焼土ブロックを多く含む
3．鈍い黄褐色土層　締まりややあり、焼土、灰、炭化物を含む
4．灰層　焼土、炭化物を多く含む
5．灰黄褐色土層　締まりあり、焼土粒をわずかに含む
6．褐色土層　明黄褐色砂質土ブロックを含み、焼土、炭化物を所々に含む
7．褐色土層　締まりあり、白色軽石2～3㎜を1％以下含み、焼土、炭化物をわずかに含む
8．暗褐色土層　締まりあり、白色軽石2～3㎜を所々に含み、わずかに焼土粒を含む
9．鈍い黄褐色土層　白色軽石1～2㎜を所々に含み、わずかに焼土粒を含む

第16図　H-22号住居跡、カマド実測図



H-23 土層注記（A～B断面）
1．褐色土層　締まりややあり、白色軽石3㎜を所々に含み、細砂を含む
2．褐色土層　締まりややあり、白色軽石1～2㎜を1％含み、明黄褐色砂質土を全体に含む
3．鈍い黄褐色土層　締まりややあり、明黄褐色粘土をブロック状に含む

H-23 P-1 土層注記（C-C'断面）
1．鈍い黄褐色土層　締まりあり、暗褐色土と明黄褐色砂質土を所々に含む
2．鈍い黄褐色土層　締まりあり、暗褐色土と明黄褐色砂質土を1層より多く含む

H-23カマド 土層注記（D～E断面）
1．鈍い黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石2～3㎜を1％以下含み、焼土、炭化物を所々含む
2．鈍い黄褐色土層　締まりあり、白色軽石1～2㎜を1％以下含み、焼土粒と明黄褐色砂質土粒を含む
3．鈍い黄褐色土層　締まりあり、焼土、炭化物を所々に含み、明黄褐色砂質土粒を含む
4．灰層　焼土、炭化物を含む
5．鈍い黄褐色土層　締まりややあり、明黄褐色砂質土を全体に含む
6．鈍い黄褐色土層　焼土ブロック1～2㎜を多く含む

H-54-24 北壁土層注記（A-A'断面）
1．灰黄褐色土層（現耕作土）
2．明黄褐色砂質土層　As-B軽石を5％、灰黄褐色土層を含む
3．As-B軽石と2層を含む黒土層
4．As-B軽石層　紫色の灰層ブロックを含む
5．鈍い黄褐色土層　締まりあり、白色軽石1～2㎜を1％、細砂、炭化物を含む
6．鈍い黄褐色土層　締まりあり、白色軽石1～2㎜を1％以下含み、炭化物を所々に含む
7．褐色土層　締まりあり、白色軽石1～2㎜を1％以上細砂を含む
8．褐色土層　締まりあり、白色軽石1㎜を1％以下含み、暗褐色土ブロックを所々に含む

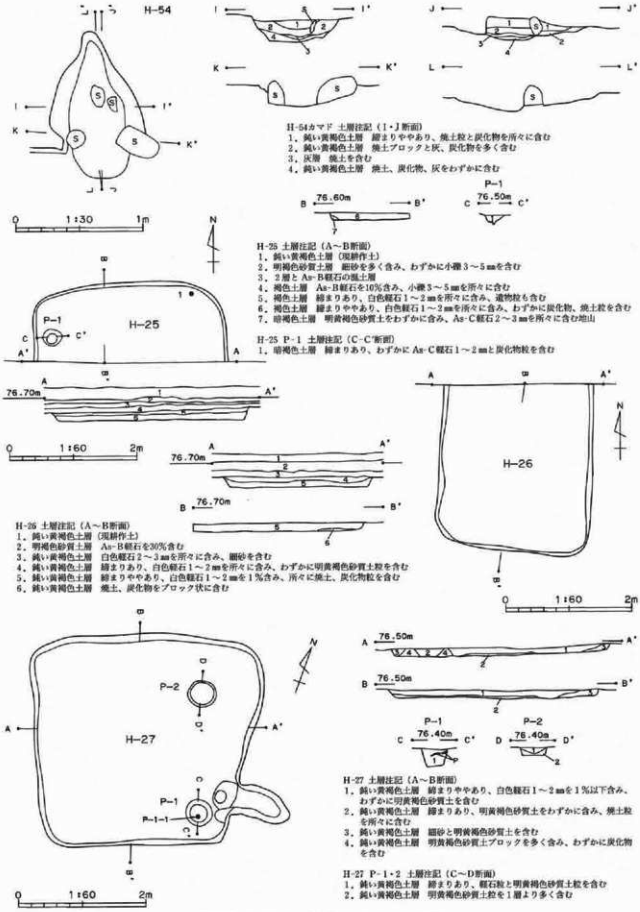
H-24 土層注記（B～C断面）
1．鈍い黄褐色土層　締まりあり、白色軽石1～2㎜を1％含み、細砂、炭化物を含む
2．鈍い黄褐色土層　締まりあり、白色軽石1～2㎜を1％以下含み、炭化物を所々に含む
3．鈍い黄褐色土層と明黄褐色砂質土の混土層
4．鈍い黄褐色土層　白色軽石1～2㎜と炭化物を所々に含む

H-54 P-1 土層注記（D-D'断面）
1．鈍い黄褐色土層　締まりあり、暗褐色土ブロックと炭化物をわずかに含む
2．鈍い黄褐色土層　炭化物とわずかに明黄褐色砂質土粒を含む

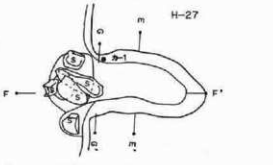
H-54 P-2・3 土層注記（E～F断面）
1．鈍い黄褐色土層　締まりあり、As-C軽石1～3㎜を所々に含む
2．鈍い黄褐色土層　明黄褐色砂質土粒と As-C軽石2～3㎜をわずかに含む

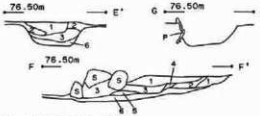
H-24カマド 土層注記（G～H断面）
1．焼土ブロック
2．鈍い黄褐色土層　締まりあり、焼土、炭化物粒を含む
3．鈍い黄褐色土層　わずかに焼土粒、炭化物を含む
4．鈍い黄褐色土層　わずかに炭化物粒を含む
5．鈍い黄褐色土層　締まりあり、明黄褐色砂質土粒と炭化物、焼土粒を含む

第17図　H-23・24・54号住居跡、カマド実測図

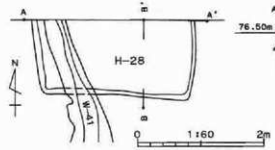


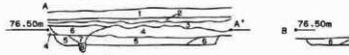
第18図　H-25～27・54号住居跡、カマド実測図



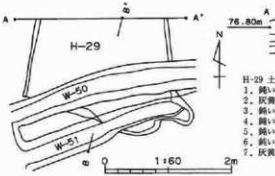


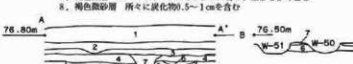
H-27カマド 土層注記（E～F断面）
1、黄い黄褐色土層　細砂を多く含み、わずかに焼土粒を含む
2、黄い黄褐色土層　細砂を含み、焼土ブロック0.5～1cmを多く含み、灰も含む
3、黄い黄褐色土層　細砂を含み、焼土粒をわずかに灰を含む
4、黄い黄褐色土層　細砂を含み、焼土粒をわずかに含む
5、焼土ブロック
6、黄い黄褐色土層 焼土粒をわずかに含む



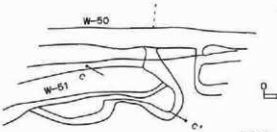


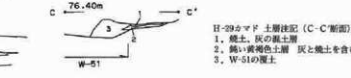
H-28 土層注記（A～B断面）
1、灰黄褐色土層（現耕作土）
2、明褐色砂質土層　As-B軽石を含む
3、As-B軽石層
4、褐色土層　縞まりあり、白色軽石1～3mmを1%以下含み、As-B軽石を所々に含む
5、褐色土層　縞まりややあり、白色軽石1mmを所々に含む
6、褐色土層　白色軽石1～2mmを所々と細砂を含む
7、褐色土層　Hr-FP0.5～1cmをわずかに含み、細砂を多く含む
8、褐色微砂層　所々に炭化物0.5～1cmを含む



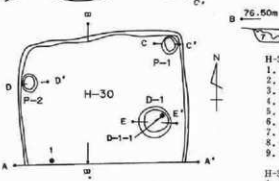


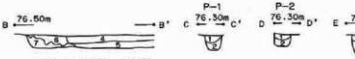
H-29 土層注記（A～B断面）
1、黄い黄褐色土層（現耕作土）
2、灰黄褐色土層　細砂を含む（客土）
3、黄い黄褐色土層　縞まりややあり、白色軽石粒含む
4、黄い黄褐色土層　縞まりややあり、Hr-FP 2～3mmを1%以下含み、所々に炭化物、遺物粒含む
5、黄い黄褐色土層　縞まりあり、白色軽石粒とわずかに明黄褐色砂質土粒を含む
6、黄い黄褐色土層　縞まりあり、Hr-FP 2～3mmを所々に含み、わずかに炭化物を含む
7、灰黄褐色砂質土層





H-29カマド 土層注記（C-C'断面）
1、焼土、灰の混土層
2、黄い黄褐色土層　灰と焼土を含む
3、W-51の堆土



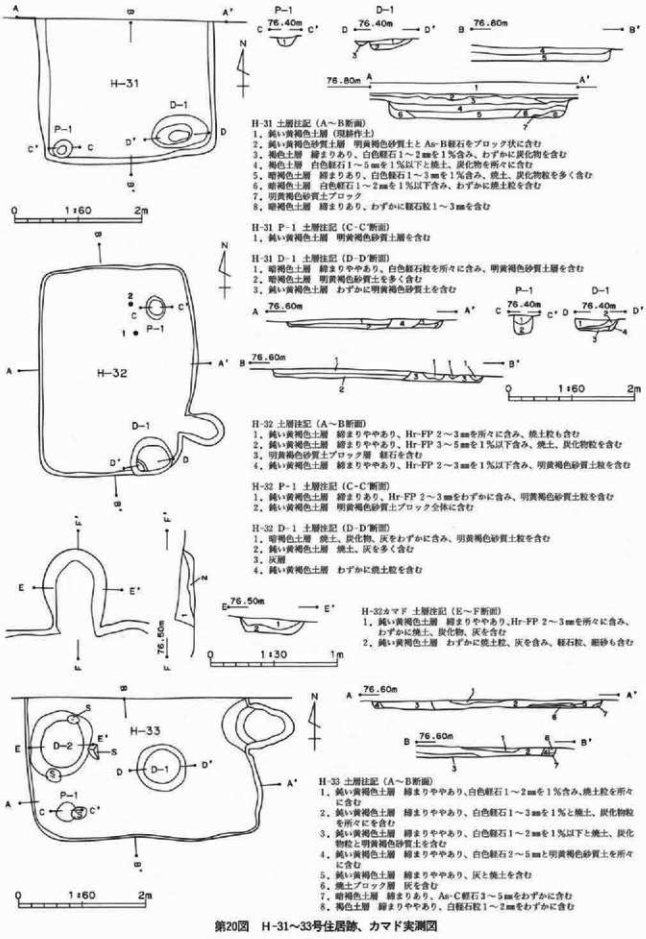


H-30 土層注記（A～B断面）
1、黄い褐色土層（現耕作土）
2、明褐色砂質土層　As-B軽石を1%以上含む
3、褐色土層　縞まりあり、白色軽石1～2mmを1%以上含み、炭化物と遺物粒を所々に含む
4、褐色土層　縞まりあり、白色軽石1～2mmを1%とわずかに小礫、炭化物を含む
5、褐色土層　縞まりややあり、白色軽石1mmと炭化物、焼土粒を所々に含む
6、黄い黄褐色土層　細砂を多く含み、白色軽石1～2mmと炭化物をわずかに含む
7、明黄褐色砂質土ブロック
8、黄い黄褐色土層　明黄褐色砂質土ブロックを多く含む
9、褐色土層　縞まりあり、白色軽石を含み、明黄褐色砂質ブロックを含む

H-30 P-1・2 土層注記（C～D断面）
1、黄い黄褐色土層　細砂と明黄褐色砂質土粒を含む
2、黄い黄褐色土層　1層より明黄褐色砂質土粒を多く含む

H-30 D-1 土層注記（E-E'断面）
1、黄い黄褐色土層　縞まりややあり、As-C軽石1～2mmを所々に含み、わずかに炭化物を含む
2、黄い黄褐色土層　1層より炭化物を多く含み、明黄褐色砂質土を全体に含む

第19図　H-27～30号住居跡、カマド、W-41・50・51実測図



H-31 土層注記（A～B断面）
1. 黒い黄褐色土層（現耕作土）
2. 黒い黄褐色砂質土層　明黄褐色砂質土とAs-B軽石をブロック状に含む
3. 褐色土層　締まりあり、白色軽石1～2mmを1%含み、わずかに炭化物を含む
4. 褐色土層　白色軽石1～5mmを1%以下と焼土、炭化物を所々に含む
5. 暗褐色土層　締まりあり、白色軽石1～3mmを1%含み、焼土、炭化物粒を多く含む
6. 暗褐色土層　白色軽石1～2mmを1%以下含み、わずかに焼土粒を含む
7. 明黄褐色砂質土ブロック
8. 暗褐色土層　締まりあり、わずかに軽石粒1～3mmを含む

H-31 P-1 土層注記（C-C'断面）
1. 黒い黄褐色土層　明黄褐色砂質土層を含む

H-31 D-1 土層注記（D-D'断面）
1. 暗褐色土層　締まりややあり、白色軽石粒を所々に含み、明黄褐色砂質土層を含む
2. 暗褐色土層　明黄褐色砂質土を多く含む
3. 黒い黄褐色土層　わずかに明黄褐色砂質土を含む

H-32 土層注記（A～B断面）
1. 黒い黄褐色土層　締まりややあり、Hr-FP 2～3mmを所々に含み、焼土粒も含む
2. 黒い黄褐色土層　締まりややあり、Hr-FP 3～5mmを1%以下含み、焼土、炭化物粒を含む
3. 明黄褐色砂質土ブロック層　軽石を含む
4. 黒い黄褐色土層　締まりややあり、Hr-FP 2～3mmを1%以下含み、明黄褐色砂質土粒を含む

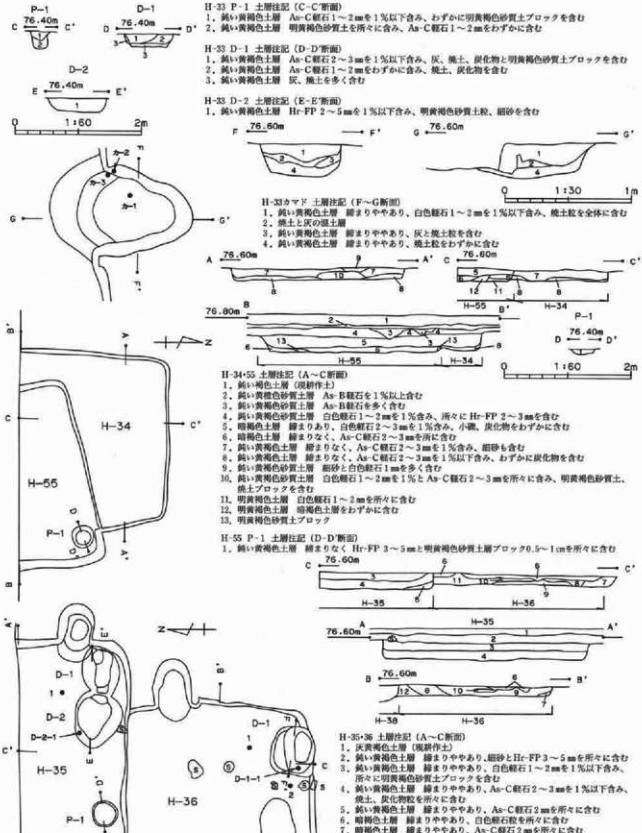
H-32 P-1 土層注記（C-C'断面）
1. 黒い黄褐色土層　締まりあり、Hr-FP 2～3mmをわずかに含み、明黄褐色砂質土粒を含む
2. 黒い黄褐色土層　明黄褐色砂質土ブロック全体に含む

H-32 D-1 土層注記（D-D'断面）
1. 暗褐色土層　焼土、炭化物、灰をわずかに含み、明黄褐色砂質土粒を含む
2. 黒い黄褐色土層　焼土、炭を多く含む
3. 灰層
4. 黒い黄褐色土層　わずかに焼土粒を含む

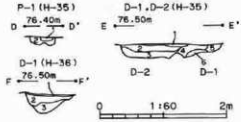
H-32カマド 土層注記（E～F'断面）
1. 黒い黄褐色土層　締まりややあり、Hr-FP 2～3mmを所々に含み、わずかに焼土、炭化物、灰を含む
2. 黒い黄褐色土層　わずかに焼土粒、灰を含み、軽石粒、細砂も含む

H-33 土層注記（A～B断面）
1. 黒い黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石1～2mmを1%含み、焼土粒を所々含む
2. 黒い黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石1～3mmを1%と焼土、炭化物粒を所々に含む
3. 黒い黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石1～2mmを1%以下と焼土、炭化物粒と明黄褐色砂質土を含む
4. 黒い黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石2～5mmと明黄褐色砂質土を所々に含む
5. 黒い黄褐色土層　締まりややあり、灰と焼土を含む
6. 焼土ブロック層　灰を含む
7. 暗褐色土層　締まりあり、As-C軽石3～5mmをわずかに含む
8. 褐色土層　締まりややあり、白軽石粒1～2mmをわずかに含む

第20図　H-31～33号住居跡、カマド実測図



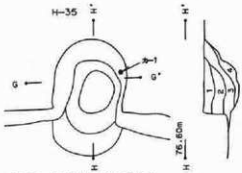
第21図　H-33～36・38・55号住居跡、カマド実測図



H-35 P-1 土層注記（D-D'断面）
1. 鈍い黄褐色土層　わずかに As-C 軽石1～2㎜を含む
2. 鈍い黄褐色土層　締まりややあり、黒色土層と明黄褐色砂質土を所々に含む

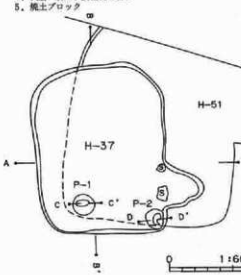
H-35 D-1・2 土層注記（E-E'断面）
1. 鈍い黄褐色土層　細砂を含む
2. 鈍い黄褐色土層　明黄褐色砂質土ブロックと焼土、炭化物を含む
3. 鈍い黄褐色土層　焼土粒と明黄褐色砂質土ブロックをわずかに含む
4. 鈍い黄褐色土層　明黄褐色砂質土ブロックを多く含み、わずかに炭化物を含む
5. 鈍い黄褐色土層　細砂を含み、明黄褐色砂質土を所々に含む
6. 明黄褐色砂質土層

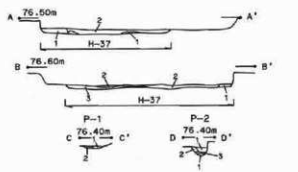
H-36 D-1 土層注記（F-F'断面）
1. 鈍い黄褐色土層　締まりなく、Hr-FP 2～3㎜を1%以下含む
2. 鈍い黄褐色土層　締まりなく、Hr-FP 2～3㎜を1%以下み焼土粒をわずかに含む
3. 鈍い黄褐色土層　締まりなく、明黄褐色砂質土粒を含む



H-35カマド 土層注記（G～H'断面）
1. 鈍い黄褐色土層　締まりあり、白色軽石1～2㎜を1%含み、わずかに炭化物を含む
2. 鈍い黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石2～3㎜を所々に含み、わずか焼土、炭化物を含む
3. 鈍い黄褐色土層　締まりややあり、焼土、炭化物粒を所々に含む
4. 灰層　焼土、炭化物を含む
5. 焼土ブロック

H-36カマド 土層注記（I～J'断面）
1. 鈍い黄褐色土層　焼土、炭化物をわずかに含む
2. 鈍い黄褐色土層　焼土ブロックを多く含む
3. 鈍い黄褐色土層　焼土ブロック3～5㎜を所々に含む
4. 灰層　焼土、炭化物を含む
5. 鈍い黄褐色土層と灰、焼土含む混土層

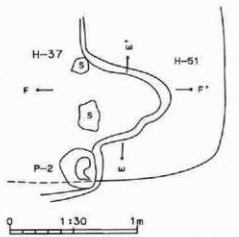


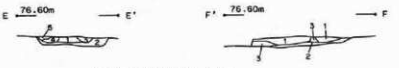


H-37 土層注記（A～B'断面）
1. 明黄褐色砂質土層
2. 鈍い黄褐色土層　わずかに As-C 軽石1～2㎜を含む
3. 1、2層の漸土層

H-37 P-1 土層注記（C-C'断面）
1. 鈍い黄褐色土層　As-C 軽石1～2㎜をわずかに含む
2. 明黄褐色砂質土層

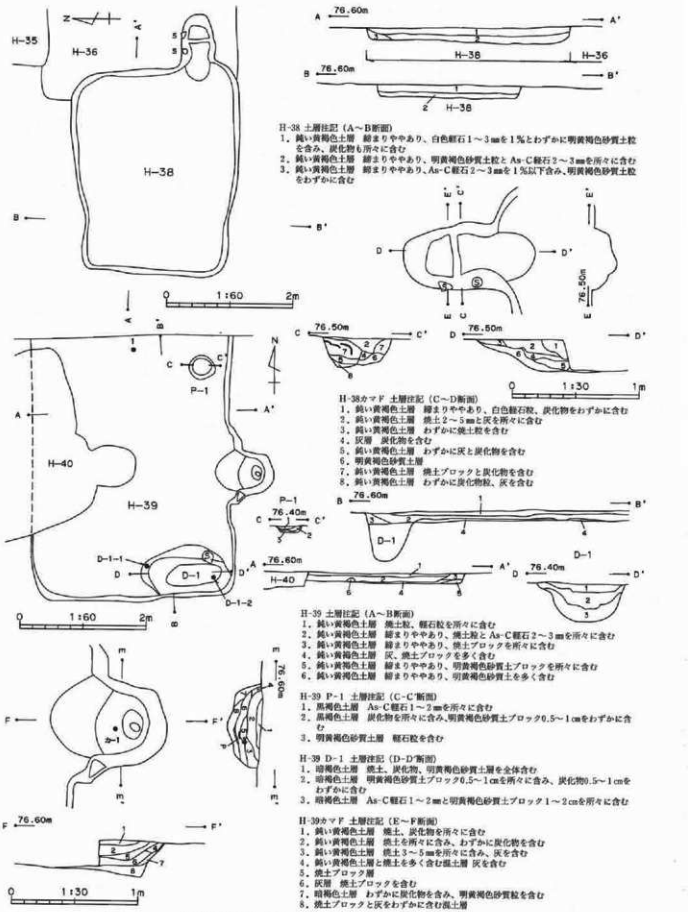
H-37 P-2 土層注記（D-D'断面）
1. 暗褐色土層　わずかに軽石粒を含む
2. 鈍い黄褐色土層　明黄褐色砂質土粒を含む
3. 明黄褐色粘土ブロック　焼土、炭化物をわずかに含む



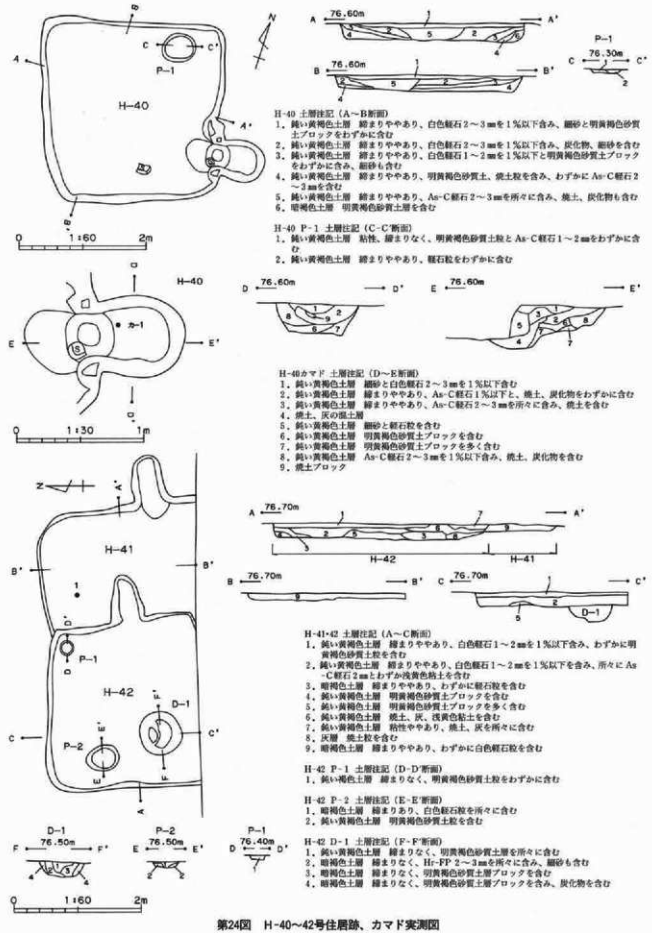


H-37カマド 土層注記（E～F'断面）
1. 鈍い黄褐色土層　焼土、炭化物、灰を含む
2. 灰層　焼土をわずかに含む
3. 明黄褐色粘土ブロック
4. 焼土ブロック
5. 鈍い黄褐色土層　焼土、炭化物を含む

第22図　H-35～37・51号住居跡、カマド実測図



第23図　H-35・36・38～40号住居跡、カマド実測図



H-40 土層注記（A～B断面）
1. 黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石2～3㎜を1％以下含み、細砂と明黄褐色砂質土ブロックをわずかに含む
2. 黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石2～3㎜を1％以下含み、炭化物、細砂を含む
3. 黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石1～2㎜を1％以下と明黄褐色砂質土ブロックをわずかに含み、細砂も含む
4. 黄褐色土層　締まりややあり、明黄褐色砂質土、焼土粒を含み、わずかにAs-C軽石2～3㎜を含む
5. 黄褐色土層　締まりややあり、As-C軽石2～3㎜を所々に含み、焼土、炭化物も含む
6. 暗褐色土層　明黄褐色砂質土層を含む

H-40 P-1 土層注記（C-C'断面）
1. 黄褐色土層　粘性、締まりなく、明黄褐色砂質土粒とAs-C軽石1～2㎜をわずかに含む
2. 黄褐色土層　締まりややあり、軽石粒をわずかに含む

H-40カマド 土層注記（D～E断面）
1. 黄褐色土層　細砂と白色軽石2～3㎜を1％以下含む
2. 黄褐色土層　締まりややあり、As-C軽石1％以下と、焼土、炭化物をわずかに含む
3. 黄褐色土層　締まりややあり、As-C軽石2～3㎜を所々に含み、焼土を含む
4. 焼土、灰の堆土層
5. 黄褐色土層　細砂と軽石粒を含む
6. 黄褐色土層　明黄褐色砂質土ブロックを含む
7. 黄褐色土層　明黄褐色砂質土ブロックを多く含む
8. 黄褐色土層　As-C軽石2～3㎜を1％以下含み、焼土、炭化物を含む
9. 焼土ブロック

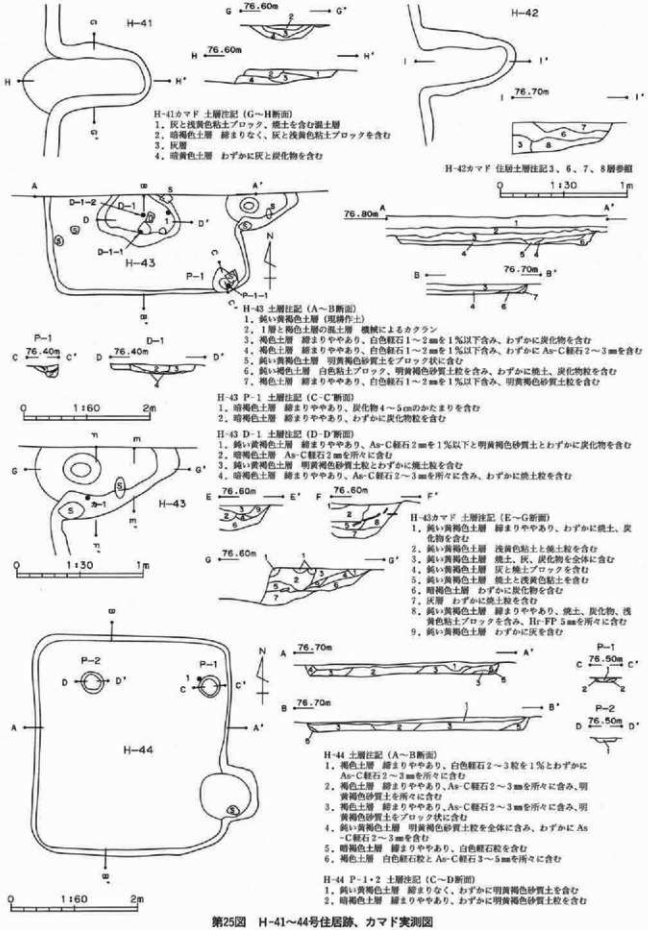
H-41・42 土層注記（A～C断面）
1. 黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石1～2㎜を1％以下含み、わずかに明黄褐色砂質土粒を含む
2. 黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石1～2㎜を1％以下を含み、所々にAs-C軽石2㎜とわずかな浅黄色粘土を含む
3. 暗褐色土層　締まりややあり、わずかに軽石粒を含む
4. 黄褐色土層　明黄褐色砂質土ブロックを含む
5. 黄褐色土層　明黄褐色砂質土ブロックを多く含む
6. 黄褐色土層　焼土、灰、浅黄色粘土を含む
7. 黄褐色土層　粘性ややあり、焼土、灰を所々に含む
8. 灰層　焼土粒を含む
9. 暗褐色土層　締まりややあり、わずかに白色軽石粒を含む

H-42 P-1 土層注記（D-D'断面）
1. 黄褐色土層　締まりなく、明黄褐色砂質土粒をわずかに含む

H-42 P-2 土層注記（E-E'断面）
1. 暗褐色土層　締まりあり、白色軽石粒を所々に含む
2. 黄褐色土層　明黄褐色砂質土粒を含む

H-42 D-1 土層注記（F-F'断面）
1. 黄褐色土層　締まりなく、明黄褐色砂質土層を所々に含む
2. 暗褐色土層　締まりなく、Hr-FP 2～3㎜を所々に含み、細砂も含む
3. 暗褐色土層　締まりなく、明黄褐色砂質土層ブロックを含む
4. 暗褐色土層　締まりなく、明黄褐色砂質土層ブロックを含み、炭化物を含む

第24図　H-40～42号住居跡、カマド実測図



H-41カマド 土層注記（G～H断面）
1. 灰と浅黄色粘土ブロック、焼土を含む混土層
2. 暗褐色土層　締まりなく、灰と浅黄色粘土ブロックを含む
3. 灰層
4. 暗黄色土層　わずかに灰と炭化物を含む

H-42カマド 住居土層注記3、6、7、8層参照

H-43 土層注記（A～B断面）
1. 鈍い黄褐色土層（現耕作土）
2. 1層と褐色土層の混土層　機械によるカクラン
3. 褐色土層　締まりややあり、白色粒石1～2mmを1%以下含み、わずかに炭化物を含む
4. 褐色土層　締まりややあり、白色粒石1～2mmを1%以下含み、わずかにAs-C粒石2～3mmを含む
5. 鈍い黄褐色土層　明黄褐色砂質土をブロック状に含む
6. 鈍い褐色土層　白色粘土ブロック、明黄褐色砂質土粒を含み、わずかに焼土、炭化物粒を含む
7. 褐色土層　締まりややあり、白色粒石1～2mmを1%以下含み、明黄褐色砂質土粒を含む

H-43 P-1 土層注記（C-C'断面）
1. 暗褐色土層　締まりややあり、炭化物4～5cmのかたまりを含む
2. 暗褐色土層　締まりややあり、わずかに炭化物粒を含む

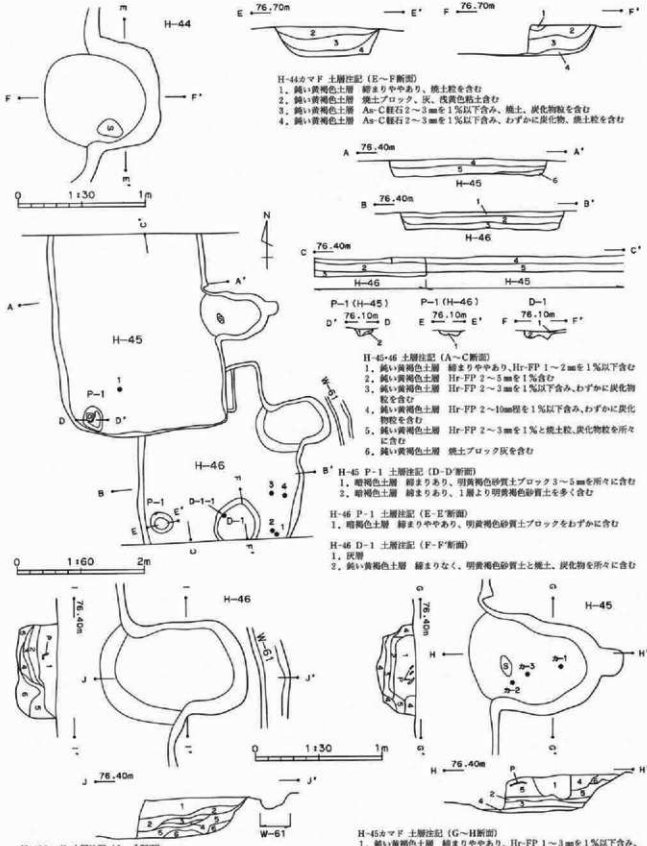
H-43 D-1 土層注記（D-D'断面）
1. 鈍い黄褐色土層　締まりややあり、As-C粒石2mmを1%以下と明黄褐色砂質土とわずかに炭化物を含む
2. 暗褐色土層　As-C粒石2mmを所々に含む
3. 鈍い黄褐色土層　明黄褐色砂質土粒とわずかに焼土粒を含む
4. 暗褐色土層　締まりややあり、As-C粒石2～3mmを所々に含み、わずかに焼土粒を含む

H-43カマド 土層注記（E～G断面）
1. 鈍い黄褐色土層　締まりややあり、わずかに焼土、炭化物を含む
2. 鈍い黄褐色土層　浅黄色粘土と焼土粒を含む
3. 鈍い黄褐色土層　焼土、灰、炭化物を全体に含む
4. 鈍い黄褐色土層　灰と焼土ブロックを含む
5. 鈍い黄褐色土層　焼土と浅黄色粒土を含む
6. 暗褐色土層　わずかに炭化物を含む
7. 灰層　わずかに焼土粒を含む
8. 鈍い黄褐色土層　締まりややあり、焼土、炭化物、浅黄色粒土ブロックを含み、Hr-FP 5mmを所々に含む
9. 鈍い黄褐色土層　わずかに灰を含む

H-44 土層注記（A～B断面）
1. 褐色土層　締まりややあり、白色粒石2～3粒を1%とわずかにAs-C粒石2～3mmを所々に含む
2. 褐色土層　締まりややあり、As-C粒石2～3mmを所々に含み、明黄褐色砂質土を所々に含む
3. 褐色土層　締まりややあり、As-C粒石2～3mmを所々に含み、明黄褐色砂質土をブロック状に含む
4. 鈍い黄褐色土層　明黄褐色砂質土粒を全体に含み、わずかにAs-C粒石2～3mmを含む
5. 暗褐色土層　締まりややあり、白色粒石粒を含む
6. 褐色土層　白色粒石粒とAs-C粒石3～5mmを所々に含む

H-44 P-1・2 土層注記（C～W断面）
1. 鈍い黄褐色土層　締まりなく、わずかに明黄褐色砂質土を含む
2. 暗褐色土層　締まりややあり、わずかに明黄褐色砂質土粒を含む

第25図　H-41～44号住居跡、カマド実測図



H-44カマド 土層注記（E～F断面）
1．鈍い黄褐色土層　締まりややあり、焼土粒を含む
2．鈍い黄褐色土層　焼土ブロック、灰、浅黄色粘土含む
3．鈍い黄褐色土層　As-C軽石2～3mmを1%以下含み、焼土、炭化物粒を含む
4．鈍い黄褐色土層　As-C軽石2～3mmを1%以下含み、わずかに炭化物、焼土粒を含む

H-45・46 土層注記（A～C断面）
1．鈍い黄褐色土層　締まりややあり、Hr-FP 1～2mmを1%以下含む
2．鈍い黄褐色土層　Hr-FP 2～5mmを1%含む
3．鈍い黄褐色土層　Hr-FP 2～3mmを1%以下含み、わずかに炭化物粒を含む
4．鈍い黄褐色土層　Hr-FP 2～10mm程を1%以下含み、わずかに炭化物粒を含む
5．鈍い黄褐色土層　Hr-FP 2～3mmを1%と焼土粒、炭化物粒を所々に含む
6．鈍い黄褐色土層　焼土ブロック灰を含む

H-45 P-1 土層注記（D-D'断面）
1．暗褐色土層　締まりあり、明黄褐色砂質土ブロック3～5mmを所々に含む
2．暗褐色土層　締まりあり、1層より明黄褐色砂質土を多く含む

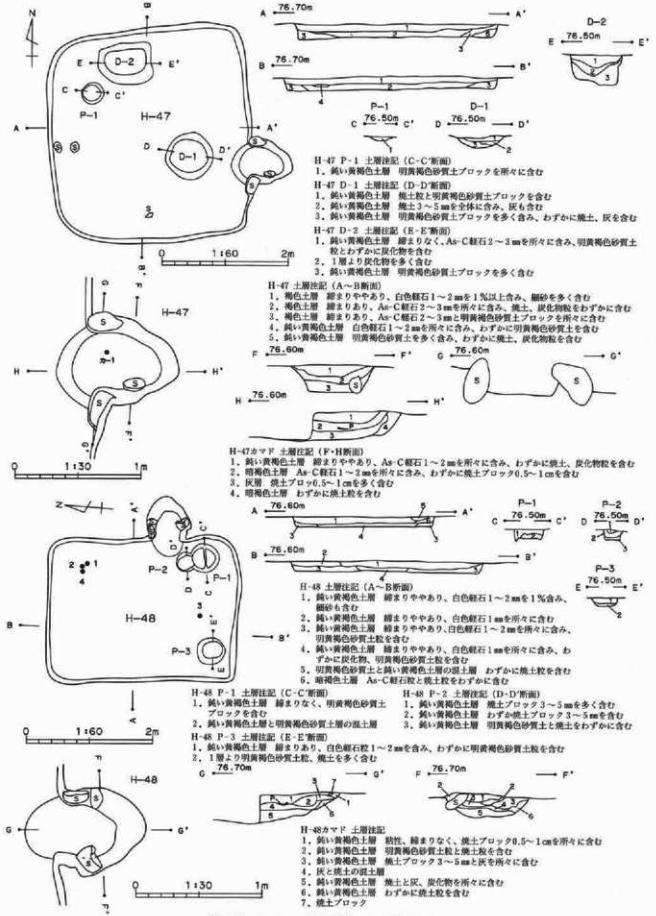
H-46 P-1 土層注記（E-E'断面）
1．暗褐色土層　締まりややあり、明黄褐色砂質土ブロックをわずかに含む

H-46 D-1 土層注記（F-F'断面）
1．灰層
2．鈍い黄褐色土層　締まりなく、明黄褐色砂質土と焼土、炭化物を所々に含む

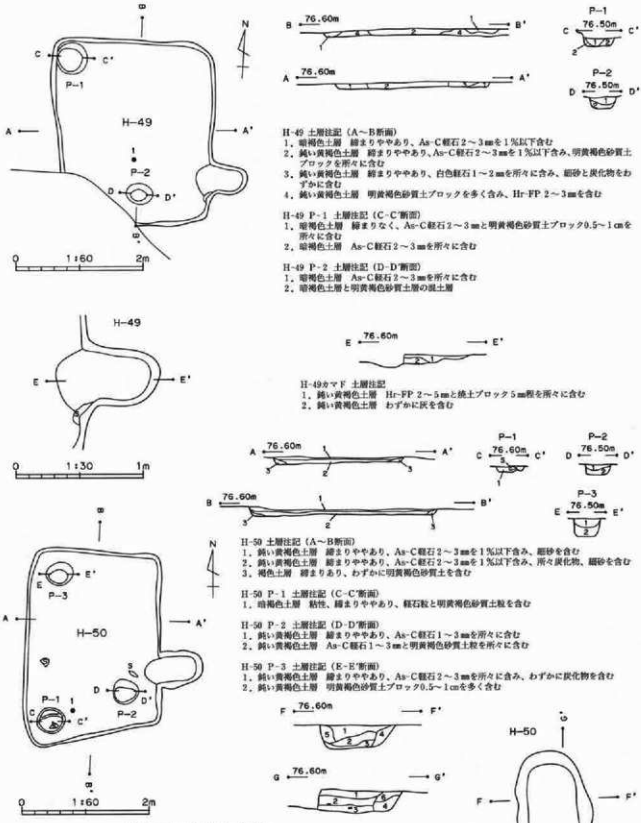
H-46カマド 土層注記（I～J断面）
1．鈍い黄褐色土層　焼土粒2～10mmを1%含み、鈍い黄橙色粘土粒を1%含む
2．鈍い黄褐色土層　焼土ブロックを10%以上含む
3．黒色灰層　焼土粒を含む
4．灰層　焼土、鈍い黄橙色粘粒を含む
5．鈍い黄褐色土層　焼土、灰を含む
6．鈍い黄褐色土層　わずかに焼土粒と鈍い黄橙色粘土粒を含む

H-45カマド 土層注記（G～H断面）
1．鈍い黄褐色土層　締まりややあり、Hr-FP 1～3mmを1%以下含み、わずかに焼土粒を含む
2．鈍い黄褐色土層　焼土、炭化物、灰を含む
3．灰層　焼土粒を含む
4．鈍い黄褐色土層　焼土粒と明黄褐色砂質土粒を含む
5．鈍い黄褐色土層　焼土粒と鈍い黄橙色粘土ブロックを含む
6．焼土ブロック層　わずかに鈍い黄褐色土層を含む

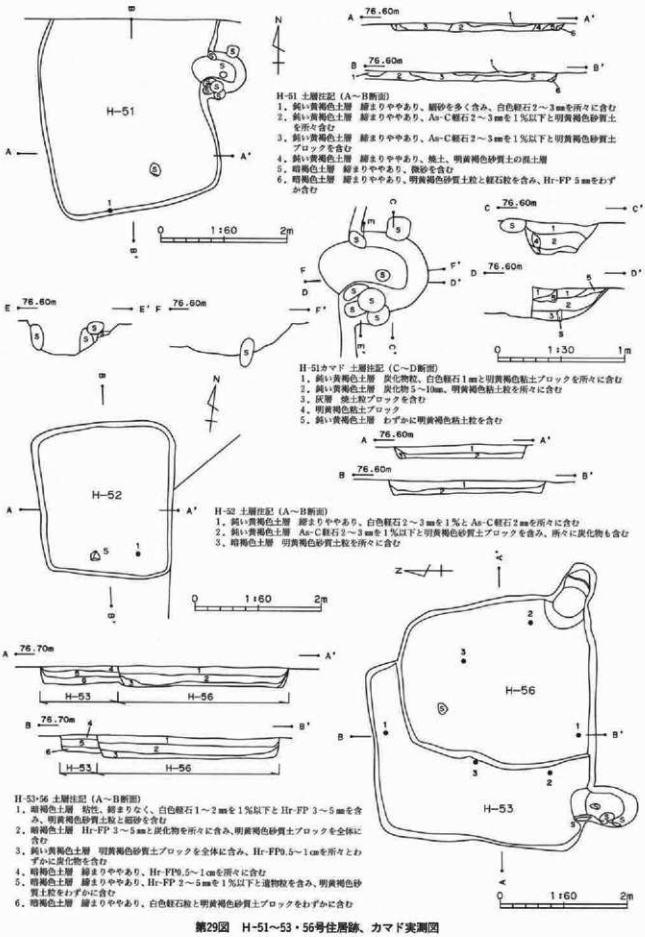
第26図　H-44～46号住居跡、カマド、W-61実測図



第27図　H-47・48号住居跡、カマド実測図



第28図　H-49・50号住居跡、カマド実測図



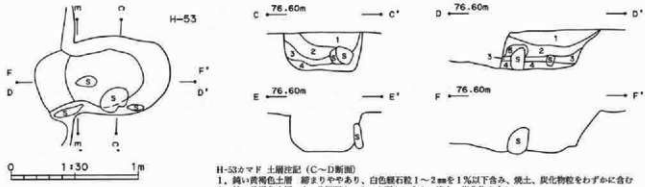
H-51 土層注記（A～B断面）
1. 鈍い黄褐色土層　締まりややあり、細砂を多く含み、白色軽石2～3㎜を所々に含む
2. 鈍い黄褐色土層　締まりややあり、As-C軽石2～3㎜を1%以下と明黄褐色砂質土を所々含む
3. 鈍い黄褐色土層　締まりややあり、As-C軽石2～3㎜を1%以下と明黄褐色砂質土ブロックを含む
4. 鈍い黄褐色土層　締まりややあり、焼土、明黄褐色砂質土の混土層
5. 暗褐色土層　締まりややあり、微砂を含む
6. 暗褐色土層　締まりややあり、明黄褐色砂質土粒と軽石粒を含み、Hr-FP 5㎜をわずか含む

H-51カマド 土層注記（C～D断面）
1. 鈍い黄褐色土層　炭化物粒、白色軽石1㎜と明黄褐色粘土ブロックを所々に含む
2. 鈍い黄褐色土層　炭化物5～10㎜、明黄褐色粘土粒を所々に含む
3. 灰層　焼土粒ブロックを含む
4. 明黄褐色粘土ブロック
5. 鈍い黄褐色土層　わずかに明黄褐色粘土粒を含む

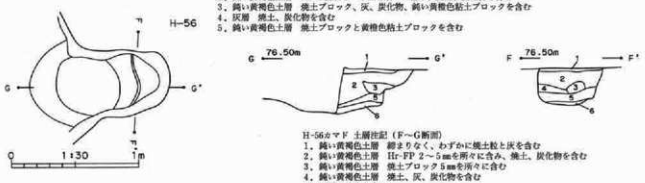
H-52 土層注記（A～B断面）
1. 鈍い黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石2～3㎜を1%と As-C軽石2㎜を所々に含む
2. 鈍い黄褐色土層　As-C軽石2～3㎜を1%以下と明黄褐色砂質土ブロックを含み、所々に炭化物も含む
3. 暗褐色土層　明黄褐色砂質土粒を所々に含む

H-53・56 土層注記（A～B断面）
1. 暗褐色土層　粘性、締まりなく、白色軽石1～2㎜を1%以下と Hr-FP 3～5㎜を含み、明黄褐色砂質土粒と細砂を含む
2. 暗褐色土層　Hr-FP 3～5㎜と炭化物を所々に含み、明黄褐色砂質土ブロックを全体に含む
3. 鈍い黄褐色土層　明黄褐色砂質土ブロックを全体に含み、Hr-FPφ.5～1㎝を所々とわずかに炭化物を含む
4. 暗褐色土層　締まりややあり、Hr-FPφ.5～1㎝を所々に含む
5. 暗褐色土層　締まりややあり、Hr-FP 2～5㎜を1%以下と遺物粒を含み、明黄褐色砂質土粒をわずかに含む
6. 暗褐色土層　締まりややあり、白色軽石粒と明黄褐色砂質土ブロックをわずかに含む

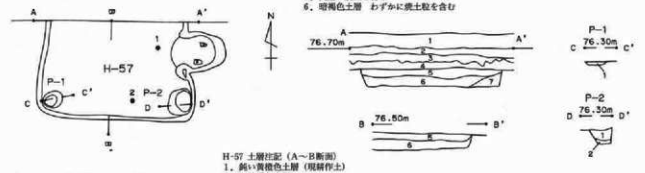
第29図　H-51～53・56号住居跡、カマド実測図



H-53カマド 土層注記（C～D断面）
1．鈍い黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石粒1～2㎜を1％以下含み、焼土、炭化物粒をわずかに含む
2．鈍い黄褐色土層　As-C軽石2～3㎜を所々に含み、焼土、炭化物を含む
3．鈍い黄褐色土層　焼土ブロック、灰、炭化物、鈍い黄橙色粘土ブロックを含む
4．灰層　焼土、炭化物を含む
5．鈍い黄褐色土層　焼土ブロックと黄橙色粘土ブロックを含む

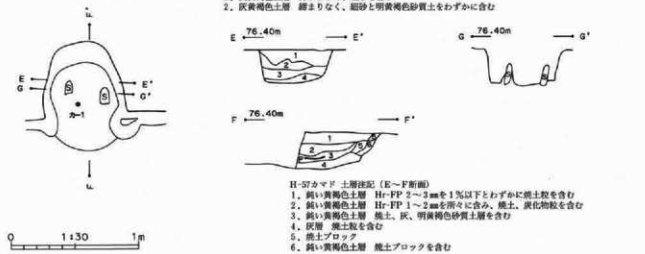


H-56カマド 土層注記（F～G断面）
1．鈍い黄褐色土層　締まりなく、わずかに焼土粒と灰を含む
2．鈍い黄褐色土層　Hr-FP 2～5㎜を所々に含み、焼土、炭化物を含む
3．鈍い黄褐色土層　焼土ブロック5㎜を所々に含む
4．鈍い黄褐色土層　焼土、灰、炭化物を含む
5．灰層　焼土を含む
6．暗褐色土層　わずかに焼土粒を含む



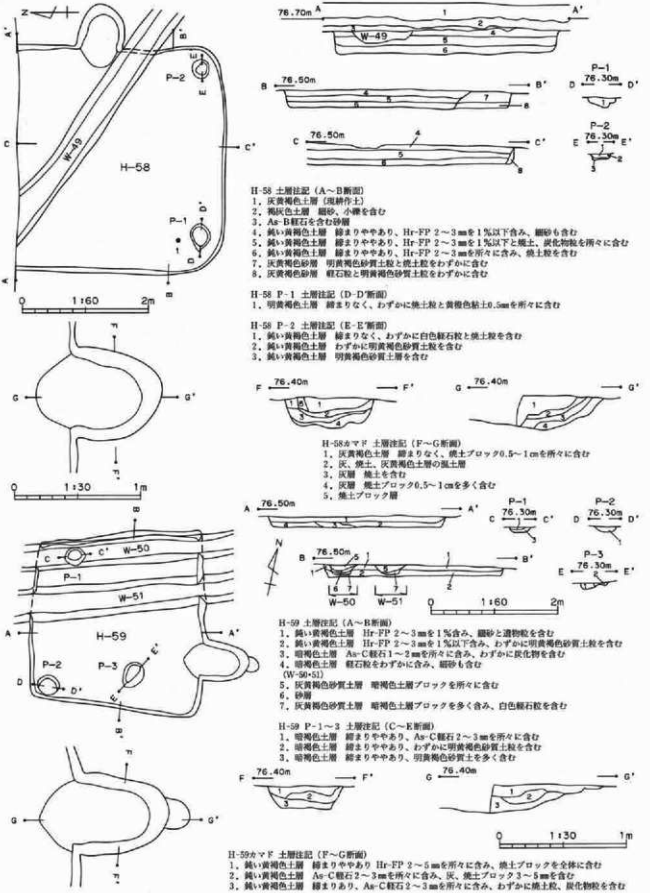
H-57 土層注記（A～B断面）
1．鈍い黄橙色土層（現耕作土）
2．灰黄褐色土層
3．As-B軽石層と褐色土層の混土層
4．鈍い黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石2～3㎜を1％以下含み、わずか小礫3～5㎜を含む
5．鈍い黄褐色土層　As-C軽石2～3㎜を1％以下含み、白色軽石1～2㎜を所々に含む
6．暗褐色土層　粘性、締まりなく、As-C軽石2～3㎜を1％以下含み、明黄褐色砂質土ブロックを含む
7．暗褐色土層　粘性、締まりなく、明黄褐色砂質土ブロックを含み、わずかに炭化物、焼土粒を含む

H-57 P-1・2 土層注記（C～D断面）
1．灰黄褐色土層　締まりなく、細砂を含む
2．灰黄褐色土層　締まりなく、細砂と明黄褐色砂質土をわずかに含む



H-57カマド 土層注記（E～F断面）
1．鈍い黄褐色土層　Hr-FP 2～3㎜を1％以下とわずかに焼土粒を含む
2．鈍い黄褐色土層　Hr-FP 1～2㎜を所々に含み、焼土、炭化物粒を含む
3．鈍い黄褐色土層　焼土、灰、明黄褐色砂質土層を含む
4．灰層　焼土粒を含む
5．焼土ブロック
6．鈍い黄褐色土層　焼土ブロックを含む

第30図　H-53・56・57号住居跡、カマド実測図



H-58 土層註記（A～B断面）
1．灰黄褐色土層（現耕作土）
2．褐灰色土層　細砂、小礫を含む
3．As-B軽石を含む砂層
4．鈍い黄褐色土層　締まりややあり、Hr-FP 2～3㎜を1%以下含み、細砂も含む
5．鈍い黄褐色土層　締まりややあり、Hr-FP 2～3㎜を1%以下と焼土、炭化物粒を微々に含む
6．鈍い黄褐色土層　締まりややあり、Hr-FP 2～3㎜を所々に含み、焼土粒を含む
7．灰黄褐色砂層　明黄褐色砂質土粒と焼土粒をわずかに含む
8．灰黄褐色砂層　軽石粒と明黄褐色砂質土粒をわずかに含む

H-58 P-1 土層註記（D-D'断面）
1．明黄褐色土層　締まりなく、わずかに焼土粒と黄橙色粘土0.5㎜を所々に含む

H-58 P-2 土層註記（E-E'断面）
1．鈍い黄褐色土層　締まりなく、わずかに白色軽石粒と焼土粒を含む
2．鈍い黄褐色土層　わずかに明黄褐色砂質土粒を含む
3．鈍い黄褐色土層　明黄褐色砂質土層を含む

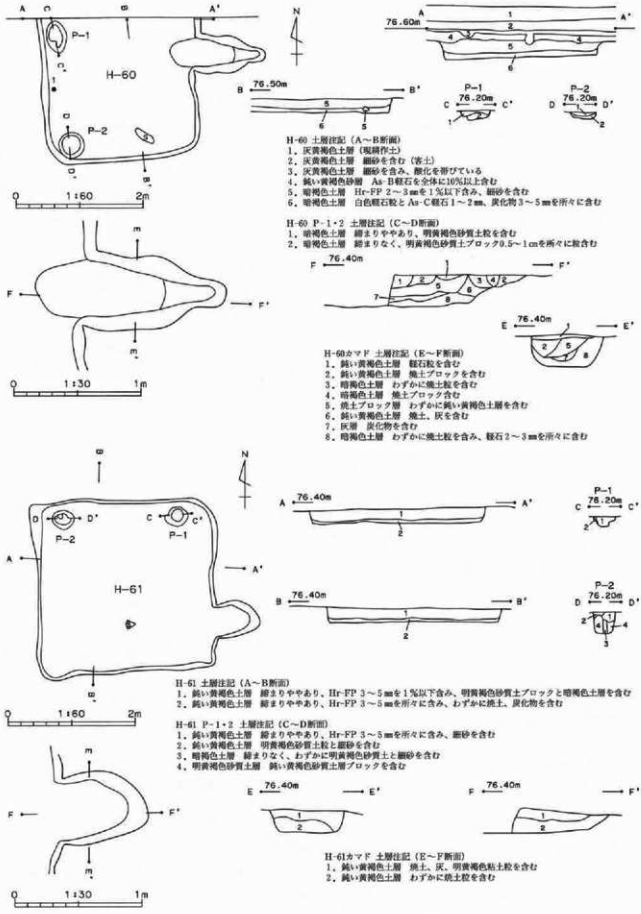
H-58カマド 土層註記（F～G断面）
1．灰黄褐色土層　締まりなく、焼土ブロック0.5～1㎝を所々に含む
2．灰、焼土、灰黄褐色土層の混土層
3．灰層　焼土を含む
4．灰層　焼土ブロック0.5～1㎝を多く含む
5．焼土ブロック層

H-59 土層註記（A～B断面）
1．鈍い黄褐色土層　Hr-FP 2～3㎜を1%含み、細砂と遺物粒を含む
2．鈍い黄褐色土層　Hr-FP 2～3㎜を1%以下含み、わずかに明黄褐色砂質土粒を含む
3．暗褐色土層　As-C軽石1～2㎜を所々に含み、わずかに炭化物を含む
4．暗褐色土層　軽石粒をわずかに含み、細砂も含む
（W-50･51）
5．灰黄褐色砂質土層　暗褐色土層ブロックを所々に含む
6．砂層
7．灰黄褐色砂質土層　暗褐色土層ブロックを多く含み、白色軽石粒を含む

H-59 P-1～3 土層註記（C～E断面）
1．暗褐色土層　締まりややあり、As-C軽石2～3㎜を所々に含む
2．暗褐色土層　締まりややあり、わずかに明黄褐色砂質土粒を含む
3．暗褐色土層　締まりややあり、明黄褐色砂質土を多く含む

H-59カマド 土層註記（F～G断面）
1．鈍い黄褐色土層　締まりややあり Hr-FP 2～5㎜を所々に含み、焼土ブロックを全体に含む
2．鈍い黄褐色土層　As-C軽石2～3㎜を所々に含み、灰、焼土ブロック3～5㎜を含む
3．鈍い黄褐色土層　締まりあり、As-C軽石2～3㎜を所々に含み、わずかに焼土粒、炭化物粒を含む

第31図　H-58・59号住居跡、カマド、W-49～51実測図



H-60 土層注記（A～B断面）
1．灰黄褐色土層（現耕作土）
2．灰黄褐色土層　細砂を含む（客土）
3．灰黄褐色土層　細砂を含み、酸化を帯びている
4．鈍い黄褐色砂層　As-B軽石を全体に10%以上含む
5．暗褐色土層　Hr-FP 2～3㎜を1%以下含み、細砂を含む
6．暗褐色土層　白色軽石粒と As-C軽石1～2㎜、炭化物3～5㎜を所々に含む

H-60 P-1・2 土層注記（C～D断面）
1．暗褐色土層　締まりややあり、明黄褐色砂質土粒を含む
2．暗褐色土層　締まりなく、明黄褐色砂質土ブロック0.5～1cmを所々に混合

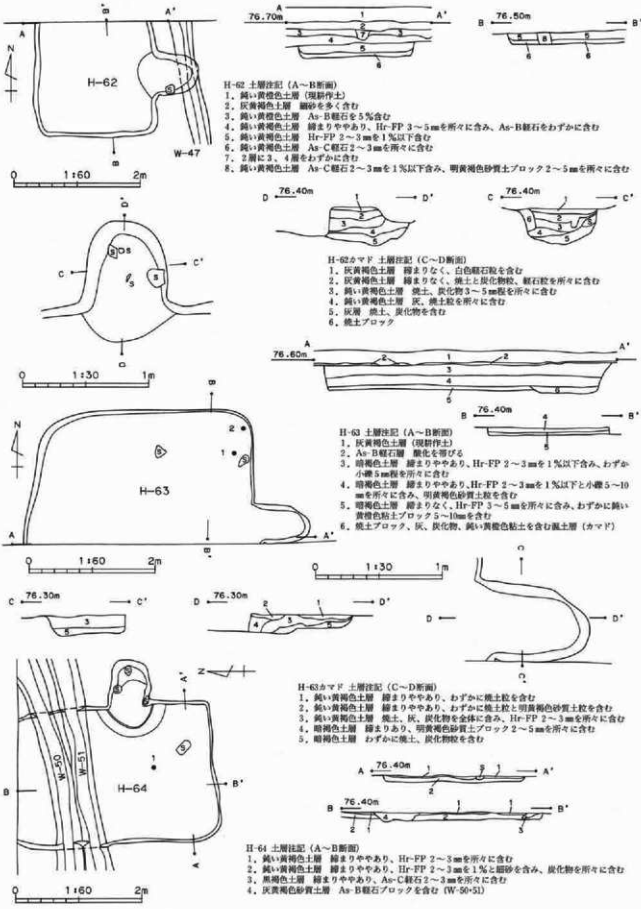
H-60カマド 土層注記（E～F断面）
1．鈍い黄褐色土層　軽石粒を含む
2．鈍い黄褐色土層　焼土ブロックを含む
3．暗褐色土層　わずかに焼土粒を含む
4．暗褐色土層　焼土ブロック含む
5．焼土ブロック層　わずかに鈍い黄褐色土層を含む
6．鈍い黄褐色土層　焼土、灰を含む
7．灰層　炭化物を含む
8．暗褐色土層　わずかに焼土粒を含み、軽石2～3㎜を所々に含む

H-61 土層注記（A～B断面）
1．鈍い黄褐色土層　締まりややあり、Hr-FP 3～5㎜を1%以下含み、明黄褐色砂質土ブロックと暗褐色土層を含む
2．鈍い黄褐色土層　締まりややあり、Hr-FP 3～5㎜を所々に含み、わずかに焼土、炭化物を含む

H-61 P-1・2 土層注記（C～D断面）
1．鈍い黄褐色土層　締まりややあり、Hr-FP 3～5㎜を所々に含み、細砂を含む
2．鈍い黄褐色土層　明黄褐色砂質土粒と細砂を含む
3．暗褐色土層　締まりなく、わずかに明黄褐色砂質土と細砂を含む
4．明黄褐色砂質土層　鈍い黄褐色砂質土層ブロックを含む

H-61カマド 土層注記（E～F断面）
1．鈍い黄褐色土層　焼土、灰、明黄褐色粘土粒を含む
2．鈍い黄褐色土層　わずかに焼土粒を含む

第32図　H-60・61号住居跡、カマド実測図



H-62 土層注記（A～B断面）
1、黒い黄橙色土層（現耕作土）
2、灰黄褐色土層　細砂を多く含む
3、黒い黄橙色土層　As-B軽石を5％含む
4、黒い黄褐色土層　締まりややあり、Hr-FP 3～5mmを所々に含み、As-B軽石をわずかに含む
5、黒い黄褐色土層　Hr-FP 2～3mmを1％以下含む
6、黒い黄褐色土層　As-C軽石2～3mmを所々に含む
7、2層に3、4層をわずかに含む
8、黒い黄褐色土層　As-C軽石2～3mmを1％以下含み、明黄褐色砂質土ブロック2～5mmを所々に含む

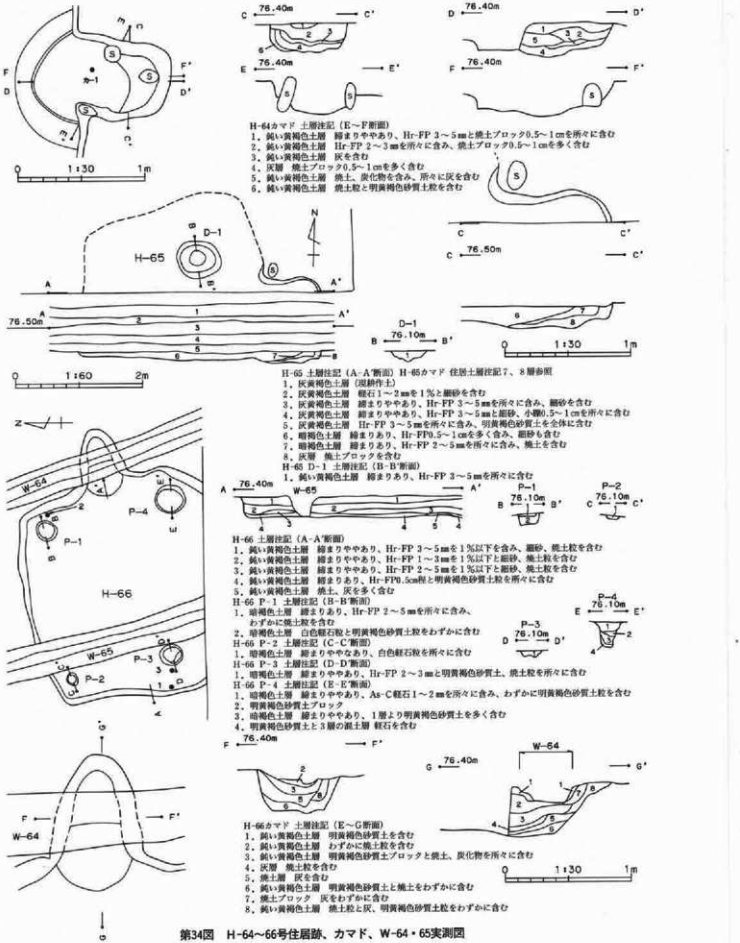
H-62かマド 土層注記（C～D断面）
1、灰黄褐色土層　締まりなく、白色軽石粒を含む
2、灰黄褐色土層　締まりなく、焼土と炭化物粒、軽石粒を所々に含む
3、黒い黄褐色土層　焼土、炭化物3～5mm粒を所々に含む
4、黒い黄褐色土層　灰、焼土粒を所々に含む
5、灰層　焼土、炭化物を含む
6、焼土ブロック

H-63 土層注記（A～B断面）
1、灰黄褐色土層（現耕作土）
2、As-B軽石層　酸化を帯びる
3、暗褐色土層　締まりややあり、Hr-FP 2～3mmを1％以下含み、わずか小礫5mm粒を所々に含む
4、暗褐色土層　締まりややあり、Hr-FP 2～3mmを1％以下と小礫5～10mmを所々に含み、明黄褐色砂質土粒を含む
5、暗褐色土層　締まりなく、Hr-FP 3～5mmを所々に含み、わずかに黒い黄橙色粘土ブロック5～10mmを含む
6、焼土ブロック、灰、炭化物、黒い黄橙色粘土を含む掘土層（カマド）

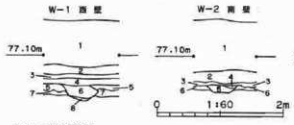
H-63かマド 土層注記（C～D断面）
1、黒い黄褐色土層　締まりややあり、わずかに焼土粒を含む
2、黒い黄褐色土層　締まりややあり、わずかに焼土粒と明黄褐色砂質土粒を含む
3、黒い黄褐色土層　焼土、灰、炭化物を全体に含み、Hr-FP 2～3mmを所々に含む
4、暗褐色土層　締まりあり、明黄褐色砂質土ブロック2～5mmを所々に含む
5、暗褐色土層　わずかに焼土、炭化物粒を含む

H-64 土層注記（A～B断面）
1、黒い黄褐色土層　締まりややあり、Hr-FP 2～3mmを所々に含む
2、黒い黄褐色土層　締まりややあり、Hr-FP 2～3mmを1％と細砂を含み、炭化物を所々に含む
3、黒褐色土層　締まりややあり、As-C軽石2～3mmを所々に含む
4、灰黄褐色砂質土層　As-B軽石ブロックを含む（W-50・51）

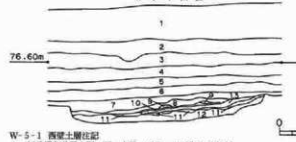
第33図　H-62～64号住居跡、カマド、W-47・50・51実測図



第34図　H-64～66号住居跡、カマド、W-64・65実測図

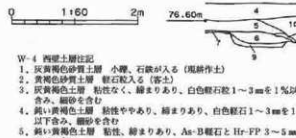


W-1 西壁土層注記
1. 純い黄褐色土層　石、小礫、鉄片が入る（客土）
2. 灰黄褐色土層　粘性なく、締まりあり、白色軽石粒1～2㎜を1％含む
3. 純い黄褐色土層　粘性なく、締まりあり、白色軽石粒1～2㎜を1％以上含む
4. 純い黄褐色土層　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石2～5㎜を1％以下含み、As-B軽石とう層をブロック状に含む
5. 暗褐色土層　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石を1％以下と As-B軽石を含む
6. 灰黄褐色土層　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石を1％含み、3、4層を含む
7. 黒色土層　粘性、締まりあり、As-C軽石を1％以下含む
8. 灰黄褐色土層　粘性、締まりなし、傾砂を含む

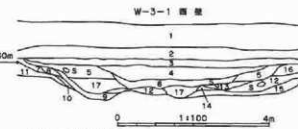


W-2 南壁土層注記
1. 純い黄褐色土層　礫、小石が入る（盛土）
2. 灰黄褐色土層　締まりあり、白色軽石1～2㎜を1％と細砂を含む
3. 褐灰色土層　締まりあり、白色軽石1～2㎜を1％以下と細砂を含む
4. 灰黄褐色土層　As-B軽石30％含む
5. 灰黄褐色土層　As-B軽石を30％以上とわずかに黒土色、小礫を所々に含む
6. 灰黄褐色土層　As-B軽石10％とわずかに黒土色を含む

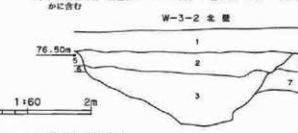
W-5-1 西壁土層注記
1. 灰黄褐色砂質土層　石、小礫、ビニールが入る（客土）
2. 黄褐色砂質土層　軽石粒が入る（客土）
3. 灰黄褐色土層　粘性なく、締まりあり、白色軽石粒1～3㎜を1％以上と細砂を含む
4. 純い黄褐色土層　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石1～3㎜を1％含み、細砂を含む
5. 純い黄褐色土層　粘性なく、締まりあり、As-B軽石と Hr-FP 3～5㎜を1％以下含む
6. 純い黄褐色土層　粘性、締まりあり、As-B軽石を含み、Hr-FP 3～5㎜を所々に含む
7. 黒褐色土層　粘性、締まりややあり、As-B軽石と白色軽石3～5㎜を所々に含む
8. 黒色砂層　As-B軽石を含む
9. As-B軽石ブロック　黒色砂層をわずかに含む
10. As-B灰層　青灰色
11. As-Bの灰層、紫灰層
12. As-B軽石層
13. As-B軽石と黒色砂層の斑土



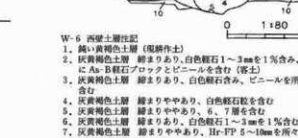
W-4 西壁土層注記
1. 灰黄褐色砂質土層　小礫、石状が入る（現耕作土）
2. 黄褐色砂質土層　軽石粒入る（客土）
3. 灰黄褐色土層　粘性なく、締まりあり、白色軽石粒1～3㎜を1％以上含み、細砂を含む
4. 純い黄褐色土層　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石1～3㎜を1％以下含み、細砂を含む
5. 純い黄褐色土層　粘性、締まりあり、As-B軽石と Hr-FP 3～5㎜を所々に含む
6. 黒褐色土層　粘性、締まりややあり、As-B軽石と灰黄褐色土をブロック状に含む
7. 黒褐色土層　粘性、締まりあり、As-C軽石1～2㎜をわずかに含む
8. 黒褐色土層　6層と灰黄褐色土層、10層の斑土層
9. 黒褐色土層　粘性、締まりあり、細砂と明黄褐色砂質土をわずかに含む
10. 灰黄褐色土層　盛土、小礫、ビニールが入る（W-3）
11. As-B軽石ブロック（W-4）



W-3-1 西壁土層注記
1. 純い黄褐色土層　コンクリート、石が入る（客土）
2. 純い黄褐色土層　粘性なく、締まりややあり、白色軽石と細砂を含む
3. 純い黄褐色土層　As-B軽石をブロック状に入り、2、4層をブロック状に含む
4. 灰黄褐色土層　締まりあり、白色軽石1～3㎜を1％含み、木片、ビニールが入る（客土）
5. 灰黄褐色土層　締まりあり、白色軽石を1％と As-B軽石をブロック状に入る
6. 褐灰色土層　締まりあり、所々に砂質ブロック、ビニールを含み、酸化を帯びている
7. 褐灰色土層　締まりあり、白色軽石1～2㎜を1％以下含み、暗褐色土をわずかに含む
8. 褐灰色土層　締まりあり、白色軽石1～2㎜を1％以下含む
9. 褐灰色土層　締まりあり、白色軽石1～2㎜を所々に含み、細砂を含む
10. 灰黄褐色土層　粘性、締まりあり、As-C軽石1～3㎜を所々に含み、明黄褐色砂質土をわずかに含む
11. 黒褐色土層　粘性、締まりややあり、As-C軽石1～3㎜を所々に含む
12. 灰黄褐色土層　締まりややあり、細砂を含む
13. 灰黄褐色土層　細砂をうミナに含み、石を含む
14. 灰黄褐色土層　わずかに細砂含む
15. 褐灰色土層　締まりややあり
16. 灰黄褐色土層　締まりあり、As-Bブロックを含まない
17. 灰黄褐色土層　白色軽石1～2㎜を所々に含み As-Bのブロックをわずかに含む

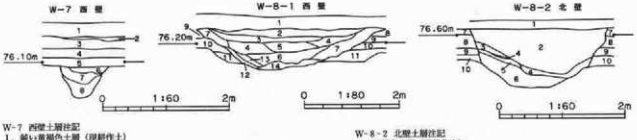


W-3-2 北壁土層注記
1. 灰黄褐色土層　細砂、小礫、ビニールが入る（現耕作土）
2. 灰黄褐色土層　細砂を含み、ビニールが入る
3. 灰黄褐色土層　細砂を多く含み、小礫が入る
4. 灰黄褐色土層　細砂を含み、所々にオレンジ色の微化土が入る（客土）
5. 純い黄褐色土層　締まりややあり、Hr-FP0.5～1cmを所々に含み、細砂を多く含む
6. 純い黄褐色土層　締まりややあり、Hr-FP 2～3㎜を所々に含み、明黄褐色砂質土を多く含む
7. 純い黄褐色土層　締まりあり、オレンジ色の微化土が入る



W-6 西壁土層注記
1. 純い黄褐色土層（現耕作土）
2. 灰黄褐色土層　締まりあり、白色軽石1～3㎜を1％含み、所々に As-B軽石ブロックとビニールを含む（客土）
3. 灰黄褐色土層　締まりあり、白色軽石含み、ビニールを所々に含む
4. 灰黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石粒を含む
5. 灰黄褐色土層　締まりややあり、6、7層を含む
6. 灰黄褐色土層　締まりあり、白色軽石1～3㎜を1％含む
7. 灰黄褐色土層　締まりややあり、Hr-FP 5～10㎜を所々に含み、細砂を含む
8. 灰黄褐色土層　締まりややあり、Hr-FP 5～10㎜を所々に含み、As-B軽石をブロック状に含む
9. 灰黄褐色土層　締まりややあり、Hr-FP 5㎜を所々に含み、As-B軽石を多く含む
10. 灰黄褐色土層　締まりややあり、As-B軽石を多く含み、白色軽石をわずかに含む
11. 灰黄褐色土層　締まりあり、7層より小礫を多く含む

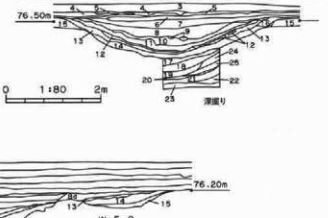
第35図　W-1・2・4・6、W-3-1・3-2・5-1断面図

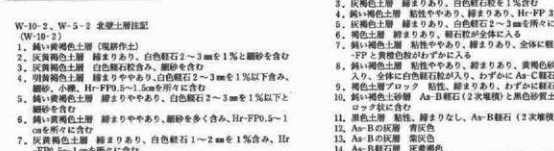


W-7 西壁土層注記
1. 鈍い黄褐色土層（現耕作土）
2. 鈍い黄褐色土層
3. 褐灰色土層　締まりあり、小礫、白色軽石1～3㎜を入る
4. 明黄褐色土層　粘性なく、締まりあり、細砂と白色軽石1～3㎜を所々に含み、全体にオレンジ色をしている
5. 灰褐色土層　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石1～3㎜を1％含み、細砂を含む
6. 灰黄褐色土層　締まりあり、白色軽石2～3㎜を所々に含み、細砂を含む
7. 灰黄褐色土層　締まりややあり、小礫2～3㎜と軽石1～2㎜所々に含み、細砂を全体に含む
8. 灰黄褐色土層と黒色土層の混土層　全体に細砂を含む

W-8-1 西壁土層注記
1. 鈍い黄褐色土層　小礫、軽石粒を含む（現耕作土）
2. 灰黄褐色土層　粘性なく、締まりあり、白色軽石1～3㎜を1％と小礫を含む
3. 灰黄褐色土層　粘性なく、白色軽石と細砂を含む
4. 灰黄褐色土層　粘性なく、白色軽石と細砂、小礫を含む
5. 灰黄褐色土層　粘性なく、白色軽石と細砂、木片を含む
6. 灰黄褐色土層　粘性、締まりなく、細砂を多く含み、小礫をわずかに含む
7. 灰黄褐色土層　締まりあり、白色軽石1～3㎜と細砂、9層を含む
8. 褐灰色土層　締まりあり、白色軽石1～3㎜を1％以上含み、わずかに小礫を含む
9. 黄褐色土層　締まりあり、As-B軽石と細砂を含む
10. 鈍い黄褐色土層　締まりあり、白色軽石2～3㎜を1％以下と As-B軽石を含む
11. 鈍い黄褐色土層　締まりあり、白色軽石2～5㎜を所々に含みと As-B軽石を含む
12. 10層と7層を含む混土層
13. 灰黄褐色土層　締まりややあり、細砂を含む
14. 鈍い黄褐色土と9層の混土層

W-8-2 北壁土層注記
1. 灰褐色土層（現耕作土）
2. 灰褐色土層　細砂を多く含み、小礫0.5～1㎝をわずかに含み、上層にビニールが入る
3. 灰褐色土層　微砂、細砂を含む
4. 灰褐色砂礫層　3～5㎜の礫を多く含む
5. 鈍い黄褐色微砂層
6. 鈍い黄褐色微砂層　小礫、細砂を含む
7. 灰褐色粘質土層　酸化土が入る
8. 灰褐色砂質土層　わずかに軽石2～3㎜を含む
9. 鈍い黄褐色土層　細砂と軽石2～3㎜を含む
10. 鈍い黄褐色土層　細砂を含み、わずかに明黄褐色砂質土粒を含む

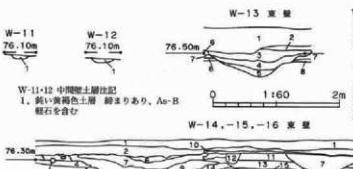




W-10-2、W-5-2 北壁土層注記
（W-10-2）
1. 鈍い黄褐色土層（現耕作土）
2. 灰黄褐色土層　締まりあり、白色軽石2～3㎜を1％と細砂を含む
3. 灰黄褐色土層　白色軽石粒含み、細砂を含む
4. 明黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石2～3㎜を1％以下含み、細砂、小礫、Hr-FP9.5～1.5cmを所々に含む
5. 鈍い黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石2～3㎜を1％以下と細砂を含む
6. 鈍い黄褐色土層　締まりややあり、細砂を多く含み、Hr-FP0.5～1cmを所々に含む
7. 灰黄褐色土層　締まりあり、白色軽石1～2㎜を1％含み、Hr-FP0.5～1cmを所々に含む
8. 灰黄褐色土層　細砂を多く含み、軽石を含む
8a. 灰黄褐色土層　明黄褐色砂質土層ブロックを含む
9. 灰黄褐色土層　細砂と As-B軽石（2次）を含む
10. 明赤褐色微砂層　11層、黒褐色土層がラミナ状に入る
11. 黒褐色砂層　粘性、締まりややあり、As-B軽石をブロック状に入る
12. As-B軽石層　上層に厚さ1～2㎝堆積、中段に鈍い赤褐色土2～3㎝堆積し、その下に As-B軽石が10cm程堆積しているラミナ状の3層
（W-5-2）
13. 黒色砂層　As-B軽石を含む
14. 鈍い黄褐色砂層　As-B軽石と褐灰色の As-B灰層をラミナ状に含む
15. As-B軽石層　上層に紫色の灰層を含む

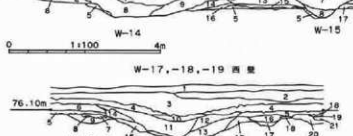
W-9 北壁土層注記
1. 褐色土層　小礫、小石が入る（現耕作土）
2. 褐色土層　コンクリート、瓦入る
3. 灰褐色土層　締まりあり、白色軽石粒を1％含む
4. 鈍い褐色土層　粘性ややあり、締まりあり、Hr-FP 3～5㎜を所々に含む
5. 灰褐色土層　締まりあり、白色軽石2～3㎜を所々に含む
6. 褐色土層　締まりあり、軽石粒が全体に入る
7. 鈍い褐色土層　粘性ややあり、締まりあり、全体に軽石粒が多く入り、Hr-FP と黄褐色粒がわずかに入る
8. 鈍い褐色土層　粘性ややあり、締まりあり、黄褐色砂質土がブロック状に入り、全体に白色軽石粒が入り、わずかに As-C軽石が入る
9. 褐色土層ブロック　粘性、締まりあり、わずかに軽石粒を含む
10. 鈍い褐色土砂層　As-B軽石（2次堆積）と黒色砂質土、黄褐色砂質土をブロック状に含む
11. 黒色土層　粘性、締まりなし、As-B軽石（2次堆積）をラミナ状に含む
12. As-Bの灰層　青灰色
13. As-Bの灰層　紫灰色
14. As-B軽石層　灰黄褐色
15. 灰褐色土層　粘性、締まりあり、白色軽石粒を1％と所々に As-C軽石2～3㎜を含む
16. 黄褐色微砂層　明黄褐色砂質土と As-C軽石3～5㎜を所々に含む（深掘り）
17. 黒色粘質土層
18. 鈍い黄褐色粘質土層　明黄褐色微砂ブロック入る、配管跡あり、黄橙色砂質土層が所々に入る
19. 黒色粘質土層　配管跡あり
20. 鈍い黄色帯砂層　灰層
21. 黒褐色粘質土層　配管跡あり、わずかに As-C軽石2㎜粒が見られる
22. 黄褐色微砂層　配管跡あり
23. 黄褐色微砂層　配管跡あり、浅黄粘度ブロックを所々に入る
24. 鈍い黄褐色粘質土層　細砂ブロックをわずかに含む
25. 鈍い黄褐色粘質土層　わずかに軽石粒が入る

第36図　W-7・9、W-5-2・8-1・8-2・10-2 断面図



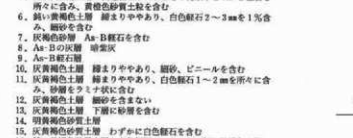
W-11･12 中間壁土層註記
1. 鈍い黄褐色土層　締まりあり、As-B 軽石を含む

W-13 東壁土層註記
1. 鈍い黄褐色土層（現耕作土）
2. 鈍い黄褐色土層　白色軽石を含む
3. 鈍い黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石 2～3㎜を 1 %以下含み、細砂を多く含む
4. 鈍い黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石 1～3㎜を 1 %以下含み、7 層と As-B 軽石を所々に含む（ブロック状）
5. 鈍い黄褐色土層　締まりなし、細砂を多く含む
6. 黄褐色土層　As-B 軽石を30%含み、散化を帯びている
7. 黒褐色土層　締まりあり、白色軽石粒を 1 %以上含み、As-C 軽石を含む
8. 黒褐色土層　締まりあり、わずかに白色軽石粒と As-C 軽石を含む

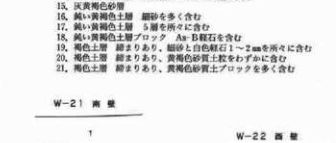


W-17～19 西壁土層註記
1. 灰黄褐色土層（現耕作土）
2. 灰黄褐色土層　白色軽石 1～2㎜を 1 %含む
3. 灰褐色土層　締まりあり、白色軽石 1～5㎜と As-B 軽石、黒褐色土を所々に含む（カクラン層）
4. 鈍い黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石 1～2㎜を 1 %以下含み、細砂を含む
5. 鈍い黄褐色土層　白色軽石 1～2㎜を 1 %以下と As-B 軽石を所々に含み、黄橙色砂質土粒を含む
6. 鈍い黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石 2～3㎜を 1 %含み、細砂を含む
7. 灰褐色砂層　As-B 軽石を含む
8. As-B の灰層　暗紫灰
9. As-B 軽石層
10. 灰黄褐色土層　締まりややあり、細砂、ビニールを含む
11. 灰黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石 1～2㎜を所々に含み、砂層をラミナ状に含む
12. 灰黄褐色土層　細砂を含まない
13. 灰黄褐色土層　下層に砂層を含む
14. 明黄褐色砂質土層
15. 灰黄褐色砂質土層　わずかに白色軽石を含む
16. 鈍い黄褐色砂質土層　白色軽石 1～3㎜を 1 %と黒褐色土層、As-B 軽石をブロック状に含む
17. 鈍い黄褐色砂層　わずかに小礫含む
18. 黒褐色土層ブロック　As-C 軽石をわずかに含む
19. 鈍い黄褐色砂層
20. 鈍い黄褐色砂層と明黄褐色砂質土と黒褐色土層の混土層
21. 鈍い黄褐色微砂層

W-14～16 東壁土層註記
1. 灰黄褐色土層（現耕作土）
2. 灰黄褐色土層　白色軽石 1～2㎜を 1 %含む
3. 暗褐色土層　粘性、締まりややあり、As-C 軽石 1～3㎜を 1 %以下含む
4. 黒褐色土層　粘性ややあり、締まりあり、わずかに As-C 軽石を含む
5. 黄褐色砂質土層（地山）
6. 鈍い黄褐色土層　白色軽石粒と細砂を含む
7. 鈍い黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石粒と細砂をわずかに含む
8. 鈍い黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石粒をわずかに含む
9. 鈍い黄褐色土層　締まりあり、白色軽石 1～2㎜を 1 %以下と As-B 軽石をわずかに含む
10. 3 層のカクラン層
11. 鈍い黄褐色土層　3 層と黄褐色砂質土ブロックが入り、細砂を含む
12. 11 層のカクラン層
13. 鈍い黄褐色土層　11 層と細砂を含む
14. 鈍い黄褐色土層　黒褐色ブロックと15層が入る
15. 灰黄褐色砂層
16. 鈍い黄褐色土層　細砂を多く含む
17. 鈍い黄褐色土層　5 層を所々に含む
18. 鈍い黄褐色土層ブロック　As-B 軽石を含む
19. 褐色土層　締まりあり、細砂と白色軽石 1～2㎜を所々に含む
20. 褐色土層　締まりあり、黄褐色砂質土粒をわずかに含む
21. 褐色土層　締まりあり、黄褐色砂質土ブロックを多く含む



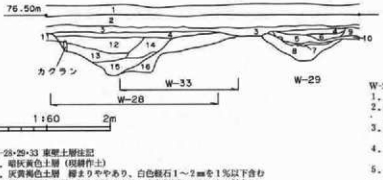
W-23 西壁土層註記
1. 灰黄褐色土層と鈍い黄褐色土の混土層（客土）
2. 灰黄褐色土層　白色軽石 1～2㎜を 1 %以下と As-B 軽石をブロック状に含む
3. 灰黄褐色土層　白色軽石 1～2㎜を 1 %以下含む
4. 灰黄褐色土層　白色軽石 1～3㎜を 1 %以上含む
4a. 灰黄褐色土層　軽石粒を含む
5. 灰黄褐色土層　白色軽石 1～3㎜を 1 %含み、わずかに暗褐色土を含む
6. 鈍い黄褐色土層　粘性なく、締まりややあり白色軽石 2㎜をわずかに含み、細砂を多く含む
7. As-B 軽石層
8. As-B 軽石、凝集層　酸化を帯びる
9. 暗褐色土層　粘性、締まりあ、As-C 軽石 1～2㎜を 1 %以下含む
10. 灰黄褐色砂質土層　小礫、細砂を含む



W-21 南壁土層註記
1. 灰黄褐色土層　小礫と 5～10cmの小石が入る（客土）
2. 灰黄褐色土層　砂、礫を含む
3. 鈍い黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石 1～2㎜を 1 %含む
4. 黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石 1～5㎜を 1 %以下とわずかに小礫を含む
5. 灰黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石 1～3㎜を 1 %以下含み、4 層を所々に含む
6. 灰黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石 1～5㎜を 1 %含み、4 層を所々に含む
7. 灰黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石 1～5㎜を 1 %以下と 1～2㎝の小礫を所々に含む
8. 鈍い黄褐色砂質土層　白色軽石 1～2㎜と As-B 軽石を含む
9. As-B 軽石層
10. 褐灰色土層　粘性、締まりあり、白色軽石 1～2㎜を 1 %以下含む

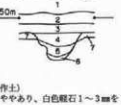
W-22 西壁土層註記
1. 灰黄褐色土層（客土）
2. 鈍い黄褐色土層　わずかに白色軽石を含み、細砂を多く含む
3. 鈍い黄褐色土層　白色軽石粒をわずかに含み、As-B 軽石を含む
4. 鈍い黄褐色土層　白色軽石粒をわずかに含み、As-B 軽石と 3 層をブロック状に含む

第37図　W-11～19・21～23断面図

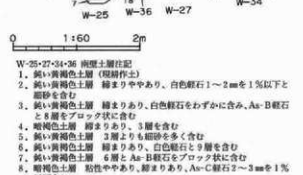


W-28･29･33 東壁土層注記
1. 暗灰黄色土層（現耕作土）
2. 灰黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石1～2mmを1%以下含む
3. 鈍い黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石1～2mmを1%含む
4. 灰褐色土層　締まりややあり、As-B軽石と白色軽石を含む
5. 褐灰色砂層　As-B軽石、As-B炭をブロック状に含む
6. 灰褐色土層　白色軽石1～2mmを1%以下とAs-B軽石をブロック状に含む
7. As-B軽石の灰層（純い褐色）
8. As-B軽石層　ラミナ状に堆積している
9. 灰褐色土層　粘性、締まりあり、白色軽石1～2mmを1%含む
10. 灰黄褐色土層　粘性、締まりあり、As-C軽石1～2mmをわずかに含む
11. 灰黄褐色土層　締まりややあり、細砂を多く含み、白色軽石2～3mmをわずかに含む
12. 灰黄褐色土層　締まりややあり、細砂を多く含み、白色軽石1～2mmを1%以下と小礫5mmを所々に含む
13. 灰黄褐色土層　締まりややあり、As-Bブロックを所々に含む
14. 灰黄褐色土層　締まりややあり、細砂を含み、白色軽石2～3mmを所々に含む
15. 灰黄褐色土層　締まりあり、As-B軽石をブロック状に所々含み、明黄褐色砂質土層をわずかに含む
16. 灰黄褐色土層　締まりあり、所々に黒褐色土層、As-C軽石3～5mmを含む

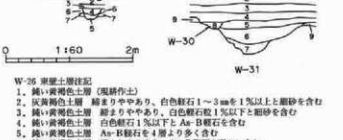
※ W-28とW-33は東壁側で合流している



W-24 東壁土層注記
1. 鈍い黄褐色土層（現耕作土）
2. 灰黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石1～3mmを1%以上と細砂を含む
3. 鈍い黄褐色土層　締まりあり、白色軽石1%以下と細砂を含む
4. 鈍い黄褐色土層　締まりあり、白色軽石1%以下と細砂多くを含む
5. 鈍い黄褐色土層　締まりあり、白色軽石1～2mmをわずかに含み、As-B軽石をブロック状に含む
6. 鈍い黄褐色土層　締まりあり、白色軽石粒を含み、5層よりAs-B軽石を多く含む
7. 鈍い黄褐色土層　締まりややあり、As-B軽石を多く含む

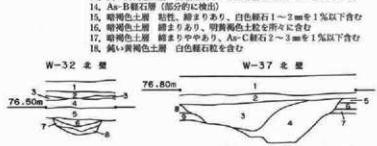


W-25･27･34･36 南壁土層注記
1. 鈍い黄褐色土層（現耕作土）
2. 鈍い黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石1～2mmを1%以下と細砂を含む
3. 鈍い黄褐色土層　締まりあり、白色軽石をわずかに含み、As-B軽石と6層をブロック状に含む
4. 暗褐色土層　締まりあり、3層を含む
5. 鈍い黄褐色土層　3層よりも細砂を多く含む
6. 鈍い黄褐色土層　締まりあり、白色軽石と9層を含む
7. 鈍い黄褐色土層　6層とAs-B軽石をブロック状に含む
8. 暗褐色土層　粘性ややあり、締まりあり、As-C軽石2～3mmを1%以下含む
9. 暗褐色土層　粘性ややあり、締まりあり、As-C軽石を1%以下と黄褐色砂質土を所々に含む
10. 鈍い黄褐色土層　締まりあり、白色軽石1～2mmを1%以上含み、細砂を含む
11. 鈍い黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石1～2mmを1%以下含み、細砂を含む
12. 鈍い黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石1～2mmを1%以下含み、小石を含む
13. 鈍い黄褐色土層　白色軽石1～2mmを含む（カクランされている）
14. As-B軽石層（部分的に検出）
15. 暗褐色土層　粘性、締まりあり、白色軽石1～2mmを1%以下含む
16. 暗褐色土層　締まりあり、明黄褐色土粒を所々に含む
17. 暗褐色土層　締まりややあり、As-C軽石2～3mmを1%以下含む
18. 鈍い黄褐色土層　白色軽石粒を含む



W-26 東壁土層注記
1. 鈍い黄褐色土層（現耕作土）
2. 灰黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石1～3mmを1%以上と細砂を含む
3. 鈍い黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石粒1%以下と細砂を含む
4. 鈍い黄褐色土層　白色軽石1%以下とAs-B軽石を含む
5. 鈍い黄褐色土層　As-B軽石を4層より多く含む
6. 鈍い黄褐色土層　締まりややあり、As-B軽石を所々に含む
7. As-B軽石層

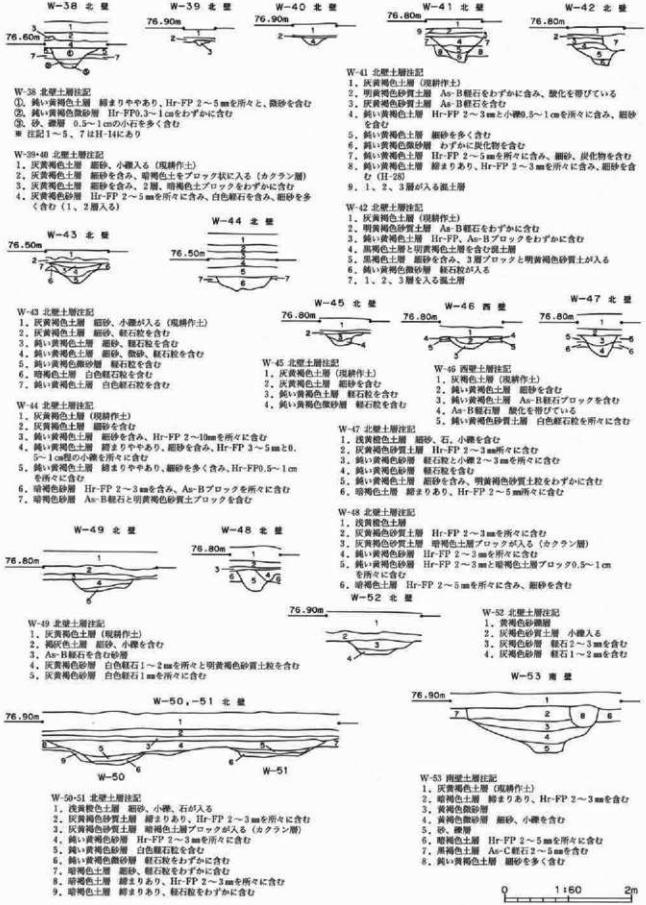
W-30･31 東壁土層注記
1. 暗灰黄色土層（現耕作土）
2. 灰黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石1～2mmを1%以下と細砂を多く含む
3. 鈍い黄褐色土層　締まりややあり、白色軽石1～2mmをわずかに含み、細砂を含む
4. 鈍い黄褐色土層　締まりあり、白色軽石1～2mmを1%以下とAs-B軽石を10%含む
5. 鈍い黄褐色土層　締まりあり、白色軽石1～2mmを1%以下とAs-B軽石を5%含む
6. 黒褐色土層　As-C軽石1%以下と鈍い黄褐色土、白色軽石1mmを1%以下含む粘土層
7. 褐色砂質土層　細砂がラミナ状に入る
8. 鈍い黄褐色砂質土層　白色軽石1～2mmを1%以下含む（W-30）
9. 灰黄褐色土層　粘性、締まりあり、As-C軽石1～3mmを1%含む



W-32 北壁土層注記
1. 灰黄褐色土層（現耕作土）
2. 1層、2層、鈍い黄褐色土層を含むカクラン層
3. 灰黄褐色土層
4. 明黄褐色砂質土層　Hr-FP 3～5mmを所々に含む
5. 黄褐色砂質土層　Hr-FP 3～5mmを所々に含み、As-B軽石を含む
6. 鈍い黄褐色土層　Hr-FP 2～3mmを所々に含み、明黄褐色砂質土と細砂を含む
7. 鈍い黄褐色砂質土層　Hr-FP を含む
8. 鈍い黄橙色砂層

W-37 北壁土層注記
1. 灰黄褐色土層　細砂を含む（現耕作土）
2. 灰黄褐色土層　As-B軽石ブロックと暗褐色土ブロックが入る（カクラン層）
3. 灰黄褐色土層　細砂を多く含み、Hr-FP 2～3mmを所々に含む
4. 灰黄褐色土層　Hr-FP 2～3mmをわずかに含み、細砂、微砂を多く含む
5. 鈍い黄褐色土層　細砂を含み、層化を帯びている
6. 鈍い黄褐色土層　Hr-FP 2～5mmを所々に含み、細砂を含む
7. 暗褐色土層　Hr-FP 2～5mmを所々に含み、細砂を含む
8. 鈍い黄褐色土層　締まりあり、Hr-FP 2～10mmを所々に含み、細砂を含む
9. 鈍い黄褐色土層　Hr-FP 2～10mmを所々に含み、細砂と明黄褐色砂質土粒を含む

第38図　W-24～34・36・37断面図



W-38 北壁土層註記
①、鈍い黄褐色土層　締まりややあり、Hr-FP 2～5㎜を所々と、微砂を含む
②、鈍い黄褐色微砂層　Hr-FP0.3～1cmをわずかに含む
③、砂、礫層　0.5～1cmの小石を多く含む
※ 注記1～5、7は H-14にあり

W-39･40 北壁土層註記
1、灰黄褐色土層　固砂、小礫入る（現耕作土）
2、灰黄褐色土層　細砂を含み、暗褐色土をブロック状に入る（カクラン層）
3、灰黄褐色土層　細砂を含み、2層、暗褐色土ブロックをわずかに含む
4、灰黄褐色砂層　Hr-FP 2～3㎜を所々に含み、白色細石を含み、細砂を多くを含む（1、2層入る）

W-41 北壁土層註記
1、灰黄褐色土層（現耕作土）
2、明黄褐色砂質土層　As-B軽石をわずかに含み、酸化を帯びている
3、灰黄褐色砂質土層　As-B軽石を含む
4、鈍い黄褐色土層　Hr-FP 2～3㎜と小礫0.5～1cmを所々に含み、細砂を含む
5、鈍い黄褐色土層　細砂を多く含む
6、鈍い黄褐色微砂層　わずかに炭化物を含む
7、鈍い黄褐色土層　Hr-FP 2～5㎜を所々に含み、細砂、炭化物を含む
8、鈍い黄褐色土層　締まりあり、Hr-FP 2～3㎜を所々に含み、細砂を含む（H-28）
9、1、2、3層が入る混土層

W-42 北壁土層註記
1、灰黄褐色土層（現耕作土）
2、明黄褐色砂質土層　As-B軽石をわずかに含む
3、鈍い黄褐色土層　Hr-FP 2～5㎜をブロックをわずかに含む
4、黒褐色土層と明黄褐色土層を含む混土層
5、黒褐色土層　細砂を含み、3層ブロックと明黄褐色砂質土が入る
6、鈍い黄褐色微砂層　軽石粒が入る
7、1、2、3層を入る混土層

W-43 北壁土層註記
1、灰黄褐色土層　細砂、小礫が入る（現耕作土）
2、灰黄褐色土層　細砂、軽石粒を含む
3、鈍い黄褐色土層　細砂、軽石粒を含む
4、鈍い黄褐色土層　細砂、微砂、軽石粒を含む
5、鈍い黄褐色微砂層　軽石粒を含む
6、暗褐色土層　白色軽石粒を含む
7、鈍い黄褐色土層　白色軽石粒を含む

W-44 北壁土層註記
1、灰黄褐色土層（現耕作土）
2、灰黄褐色土層　細砂を含む
3、鈍い黄褐色土層　細砂を含み、Hr-FP 2～3㎜を所々に含む
4、鈍い黄褐色土層　締まりややあり、細砂を含み、Hr-FP 3～5㎜と0.5～1cm程の小礫を所々に含む
5、鈍い黄褐色土層　締まりややあり、細砂を多く含み、Hr-FP0.5～1cmを所々に含む
6、暗褐色砂層　Hr-FP 2～3㎜を含み、As-Bブロックを所々に含む
7、暗褐色砂層　As-B軽石と明黄褐色砂質土ブロックを含む

W-45 北壁土層註記
1、灰黄褐色土層（現耕作土）
2、灰黄褐色土層　細砂を含む
3、鈍い黄褐色土層　軽石粒を含む
4、鈍い黄褐色微砂層　軽石粒を含む

W-46 西壁土層註記
1、灰黄褐色土層（現耕作土）
2、鈍い黄褐色土層　細砂を含む
3、鈍い黄褐色土層　As-B軽石ブロックを含む
4、As-B軽石層　酸化を帯びている
5、鈍い黄褐色砂質土層　白色軽石粒を所々に含む

W-47 北壁土層註記
1、茂黄褐色土層　細砂、石、小礫を含む
2、灰黄褐色砂質土層　Hr-FP 2～3㎜所々に含む
3、鈍い黄褐色砂層　軽石粒と小礫2～3㎜を所々に含む
4、鈍い黄褐色土層　軽石粒を含む
5、鈍い黄褐色土層　細砂を含み、明黄褐色砂質土粒をわずかに含む
6、暗褐色土層　締まりあり、Hr-FP 2～5㎜所々に含む

W-48 北壁土層註記
1、茂黄褐色土層
2、灰黄褐色砂質土層　Hr-FP 2～3㎜を所々に含む
3、灰黄褐色砂質土層　暗褐色土層ブロックが入る（カクラン層）
4、鈍い黄褐色砂層　Hr-FP 2～3㎜を所々に含む
5、鈍い黄褐色砂層　Hr-FP 2～3㎜と暗褐色土層ブロック0.5～1cmを所々に含む
6、暗褐色土層　Hr-FP 2～5㎜を所々に含み、細砂を含む

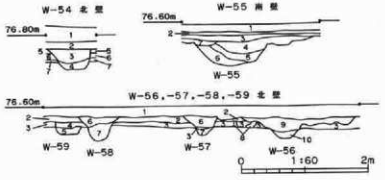
W-49 北壁土層註記
1、灰黄褐色土層（現耕作土）
2、褐灰色土層　細砂、小礫を含む
3、As-B軽石を含む砂層
4、灰黄褐色砂層　白色軽石1～2㎜を所々と明黄褐色砂質土粒を含む
5、灰黄褐色砂層　白色軽石1㎜を所々に含む

W-52 北壁土層註記
1、黄褐色砂礫層
2、灰褐色砂質土層　小礫入る
3、灰色砂層　軽石2～3㎜を含む
4、灰褐色砂層　軽石1～2㎜を含む

W-50-51 北壁土層註記
1、茂灰褐色土層　細砂、小礫、石が入る
2、灰黄褐色砂質土層　締まりあり、Hr-FP 2～3㎜を所々に含む
3、灰黄褐色砂質土層　暗褐色土層ブロックが入る（カクラン層）
4、鈍い黄褐色砂層　Hr-FP 2～3㎜を所々に含む
5、鈍い黄褐色砂層　白色軽石粒を含む
6、鈍い黄褐色微砂層　軽石粒をわずかに含む
7、暗褐色土層　固砂、軽石粒をわずかに含む
8、暗褐色土層　締まりあり、Hr-FP 2～3㎜を所々に含む
9、暗褐色土層　締まりあり、軽石粒をわずかに含む

W-53 南壁土層註記
1、灰黄褐色土層（現耕作土）
2、暗褐色土層　締まりあり、Hr-FP 2～3㎜を含む
3、黄褐色微砂層
4、黄褐色微砂層　細砂、小礫を含む
5、砂、礫層
6、暗褐色土層　Hr-FP 2～5㎜を所々に含む
7、黒褐色土層　As-C軽石2～5㎜を含む
8、鈍い黄褐色土層　細砂を多く含む

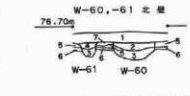
第39図　W-38～53断面図

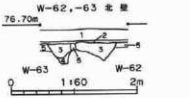


W-54 北壁土層注記
1. 浅黄橙色土層　細砂、石、小礫を含む
2. 灰黄褐色砂質土層　Hr-FP 2～3㎜等々に含む
3. 鈍い黄褐色砂層　Hr-FP 2～3㎜所々に含む
4. 鈍い黄褐色砂層　軽石粒を含む
5. 灰黄褐色砂質土層　小礫を所々に含み、酸化を帯びている
6. 暗褐色土層　締まりあり、細砂と白色軽石粒を含む
7. 黒褐色土層　締まりあり、As-C軽石1～2㎜を含む

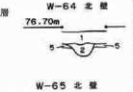
W-55 南壁土層注記
1. 灰黄褐色土層　細砂、小礫2～3㎜を含む
2. 鈍い黄橙砂質土層　明黄褐色砂質土と As-B軽石を含む
3. 鈍い黄褐色砂質土層　As-B軽石を含む
4. 暗褐色砂層　白色軽石1～2㎜を1%以下を含む
5. 暗褐色土層　白軽石粒1%以下を含む
6. 暗褐色微砂層　白色軽石粒を所々に含む
7. 鈍い黄褐色砂層　白色軽石粒1～2㎜を1%含む

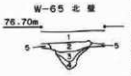
W-56~59 北壁土層注記
1. 灰黄褐色土層　細砂を多く含む
2. 鈍い黄褐色土層　As-B軽石を10%以上含み、わずかに As-C軽石2～3㎜を所々に含む
3. 黒褐色土層　締まりあり、As-C軽石2～3㎜を1%含む
4. 鈍い黄褐色砂層　As-B軽石を1%以上含む
5. 鈍い黄褐色砂層　As-B軽石を1%以下と細砂を多く含む
6. 鈍い黄橙色砂質土層　細砂を多く含み、白色軽石2～3㎜を所々に含む（1層と2層を含む）
7. 灰黄褐色砂質土層　細砂を多く含み、わずかに小礫3～5㎜を含む（1層に2層がふくむ）
8. 1～3層の混土層（耕作機械のカクラン層）
9. 鈍い黄褐色砂質層　1～3層をブロック状に含む混土層
10. 鈍い黄褐砂色質土層　黒褐色土をブロック状に含む





W-60~61 北壁土層注記
1. 灰黄褐色土層　軽石、細砂を含む（現耕作土）
2. 鈍い黄褐色土層　締まりややあり、細砂と軽石粒を含む
3. 鈍い黄褐色土層　締まりなし、細砂を多く含み、軽石粒を含む
4. 5層と7層の混土層
5. 鈍い黄橙色砂質土層　As-B軽石を含む
6. 暗褐色土層　As-C軽石1～2㎜を含む
7. 鈍い黄褐色砂質土層　わずか5層を含む

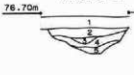


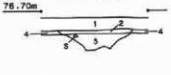


W-62-63 北壁土層注記
1. 灰褐色土層（現耕作土）
2. 明黄褐色砂質土層　As-B軽石を含む
3. 暗褐色砂質土層　細砂を多く含み、Hr-FP 2～5㎜を所々に含む
4. 暗褐色砂質土層　わずかに軽石を含む
5. 鈍い黄褐色土層　Hr-FP 2～3㎜を所々に含み、細砂を含む

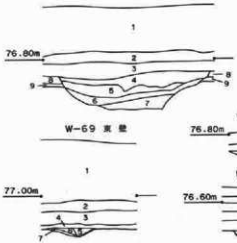
W-64~65 北壁土層注記
1. 灰黄褐色土層（現耕作土）
2. 鈍い黄褐色砂質土層　白色軽石粒を含む
3. 鈍い黄褐色砂質土層　軽石粒を含む
4. 鈍い黄褐色砂質土層と暗褐色土層の混土層
5. 明黄褐色砂質土層　As-B軽石を含む

W-66 北壁土層注記
1. 灰褐色土層（現耕作土）
2. 鈍い黄褐色砂質土層
3. 鈍い黄褐色砂質土と砂層の混土層
4. 鈍い黄褐色砂質土層　軽石粒が入る
5. 鈍い黄褐色砂質土層　砂層ブロックと白色軽石2～3㎜をわずかに含む





W-67 北壁土層注記
1. 灰黄褐色土層　細砂、軽石粒を含む（現耕作土）
2. 灰黄褐色土層　As-B軽石を1%以上含む
3. 灰黄褐色土層　Hr-FP 2～3㎜を所々に含み、小礫を含む
4. As-B軽石層



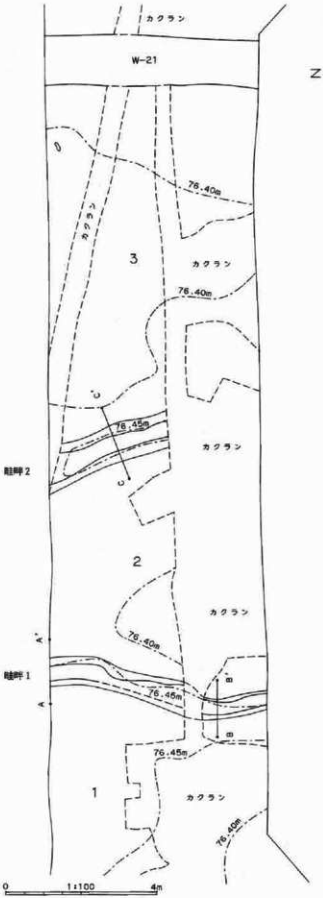
W-68 西壁土層注記
1. 鈍い黄褐色土層　小石、アスファルトが入る
2. 灰黄褐色土層　細砂、小礫が入る
3. 灰黄褐色土層と鈍い黄褐色土層、As-Bブロックの混土層（カクラン層）ビニール入る
4. 暗褐色砂質土層　白色軽石1～2㎜を5%含む
5. 暗褐色砂質土層　白色軽石1～2㎜を5%以上含む
6. 灰黄褐色粘質土層　細砂をラミナ状に含む
7. 褐灰色砂層
8. 褐灰色粘質土層　As-C軽石1～2㎜を1%以下含む
9. 暗褐色土層　締まりあり、As-C軽石1～2㎜を1%以下含み、細砂を含む

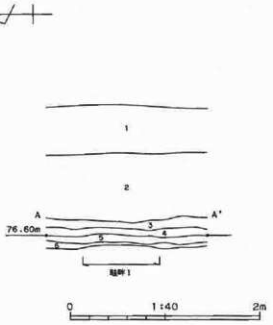
W-69 東壁土層注記
1. 鈍い黄褐色土層　石、小礫が入る
2. 灰黄褐色土層　細砂と Hr-FP 3～5㎜を所々に含む
3. 鈍い黄褐色土層　締まりややあり、細砂と As-B軽石ブロックを含む
4. 鈍い黄褐色土層　締まりややあり、細砂と白色軽石1～2㎜を含む
5. 4層と As-B軽石を含む混土層
6. As-B軽石を10%含み、4層をブロック状に含む混土層
7. 鈍い黄褐色土層　白色軽石1㎜をわずかに含む

W-70 西壁土層注記
1. 灰褐色土層　細砂、小礫が入る（現耕作土）
2. 灰褐色土層　1層と暗褐色土、ビニールが入る（カクラン層）
3. 鈍い黄褐色砂層　暗褐色土層ブロックを含む

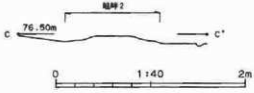
W-71 南壁土層注記
1. 灰褐色土層（現耕作土）
2. 灰褐色土層　細砂と微化土を含む
3. 灰褐色土層　微砂、小礫を所々に含み、酸化を帯びている
4. 灰褐色土層　Hr-FP 2～5㎜を所々に含む
5. 灰褐色土層　微砂、明黄褐色砂質土粒を全体に含み、Hr-FP 2～5㎜を所々に含む
6. 明黄褐色微砂層　軽石粒をわずかに含む
7. 砂礫層　0.3～1.5㎝の礫が多く入る

第40図　W-54~71断面図

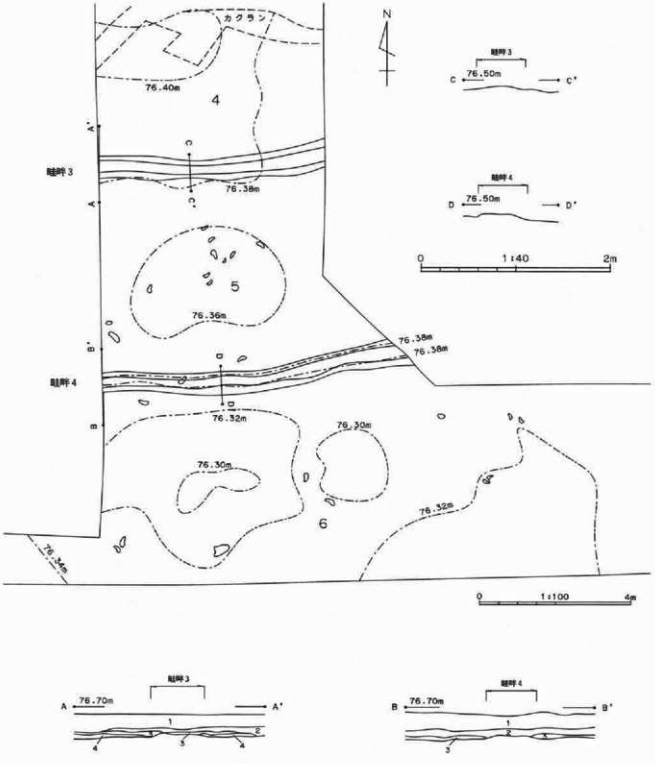




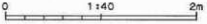
畦畔 北壁土層注記（BL-16･17グリッド内）
1．灰黄褐色土層　細砂、小礫を含む（現耕作土）
2．灰黄褐色土層　細砂、小礫、ビニールが入る
3．灰黄褐色土層　締まりややあり 細砂、軽石粒を含む
4．明黄褐色砂質土層　3層とAs-B軽石を含む
5．明黄褐色砂質土層　4層とAs-B軽石を多く含む
6．As-B軽石層　酸化を帯びている



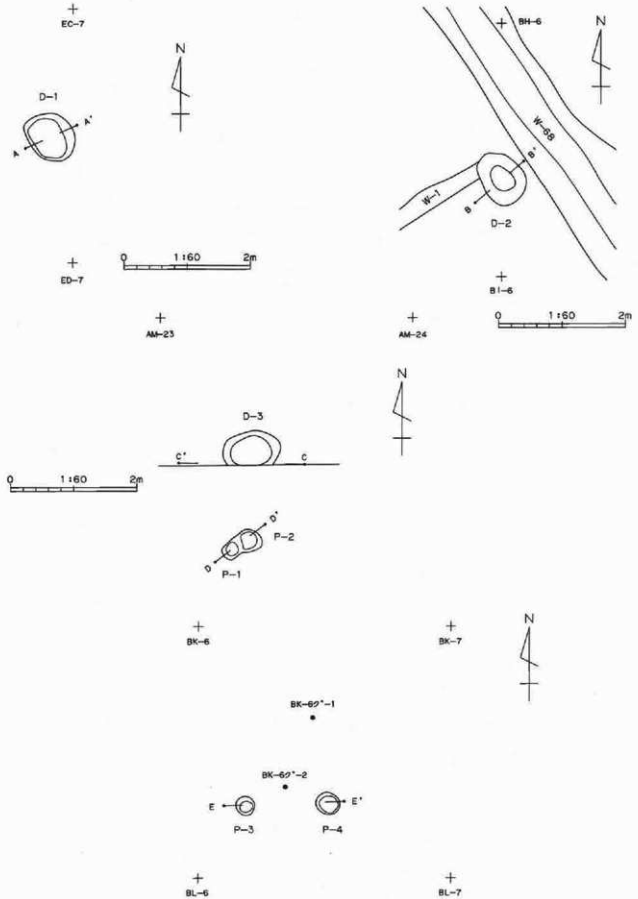
第41図　As-B軽石層下水田跡実測図



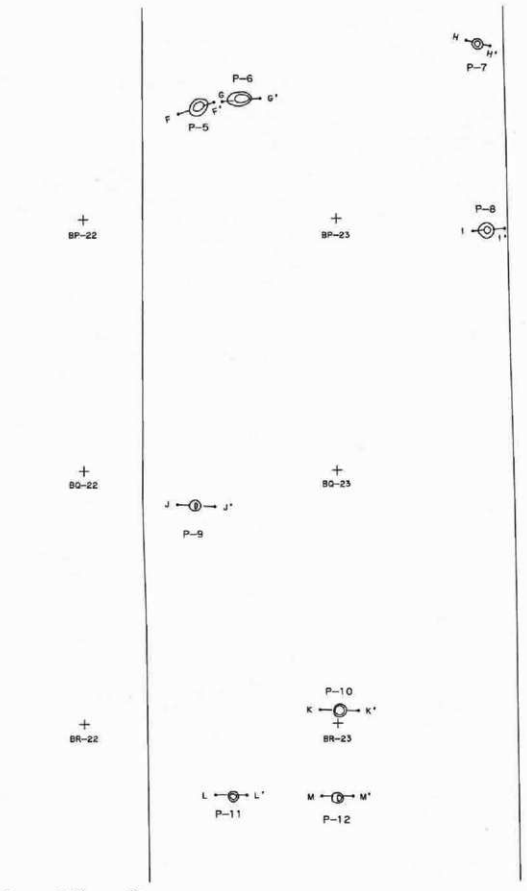
畦畔 西壁土層注記（DM-N-7グリッド内とDO-7グリッド内）
1．灰黄褐色土層（現水田耕作土）
2．灰黄褐色土層　細砂を含む
3．As-B軽石層　酸化を受ける
4．暗褐色土層　粘性、締まりあり、Hr-FP塊をわずかに含む（B水田層）



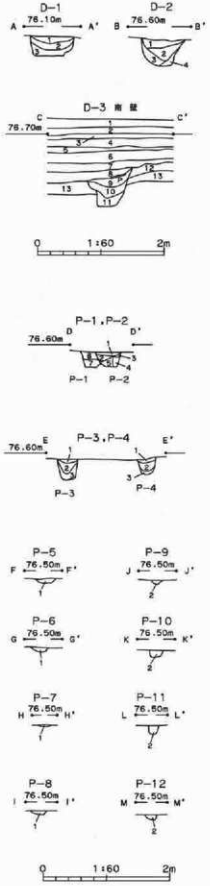
第42図　As-B軽石層下水田跡実測図



第43図　D-1～3、P-1～4、W-1・68実測図



第44図　P-5～12実測図



D-1 土層注記（EC-6グリッド内）
1. 純い黄褐色土層　粘性、締まりなく、細砂と小礫0.5～1cmを所々に含む
2. 純い黄褐色土層　粘性、締まりなく、白色軽石1～2mmと明黄褐色砂質土ブロックを所々に含む
3. 明黄褐色砂質土層　黒褐色土層ブロックをわずかに含む

D-2 土層注記（BH-5・6グリッド内）
1. 純い黄褐色砂質土層　As-B軽石10%以上含む
2. 純い黄褐色砂質土層　As-B軽石5%以上含み、灰黄褐色粘質土ブロックを所々に含む
3. 灰黄褐色粘質土層　細砂を含む
4. 灰黄褐色粘質土層　わずかに明黄褐色砂質土ブロックを含む

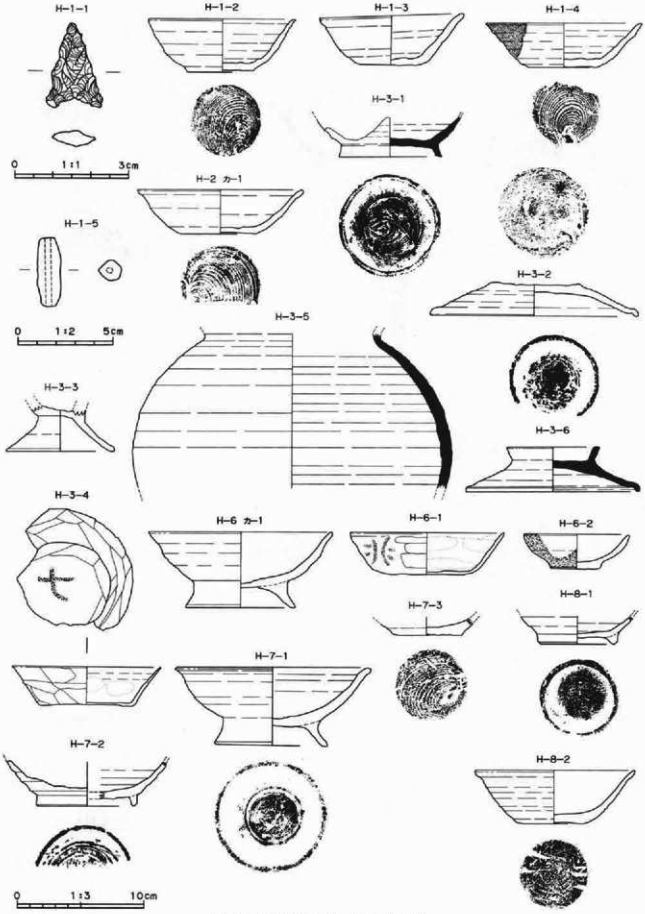
D-3（9層～11層）南壁土層注記（AM-23グリッド内）
1. 灰黄褐色土層（現耕作土）
2. 灰黄褐色土層　酸化を帯びている
3. 灰黄褐色土層　細砂、小礫を含み、ビニール入る
4. 純い黄褐色土層　細砂を含み、わずかに小礫3～5mmを含む
5. 純い黄褐色土層　細砂を多く含み、小礫2～3mmを所々に含む
6. 純い黄褐色土層　締まりあり、細砂を含み、Hr-FP 2～3mmを所々に含む
7. 純い黄褐色土層　締まりあり、細砂を含み、Hr-FP 3～5mmを所々に含む
8. 暗褐色土層　締まりあり、As-C軽石2～3mmと炭化物をわずかに含む
9. 暗褐色土層　締まりややあり、As-C軽石3～5mmを所々に含む
10. 純い黄褐色土層　As-C軽石3～5mmを所々に含み、暗褐色土ブロック、明黄褐色砂質土、炭化物を所々に含む
11. 純い黄褐色土層　細砂と浅黄橙色砂礫土を含む
12. 明黄褐色砂質土層
13. 純い黄褐色砂層　小礫を所々に含む

P-1・2 土層注記（BJ-5グリッド内）
1. 純い黄褐色土層　粘性、締まりあり、As-C軽石と炭化物をわずかに含む
2. 褐色土層　粘性、締まりあり、白色軽石粒1mmを所々に含む
3. 黒褐色土層　粘性ややあり、締まりあり、白色軽石粒をわずかに含む
4. 黒褐色土層　粘性ややあり、As-C軽石1～2mmをわずかに含む
5. 褐色土層　粘性、締まりややあり、白色軽石粒とわずかに炭化物を含む
6. 純い黄褐色土層　粘性、締まりややあり、白色軽石1～2mmを1%以下含む
7. 褐色土層　As-C軽石1～2mmを1%以下含み、黒色土層を所々に含む

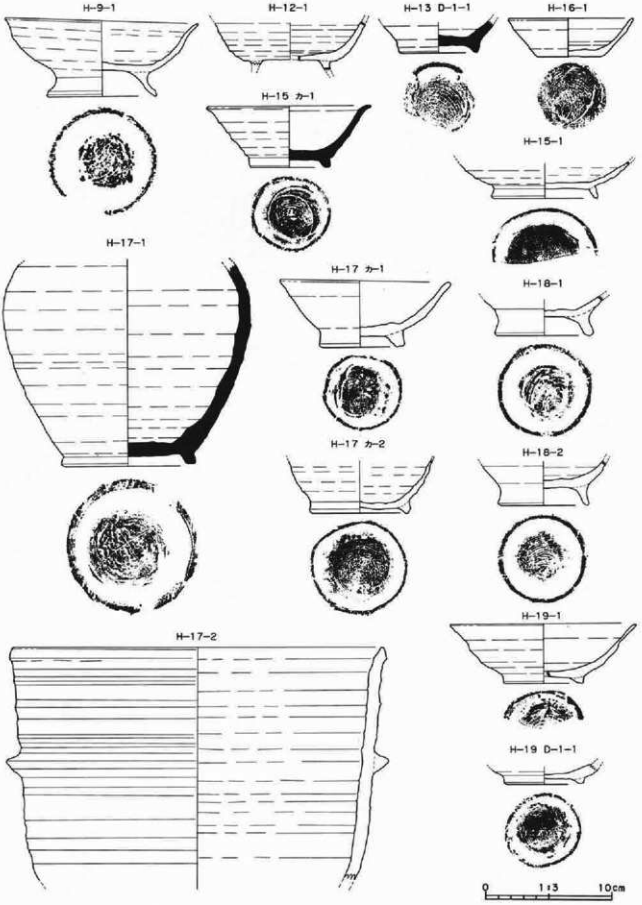
P-3・4 土層注記（HK-6グリッド内）
1. 純い黄褐色土層　粘性、締まりややあり、白色軽石粒をわずかに含む
2. 純い黄褐色土層　粘性、締まりややあり、白色軽石粒と黄褐色砂質土粒をわずかに含み、炭化物を所々に含む
3. 暗褐色土層　粘性、締まりあり、As-C軽石を所々に含み、黄褐色砂質土粒がわずかに入る

P-5～12 土層注記
P-5・6（BO-22グリッド内）、P-7（BO-23グリッド内）、P-8（BP-23グリッド内）、P-9（BQ-22グリッド内）、P-10（BQ-22・23グリッド内）、P-11（BR-22グリッド内）、P-12（BR-22・23グリッド内）
1. 純い黄褐色砂層　As-B軽石層を含み、酸化を帯びる
2. 純い黄褐色砂層　As-B軽石層を含む

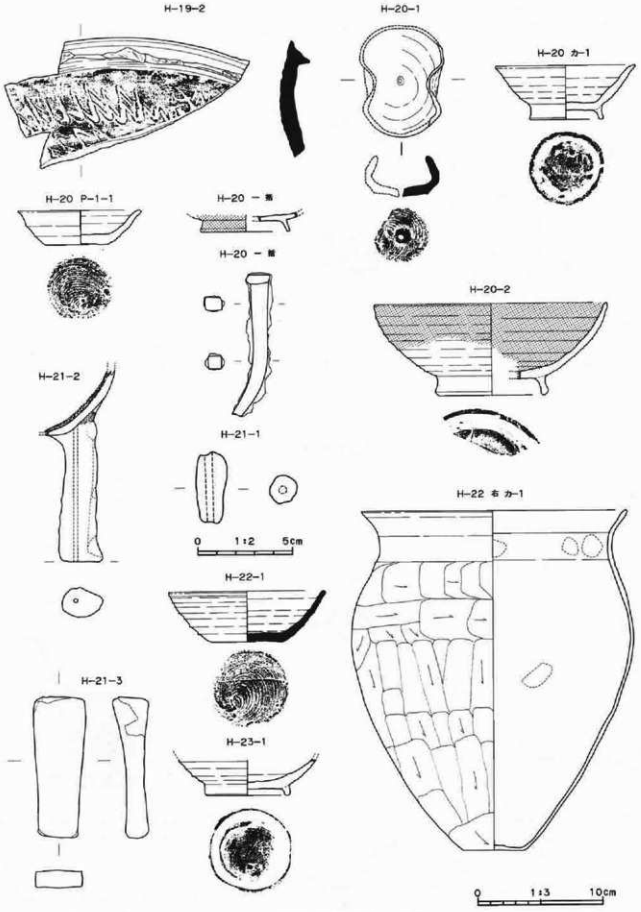
第45図　D-1～3、P-1～12断面図



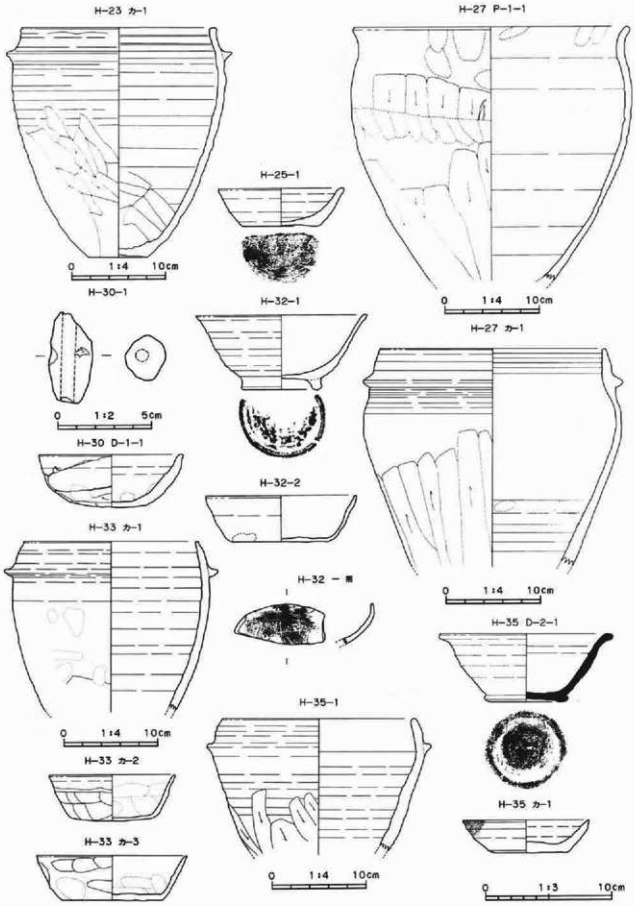
第46図　縄文時代の石鏃、平安時代の遺物



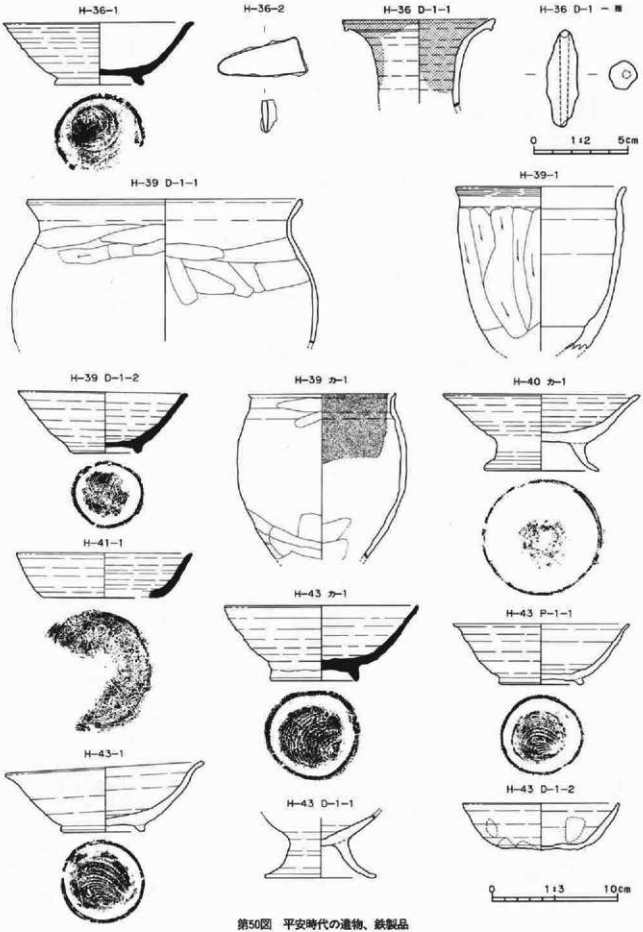
第47図　平安時代の遺物



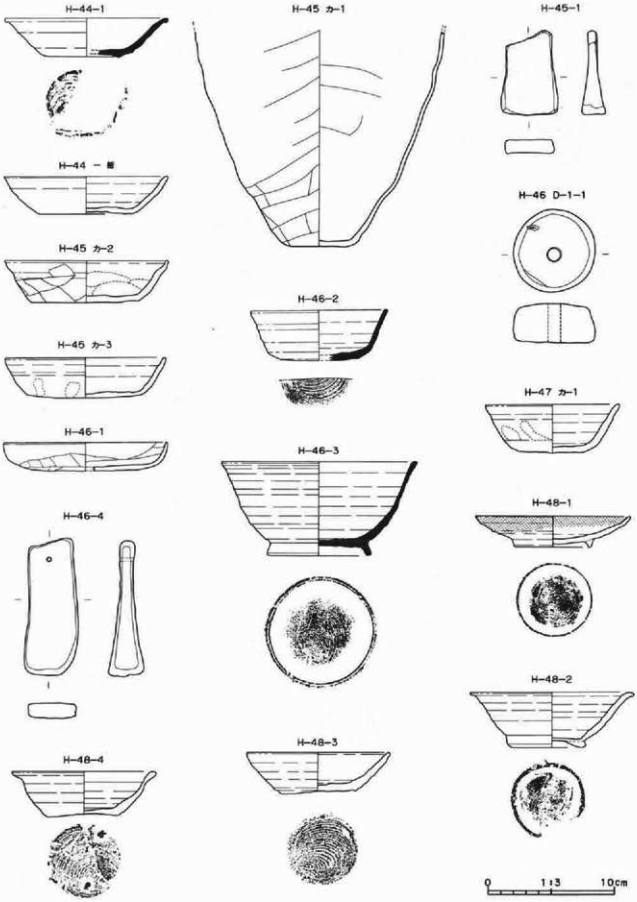
第48図　平安時代の遺物、鉄製品、砥石



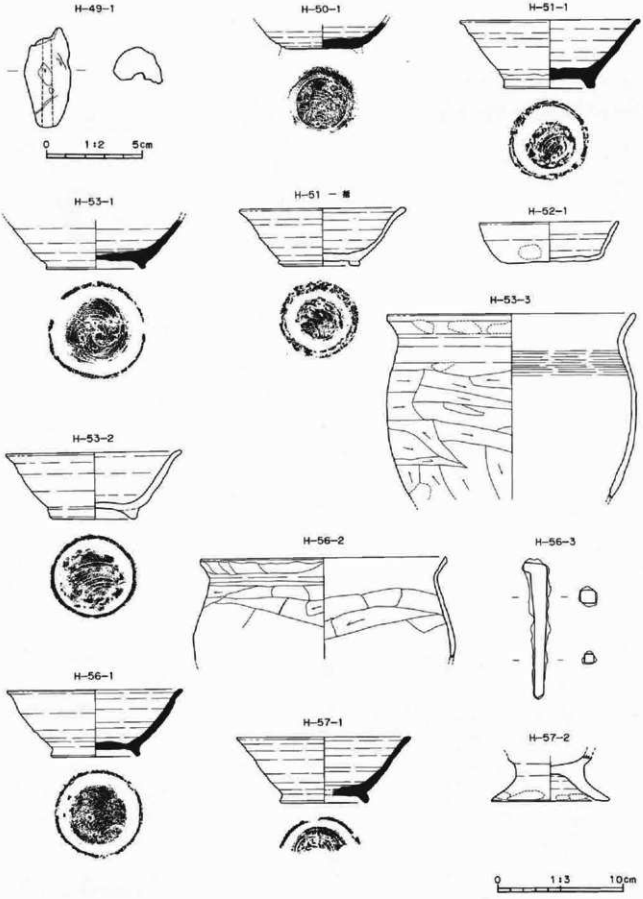
第49図　平安時代の遺物



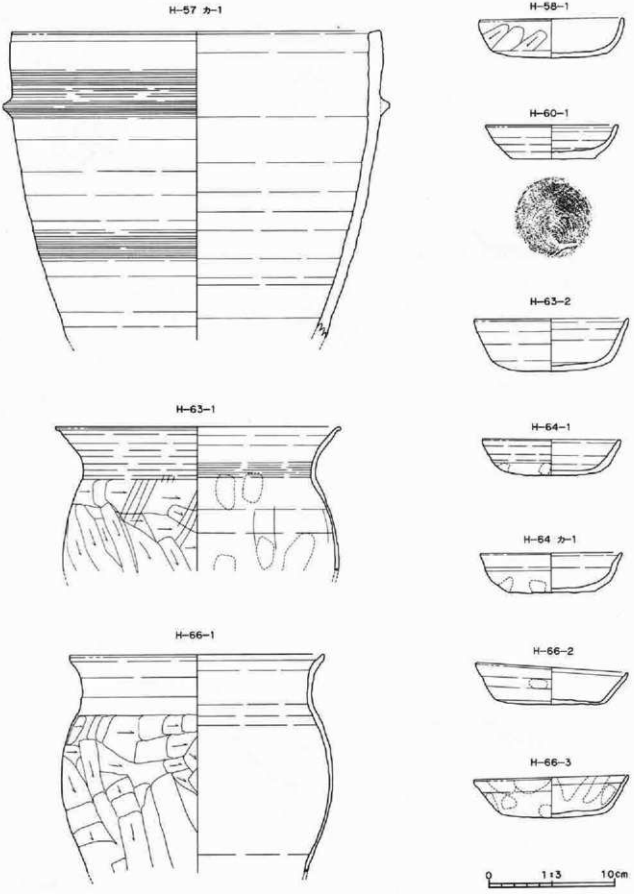
第50図　平安時代の遺物、鉄製品



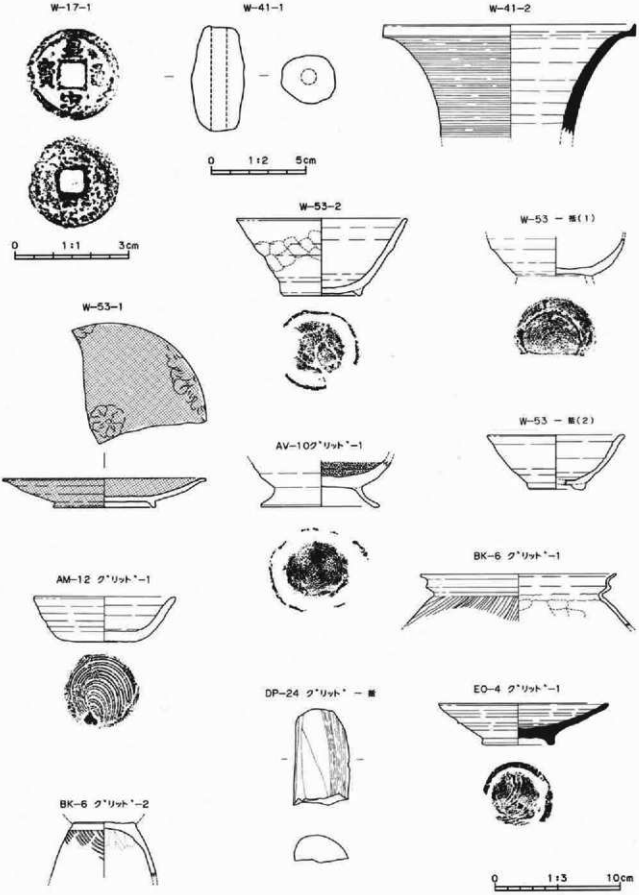
第51図　平安時代の遺物、石製品



第52図　平安時代の遺物、鉄製品



第53図　平安時代の遺物



第54図　古墳時代・平安時代の遺物、石製品、古銭

調査前現況 (北東から)

調査前現況 (北から)

A·D調査区全景 (北東から)

B·C·E調査区全景 (北西から)

A·B調査区全景 (東から)

A·B調査区全景 (東から)

D·E調査区全景 (東から)

A·B調査区全景 (東から)

図版　2

A·D調査区全景　(北から)

B·D調査区全景　(北から)

B調査区全景　(東から)

B·E調査区全景　(北から)

B·E調査区全景　(北から)

B·C調査区全景　(西から)

H-1号住居跡全景　(北から)

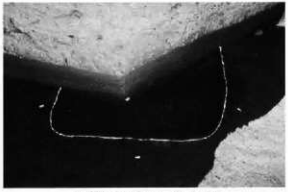
H-1号住居跡遺物出土状況

H-2号住居跡全景 (西から)

H-3号住居跡全景 (西から)

H-3号住居跡カマド全景 (北から)

H-4号住居跡全景 (西から)


H-5 住居跡完掘 (北から)

H-6·7号住居跡全景 (西から)

H-6·7号住居跡遺物出土状況 (西から)

H-8号住居跡全景 (西から)

図版　4

H-9号住居跡全景　(西から)

H-9号住居跡炭化物出土状況　(西から)

H-10号住居跡全景　(西から)

H-11号住居跡全景　(西から)

H-12号住居跡全景　(西から)

H-13号住居跡全景　(西から)

H-14号住居跡全景　(西から)

H-15号住居跡全景　(西から)

H-16号住居跡全景 (西から)

H-16・17・18号住居跡全景 (西から)

H-19号住居跡全景 (西から)

H-20・21号住居跡全景 (西から)

H-21号住居跡遺物出土状況

H-22号住居跡全景 (西から)

H-22号住居跡左・右カマド全景 (西から)

H-23号住居跡全景 (西から)

図版 6

H-23号住居跡カマド遺物出土状況(西から)

H-24·54号住居跡全景 (西から)

H-24·54号住居跡カマド全景 (西から)

H-25号住居跡全景 (西から)

H-26号住居跡全景 (西から)

H-27号住居跡全景 (西から)

H-27号住居跡カマド遺物出土状況(西から)

H-27号住居跡P-1遺物出土状況

H-28号住居跡全景 (西から)

H-29号住居跡全景 (西から)

H-30号住居跡全景 (西から)

H-31号住居跡全景 (西から)

H-32号住居跡全景 (西から)

H-33号住居跡全景 (西から)

H-34·55号住居跡全景 (西から)

H-35·36·38号住居跡全景 (西から)

図版 8

H-37・51号住居跡全景 (西から)

H-39・40号住居跡全景 (西から)

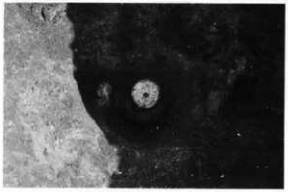
H-41・42号住居跡全景 (西から)

H-41号住居跡遺物出土状況

H-43号住居跡全景 (西から)

H-44号住居跡全景 (西から)

H-45・46号住居跡全景 (西から)



H-46号住居跡D-1遺物出土状況

H-47号住居跡全景 (西から)

H-48号住居跡全景 (西から)

H-48号住居跡遺物出土状況

H-49号住居跡全景 (西から)

H-50号住居跡全景 (西から)

H-52号住居跡遺物出土状況 (西から)

H-53·56号住居跡全景 (北から)

H-57号住居跡遺物出土状況 (西から)

図版 10

H-58号住居跡全景　(西から)

H-59号住居跡全景　(西から)

H-60号住居跡全景　(西から)

H-61号住居跡全景　(西から)

H-62号住居跡全景　(西から)

H-63号住居跡全景　(西から)

H-63号住居跡遺物出土状況

H-64号住居跡　全景　(西から)

H-64号住居跡カマド全景　(西から)

H-65号住居跡全景　(西から)

H-66号住居跡全景　(西から)

D区As-B水田・畦畔全景　(東から)

B区As-B水田・畦畔全景　(西から)

W-1号溝全景　(東から)

W-2号溝全景　(東から)

W-3-1号溝東壁セクション　(西から)

図版 12

W-3-2号溝全景　(北から)

W-4号溝全景　(北西から)

W-5-1号溝全景　(南東から)

W-5-2、W-10-2号溝全景　(南東から)

W-6号溝全景　(東から)

W-7号溝全景　(西から)

W-8-1号溝全景　(北西から)

W-8-2、W-71号溝全景　(北から)

W-9号溝全景 (北から)

W-10-1号溝全景 (南から)

W-11号溝全景 (南から)

W-12号溝全景 (南から)

W-13号溝全景 (西から)

W-14～18号溝全景 (北西から)

W-19号溝全景 (北西から)

W-20号溝全景 (南東から)

図版 14

W-21号溝全景 (北から)

W-22号溝全景 (東から)

W-23号溝全景 (西から)

W-24～27·36号溝全景 (西から)

W-28·33号溝全景 (西から)

W-29号溝全景 (西から)

W-30·31号溝全景 (南西から)

W-32号溝全景 (南東から)

W-34号溝全景　(北西から)

W-35号溝全景　(北西から)

W-37号溝全景　(南東から)

W-38号溝全景　(南東から)

W-39号溝全景　(南から)

W-40号溝全景　(南から)

W-41・42号溝全景　(北から)

W-43号溝全景　(北から)

図版 16

W-44号溝全景 (南から)

W-45号溝全景 (南から)

W-46号溝全景 (東から)

W-47号溝全景 (南から)

W-48·49号溝全景 (南から)

W-50·51号溝全景 (西から)

W-52号溝全景 (西から)

W-53号溝全景 (南東から)

W-54号溝全景 (南から)

W-55～59号溝全景 (東から)

W-60·61号溝全景 (北から)

W-62·63号溝全景 (北から)

W-64号溝全景 (北から)

W-65号溝全景 (北から)

W-66号溝全景 (北から)

W-67号溝全景 (北から)

図版 18

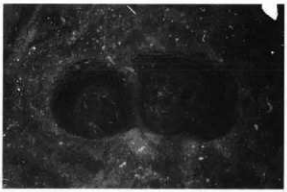
W-68号溝、D-2全景　(南から)

W-69号溝全景　(北西から)

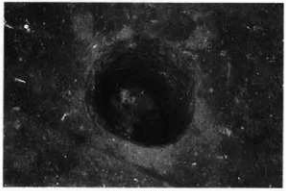
W-70号溝全景　(東から)

E区D-1全景

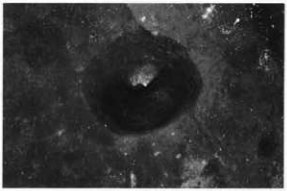
A区D-3全景



B区P-1・2全景



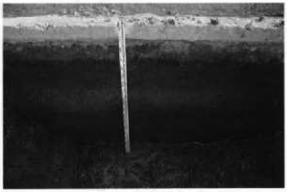
B区P-3全景



B区P-4全景

B区P-5～8全景 （南から）

B区P-9～12全景 （北から）



D区深掘り状況

B区グリッド遺物出土状況

作業風景 （南から）

作業風景 （表土掘削）

調査区埋戻し終了全景

第五中学校2年生職場体験学習風景

図版 20

H-1-1

H-1-2

H-1-3

H-1-4

H-1-5

H-2カ-1

H-3-1

H-3-2

H-3-3

H-3-4

H-3-5

H-3-6

H-6-1

H-6-2

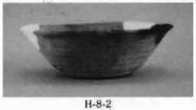
H-6カ-1

H-7-1

H-7-2

H-7-3

H-8-1


H-8-2

H-9-1

H-12-1

H-13D-1-1

H-15-1

H-15カ-1

H-16-1

H-17カ-1

H-17カ-2

H-17-1

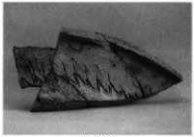
H-17-2

H-18-1

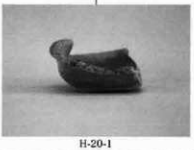
H-18-2

図版 22

H-19-1


H-19-2

H-19D-1-1


H-20-1

H-20カ-1

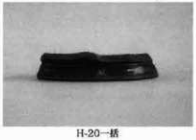
H-20P-1-1

H-20-2

H-20一括

H-21-2

H-21-1


H-20一括

H-21-3

H-22右カ-1

H-22-1

H-23-1

H-25-1

H-23カ-1

H-27カ-1

H-27P-1-1

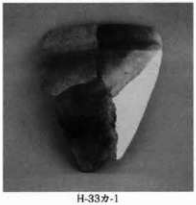
H-30-1

H-30D-1-1

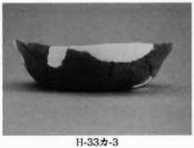
H-32-1

H-32-2

H-32一括


H-33カ-1

H-33カ-2


H-33カ-3

図版 24

H-35-1

H-36-2

H-39-1

H-39D-1-2

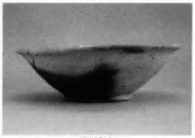
H-40カ-1

H-35カ-1

H-35D-2-1

H-36D-1-1

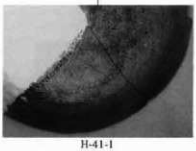
H-39D-1-1


H-43-1

H-36-1

H-36D-1一括

H-39カ-1


H-41-1

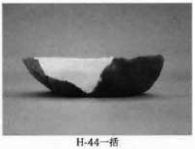
H-43カ-1

H-43P-1-1

H-43D-1-1

H-43D-1-2

H-44-1


H-44一括

H-45-1

H-45カ-1

H-45カ-2

H-45カ-3

H-46-1

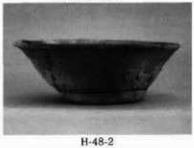
H-46-2

H-46-4

H-46-3

図版 26

H-46D-1-1


H-48-2

H-49-1

H-51-1

H-56-1

H-47カ-1

H-48-3

H-50-1

H-52-1

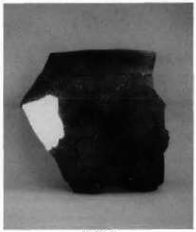
H-53-2

H-48-1

H-48-4

H-51一括

H-53-1


H-53-3

H-56-2

H-56-3

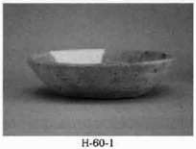
H-57-1

H-58-1

H-57-2

H-57カ-1

H-63-2

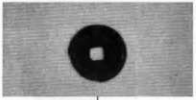
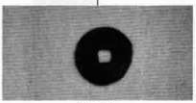

H-60-1

H-64カ-1

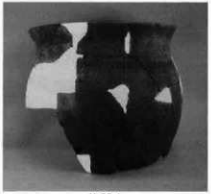
H-63-1

H-64-1

H-66-2



W-17-1

H-66-3

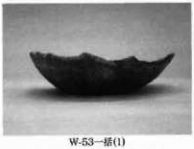

H-66-1

図版 28

W-41-1

W-41-2

W-53-1

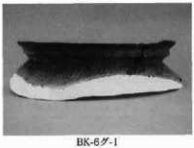

W-53一括(1)

W-53-2

W-53一括(2)

AM-12ダ-1

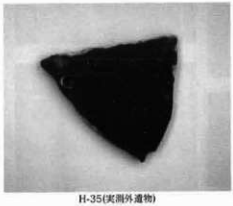
AV-10ダ-1


BK-6ダ-1

BK-6ダ-2

DP-24ダ一括

EO-4ダ-1


H-35(実測外遺物)

H-29(実測外遺物)

抄　録

フリガナ	マエダロクイセキ
書名	前田VI遺跡
副書名	東善住宅団地拡張造成事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
編著者名	スナガ環境測設株式会社　荻野博巳
編集機関	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
編集機関所在地	〒371-0018　群馬県前橋市三俣町二丁目10-2
発行年月日	西暦2000年3月15日

フリガナ 所収遺跡名	フリガナ 所在地	コード		位置		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
マエダロクイセキ 前田VI遺跡	マエバシシナカウチマチ 前橋市中内町	10201	11G42	36°20′17″	139°07′54″	19991118 20000315	4,900㎡	住宅団地拡張造成事業

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物
前田VI遺跡	住居跡	平安時代	住居跡　66軒	土師器 坏・甕片 須恵器 坏、高台付埦・蓋片、甕、羽釜片緑釉、灰釉陶器片 土錘、鉄製品、紡錘車、砥石
	水田跡	平安時代	水田跡　2箇所	土師器 坏片、須恵器片
	溝跡	平安時代	溝跡　8条	土師器 須恵器片
		平安～中世	溝跡　9条	土師器片、 須恵器、高台付埦、土釜、緑釉陶器片
		中世以降	溝跡　18条	土師器、須恵器片、陶器片、古銭
		近世・近代以降	溝跡　40条	土師器、須恵器片、陶器片
	土坑	中・近世頃	土坑　3基	大甕片
	柱穴	中世以降	柱穴　12基	なし

前田VI遺跡

2000年3月9日　印刷
2000年3月15日　発行

発行　前橋市埋蔵文化財発掘調査団
　　前橋市三俣町二丁目10-2
編集　スナガ環境測設株式会社
　　前橋市青柳町211番地の1